

道路施設基本データ作成要領（案）

平成 2 6 年 5 月

国土交通省 九州地方整備局

目 次

1. 概要	1
1.1. 目的	1
1.2. 作成対象となる道路施設	2
1.3. 道路施設基本データ作成手順	3
2. 「道路施設基本データ」作成	5
2.1. 道路施設基本データ位置図	5
2.2. 「道路施設基本データ詳細情報」作成時の注意事項	8
2.3. 「イメージデータ」データの作成	13
3. 「道路施設基本データ」格納フォルダ	22
3.1. フォルダ構成	22
4. 「道路施設基本データ」のチェック	23
4.1. 道路工事完成図等チェックプログラムの入手	23
4.2. 道路施設基本データのチェック	24
5. 九州地方整備局におけるデータ作成上の注意事項	24
5.1. データ作成に関する注意事項	24
5.2. 延長及び面積の入力数値について	24
6. 「道路施設基本データ」の提出について	25

提出資料様式

- 様式－1 道路施設基本データ作成報告書
 - 様式－2 道路施設基本データチェック結果記録
 - 様式－3 道路施設基本データ総括表
 - 様式－4 道路施設基本データ一覧表
 - 様式－5 道路施設基本データ詳細表
-

提出資料様式（事例集）

- 様式－1～様式－5
-

別添資料

- 別添資料1 作成対象施設と対応する詳細情報名
- 別添資料2 道路施設基本データ入力フォーマット

1. 概要

1.1. 目的

本要領は、工事によって「新設」・「改良（移設を含む）」・「撤去」される各種道路施設の諸元データ（以後、「道路施設基本データ」という）を作成する際の要領である。

「道路施設基本データ」とは、道路施設に関する諸元データであり、「道路管理データベースシステム」（注１）の基となるデータ群である。「道路施設基本データ」は、工事成果品として工事施工業者が作成するものであり、本要領の他、下記の基準類、システム、チェックプログラム等により作成するものとする。なお、基準類は予告なく変更されることがある。

- | | |
|---------------------|--------------|
| ① 道路工事完成図等作成要領（第2版） | 平成20年12月 |
| ② 道路工事完成図等チェックプログラム | Ver. 2. 4 |
| ③ デジタル写真管理情報基準（案） | 平成18年1月 |
| ④ 道路施設基本データ作成システム | Ver. 1. 0. 2 |

※ 入手先は（４頁 関連サイト）参照

（注１）道路管理データベースシステムとは、道路管理を効率的に行なうために、道路ならびに道路施設に関する情報を国土交通省全体として、全国で統一した考え方のもとに構築しているデータベースである。

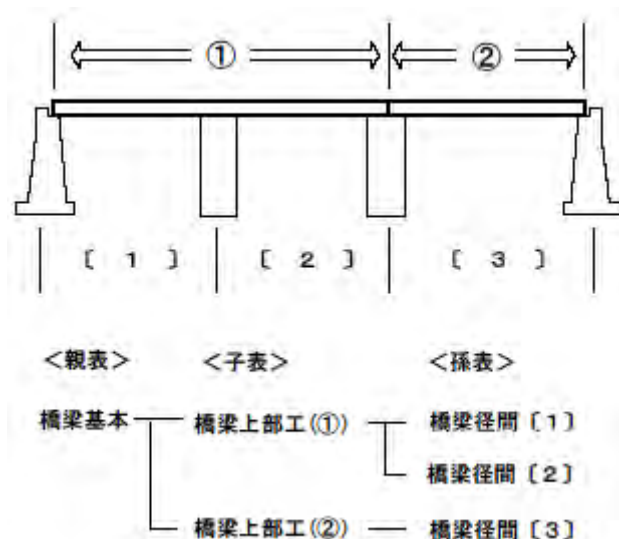
1.2. 作成対象となる道路施設

道路施設基本データは、工事において「新設」「改良」「撤去」した施設のうち、「別添資料 1 作成対象施設と対応する詳細情報名」に示す道路施設を対象として作成する。各道路施設の詳細情報は、「別添資料 2 道路施設基本データ入力フォーマット」を参照のこと。なお、工事の施工により影響する施設をよく確認し、データ作成対象施設を選出する必要がある。

※1 道路施設基本データの作成工種は、「全国共通工種」と整備局独自工種を加えた「九州地方整備局工種」があることに注意する。

※ 2 作成工種は、親－子－孫関係となっており、子、孫の道路施設基本データを作成する場合には、親のデータも作成することに注意する。

(例) 橋梁径間（孫）データを作成する場合、橋梁（親表）、上部工（子表）のデータも作成する。



1.3. 道路施設基本データ作成手順

(1) 道路施設基本データ作成フロー

「道路施設基本データ」の作成フローを図1.3-1に示す。

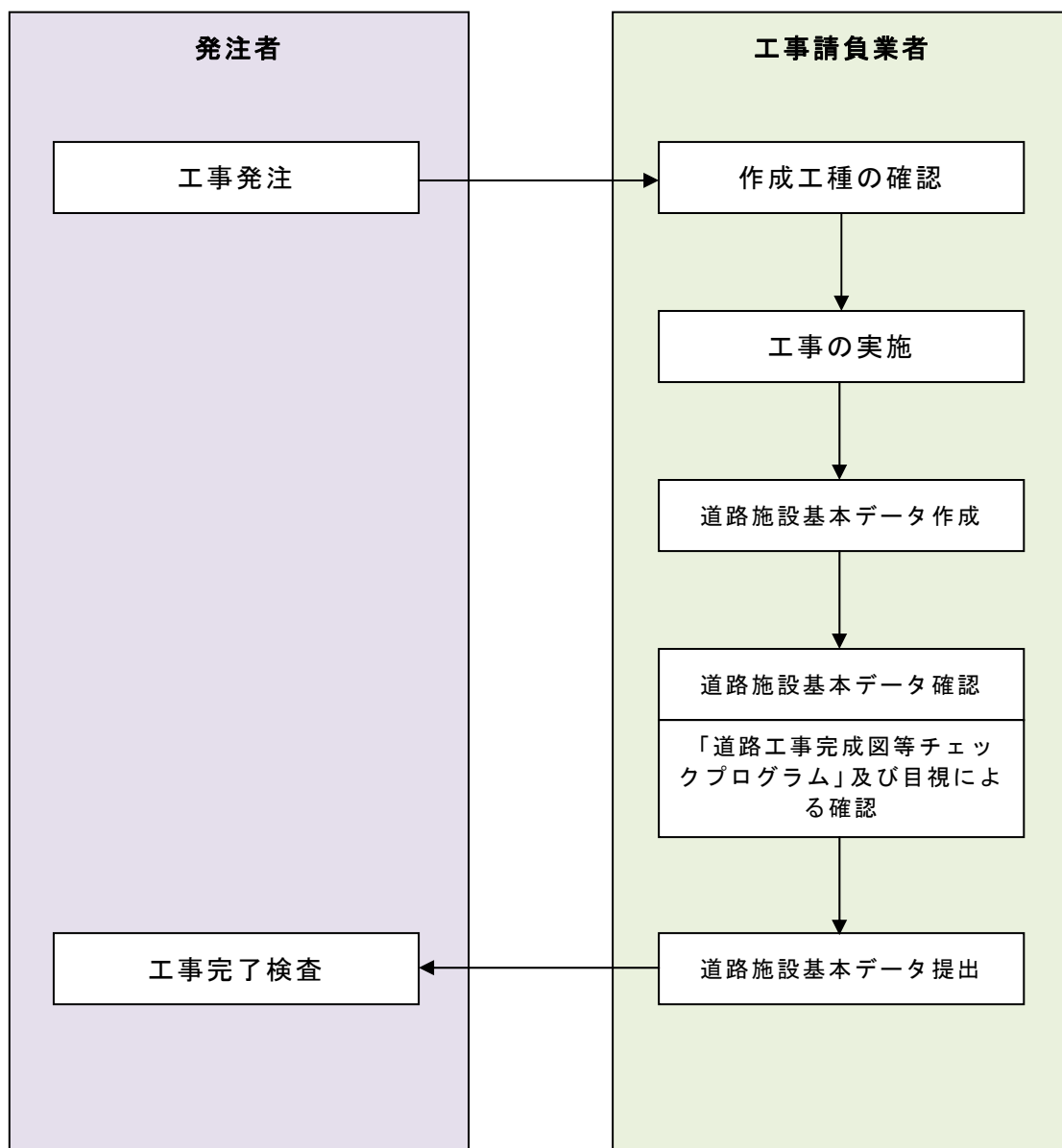


図1.3-1 「道路施設基本データ」作成フロー

(2) 関連資料の入手

道路施設基本データ作成に必要なとなる表1.3-1に示すの関連資料を入手する。なお、「道路施設基本データ コード解説書」「道路管理データベース データ作成マニュアル（案）」は、補足資料である。

表1.3-1 関連資料

No	資料名	備 考
1	道路施設基本データ作成要領（案）	発注者より入手
2	デジタル写真管理情報基準（案）	九州地方整備局ホームページ http://www.qsr.mlit.go.jp/kensetu_joho/
3	道路工事完成図等作成要領	道路工事完成図等作成支援サイト http://www.nilim-cdrw.jp/
4	道路工事完成図等チェックプログラム	
5	道路施設基本データ作成システム	
6	道路施設基本データ コード解説書	
7	道路管理データベース データ作成マニュアル（案）	

2. 「道路施設基本データ」作成

「道路施設基本データ」は次の①～⑥を作成する。ただし、道路施設形状に変更を加えない工事等（維持修繕工事における同種・同類への取替え及び施設の一時撤去等）については、イメージデータ（道路施設一般図）を作成する必要はない。

- ① 道路施設基本データ位置図（拡張子.pdf）
- ② 道路施設基本データ総括表（紙）
- ③ 道路施設基本データ一覧表（紙）
- ④ 道路施設基本データ詳細情報（紙）
- ⑤ イメージデータ（道路施設一般図：拡張子.jpg）※注1
- ⑥ イメージデータ（現況写真：拡張子.jpg）

※注1：P21形式のCADデータで代用可

2.1. 道路施設基本データ位置図

「道路施設基本データ位置図」は、道路台帳附図等を基に「新設」・「改良（移設を含む）」・「撤去」した施設の位置（特に延長方向）が明確に判別できるものとし、表2.1-1に示す①から⑩の情報を記載する。なお、位置図一枚あたりの延長は200m程度を上限とし、表2.1-2に示す施設区分毎にグループ分けにより、施設の設置位置を所定の色別で旗揚げする。道路施設基本データ位置図は、PDF形式に変換し、所定のフォルダに格納して提出する。（22頁参照）

また、道路台帳附図の代わりとして、工事平面図を代用してもよいが、「道路施設基本データ位置図」の作成要件を満たしていること。

表 2.1-1

- ① 工事年度
- ② 工事名
- ③ 工事番号（工事設計書番号14桁の番号）
- ④ 道路施設基本データ位置図番号（注1）
- ⑤ 図面縮尺（スケール）
- ⑥ 道路施設名称
- ⑦ 施設対応番号（注2）
- ⑧ 距離標（百米標又は測点）及び距離標からの距離（m）
- ⑨ 距離標（百米標）又は測点の位置
- ⑩ その他必要な情報（附図番号等）（注3）

表 2.1-2

グループ	施設区分	色別
A	新設	赤
B	改良	青
C	撤去	緑

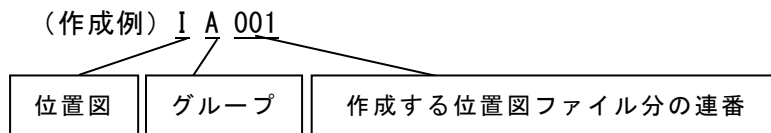
(1) 「道路施設基本データ位置図」作成上の注意点

- ① 引き出し線は、対象施設のみとし不要な線は表示しない。
- ② 各施設は、施設位置が分かるように強調表示する。

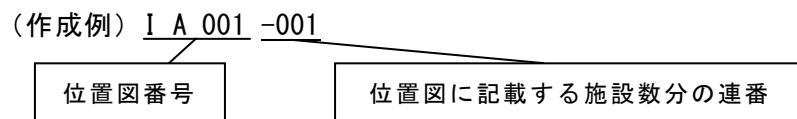
施 設	施 設 位 置	施 設 例
点在する施設	「●」等で強調表示	照明・標識等
長手の施設	「■」等で強調表示	中央帯・パイプカバート等
面積を有する施設	薄目のハッチングにて表示	舗装・歩道・橋梁等

- ③ 図面縮尺（スケール）は原寸時のスケールとする。
- ④ 距離標（百米標）（または測点）は、必ず2箇所以上表示する。見えにくい場合は加筆する。作成例を（図2.1-1）に示す。

注1：「道路施設基本データ位置図番号」は、「I」で始まりグループ番号及び3桁の番号で構成する。

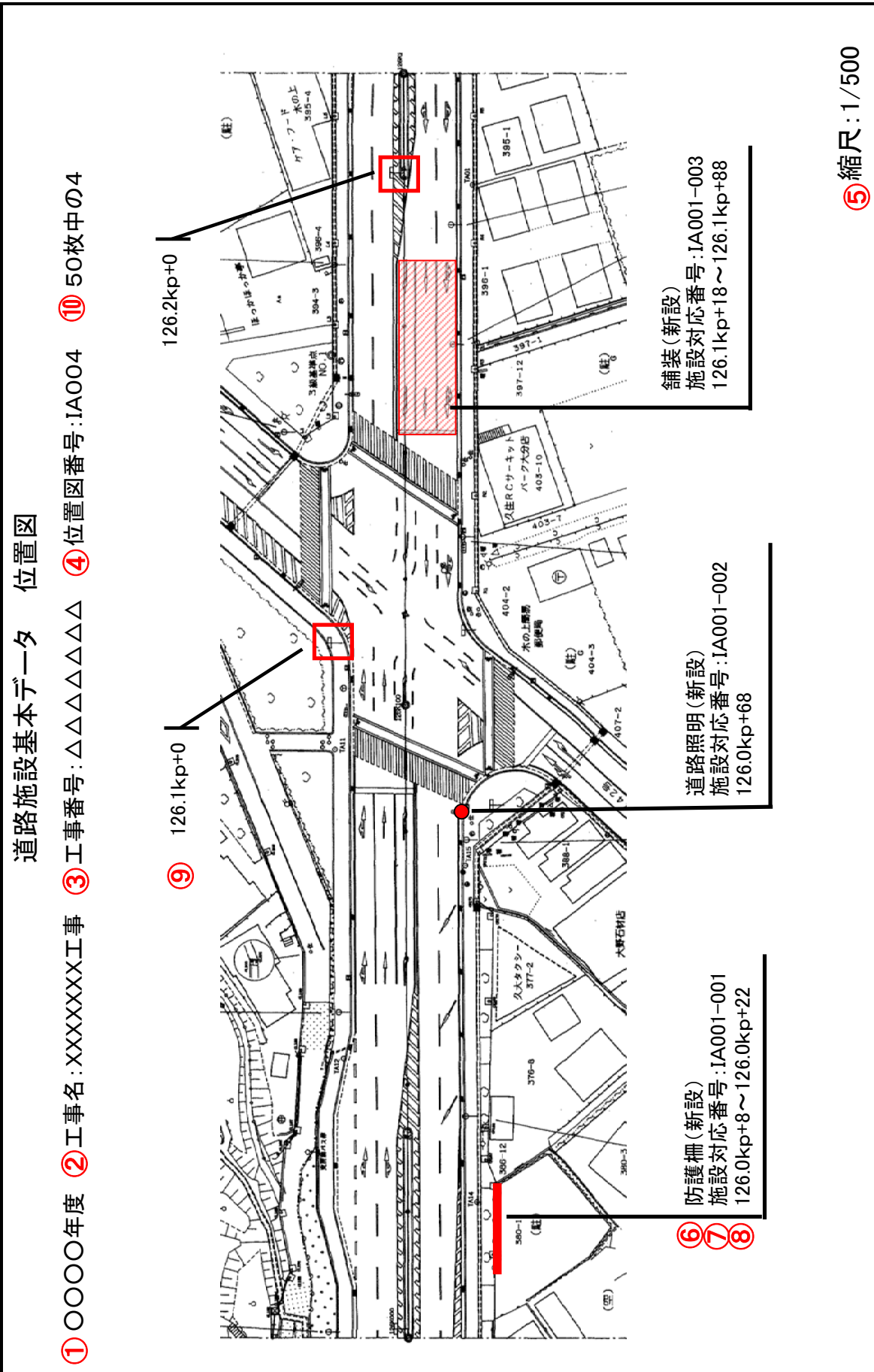


注2：「施設対応番号」とは、「道路施設基本データ詳細情報」と「道路施設基本データ位置図」に旗揚げされている施設との整合を図るものとして、「位置図番号」＋「グループ番号」＋「ハイフン「-」付3桁」の番号から構成するものとする。



注3：「道路台帳附図」を基に作成した場合は、基図の道路台帳附図番号（表2.1-1⑩）を記載する。

図 2.1-1 道路施設基本データ位置図 作成例



2.2. 「道路施設基本データ詳細情報」作成時の注意事項

「様式－5 道路施設基本データ詳細情報」は、「道路施設基本データ作成システム」を使用して作成する。入力方法の詳細については、システムに添付されている「道路施設基本データ作成システム 利用マニュアル」を参照のこと。

(1) その他工種に関する道路施設基本データ作成上の注意事項

データ作成にあたっては、工事により「新設」・「改良（移設を含む）」・「撤去」される各種道路施設の施工区分に係らず、すべてのデータを「新規作成」する。

「改良（移設を含む）」施設においては、位置情報（距離標等）及び施設対応番号、施工内容に関する項目を入力し、「撤去」については位置情報と施設対応番号、撤去数値（延長等）を入力する。また、「改良（移設を含む）」施設で補修履歴書式を有する施設においては補修履歴データを作成する。

項目入力にあたり、「不明項目」「対象外項目」は、以下のとおり入力する。

「 不明項目 = ? : 対象外項目 = * 」

(2) 「道路施設基本データ」の作成単位

「道路施設基本データ」の作成単位は、表2.2-1のとおりとする。延長方向に長さを持つ施設（舗装、歩道及び自転車歩行者道、擁壁、防護柵、植栽等）は、市区町村の行政区境で分け、市区町村単位で作成すること。

表 2.2-1 道路施設基本データの作成単位 (1/2)

区分	施設番号	施設名	作成単位				
			路線毎	施設箇所毎	都道府県市区町村毎	その他	備考 (施設箇所の補足)
道路構造	C020	縦断勾配	○	○備考参照			縦断勾配変化区間毎
	C030	平面線形	○	○備考参照			線形区間毎
	C050	舗装	○	○	○	舗装施工区分毎 道路構造物区分毎 舗装種別毎 上下線毎 道路台帳付図毎	
	C060	道路交差点	○	○		交差方式毎	
	C070	鉄道交差点	○	○		交差方式毎	
	C080	歩道及び自転車歩行者道	○	○	○	上下線毎 路線分割区分毎 沿道状況区分毎 歩道等種別毎 歩道形式毎 道路台帳付図毎	
	C090	独立専用自歩道	○	○	○	自歩道専用区分毎	
	C100	中央帯	○	○	○	中央帯形式毎 独立施設毎	
	C110	環境施設帯	○	○	○		
	構造物	D010	橋梁	○	○備考参照	○	
D020		橋側歩道橋	○	○備考参照	○		上下線等分離されている場合は分離単位毎
D030		横断歩道橋	○	○			
D040		トンネル	○	○備考参照	○		上下線等分離されている場合は分離単位毎
D050		洞門	○	○		構造形式毎	
D070		地下横断歩道	○	○			
D080		道路ＢＯＸ等	○	○			
D090		横断ＢＯＸ等	○	○		設置区分毎 構造形式毎	
D100		パイプカルバート	○	○		形式種別毎 管径毎	
D110		のり面	○	○	○	上下線毎 切り土のり面毎 盛土のり面毎 斜面毎	
D120		擁壁	○	○	○	構造形式毎 構造帯毎	
付属物及び付帯施設		E010	防護柵	○	○	○	防護柵種別毎 連続施設毎
	E020	道路照明	○	○備考参照			照明柱毎
	E030	視線誘導標（反射式）	○	○備考参照	○	誘導標種類毎 新規の場合は、道路台帳付図毎	同一種類が続く場合は1設置箇所とする。
	E040	視線誘導標（自光式）	○	○			
	E050	道路標識	○	○備考参照			ポールまたは門型構造毎
	E060	道路情報板	○	○			
	E070	交通遮断機	○	○			
	E080	I . T . V	○	○			
	E090	車両感知器	○	○		感知器形式毎	
	E100	車両諸元計測施設	○	○			

表 2.2-1 道路施設基本データの作成単位 (2/2)

区分	施設番号	施設名	作成単位				
			路線 毎	施設箇所 毎	都道府 県市区 町村毎	その他	備考 (施設箇所の補足)
付 属 物 及 び 付 帯 施 設	E110	気象観測施設	○	○		施設内の装置種別毎	
	E120	災害予知装置	○	○		施設内の装置種別毎	
	E130	自動車駐車場等	○	○			
	E140	自転車駐車場	○	○			
	E160	落石防止施設	○	○	○	施設箇所内の施設種別毎	
	E200	防災備蓄倉庫	○	○		防災備蓄倉庫 1 箇所毎	
	E220	C A B 電線共同溝	○	○		CAB、電線共同溝、情報BOX毎	
	E230	植栽	○	○	○	樹毎	
	E240	遮音施設	○	○	○	施設種類毎	
	E250	遮光フェンス	○	○	○	種類毎	
	E260	距離標	○	○		距離標毎	
	E330	光ケーブル	○			端局・接続箱区間毎	
	E350	ビーコン	○	○		ビーコン 1 基毎	

(4) データ作成における共通説明事項

「道路施設基本データ」の作成に関し、記入内容が共通な項目については、以下の内容で入力する他、【別添資料 1・別添資料 2】を参照し入力する。

① 工事番号

工事設計書番号 1 4 桁の番号を記入する。

② 工事区分C

工事の状況により該当する施設に対しどのような施工を実施したかにより以下のコードを入力する。【新設：1】【改良（移設を含む）：2】【撤去：3】

③ 施設対応番号

道路施設基本データ位置図の施設対応番号を入力する。

(5) 道路施設基本データ総括表

「様式－3 道路施設基本データ総括表」は、工事の諸元、及び道路施設基本データの内訳を工種毎に施設数を集計したものである。「道路施設基本データ総括表」は、「道路施設基本データ作成システム」から出力する。

(6) 道路施設基本データ一覧表

「様式－4 道路施設基本データ一覧表」は、作成した施設毎にデータ区分（新設・改良・撤去）の別が記載されるほか、道路施設基本データ位置図作成時に付番した施設対応番号を一覧表にまとめたものである。「道路施設基本データ一覧表」は、「道路施設基本データ作成システム」から出力する。

(7) 「橋梁点検補修歴」・「橋側歩道橋点検補修歴」の作成

橋梁、橋側歩道橋の補修、補強、塗装工事を行なった場合は、「橋梁点検補修歴」、「橋側歩道橋点検補修歴」のデータを作成する。維持工事において、簡易な補修、塗装が行なわれている場合においても工事規模に拘わらず作成する。

① 部材番号図の入手

「橋梁点検補修歴」、「橋側歩道橋点検補修歴」は、部材毎にデータを作成することから、発注者より部材番号図の貸与を受けること。

② 部材番号の入力について

主要部材以外の補修・補強工事については、径間番号、部位・部材区分のみを作成し、部材番号には「00」を入力する。「主要部材」とは、損傷を放置しておくと、橋梁の架替も必要になると想定される部材を指す。

表2.2-2 主要部材

No	主要部材
1	主桁
2	横桁
3	床版
4	主構トラスの上・下弦材、斜材、垂直材及び橋門構
5	アーチのアーチリブ、補剛材、吊り材、支柱及び橋門構
6	ラーメンの主構（桁・脚）
7	斜張橋の斜材及び塔柱
8	外ケーブル
9	橋脚
10	橋台
11	基礎

2.3. 「イメージデータ」の作成

(1) 「イメージデータ」の種類

「イメージデータ」は、「道路施設一般図」と「現況写真」の2種類を作成するものとし、工種毎の作成種別を表2.3-1に示す。作成にあたっては、施工した道路施設の各現況写真・図面を用いて作成する。

表2.3-1 施設別現況写真・図面種別一覧表

No	親テーブル名	現況写真	撮影方法タイプ	平面図	標準断面図	側面図	舗装構成図	交差点詳細図	排水系統図	正面図	構造物詳細図	情報可変内容一覧表	システム系統図	転送系統図	井戸構造図	地質柱状図	備考
1	縦断勾配			○	○												縦断勾配要素がわかる図
2	バーチカルカーブ			○	○												バーチカルカーブ要素がわかる図
3	平面線形			○	○												
4	舗装基本	○	B(2)				○	○									
5	道路交差点本線	○	D(1)														
6	鉄道交差点基本	○	D(2)														
7	歩道及び自転車歩行車道	○	A	○	○												
8	独立専用時歩道	○	A														
9	中央帯	○	A														
10	環状施設帯	○	B(1)														
11	橋梁	○	C(1)	○	○	○					○						現況写真は、側面・正面・床版下を撮影
12	橋側歩道橋	○	C(1)	○	○	○											現況写真は、側面・正面・床版下を撮影
13	横断歩道橋	○	C(1)	○	○	○											
14	トンネル	○	C(2)	○	○	○											
15	洞門	○	C(2)	○	○	○											
16	地下横断歩道	○	C(3)	○	○	○											
17	道路BOX	○	C(2)	○	○	○											
18	横断BOX	○	C(4)	○	○	○											
19	パイプバルバート	○	C(4)	○	○	○			○								排水系統図は、水の流れを矢印で記載
20	のり面	○	A		○					○							
21	擁壁	○	C(5)	○	○												
22	防護柵	○	A	○													
23	道路照明	○	B(1)	○	○												
24	視線誘導標(反射式)	○	A														
25	視線誘導標(自光式)	○	B(1)	○													
26	道路標識	○	B(2)	○													
27	道路情報板	○	B(1)	○									○				現況写真は、全景及び各種標識をそれぞれ撮影
28	交通遮断機	○	B(1)	○									○				
29	ITV	○	B(1)	○									○				
30	車両感知器	○	B(1)	○									○				
31	車両計測施設	○	D(3)	○									○				
32	気象観測施設	○	D(4)	○									○				
33	災害予知装置	○	D(3)										○				
34	自動車駐車場	○	D(5)	○													
35	自転車駐車場	○	D(5)	○													
36	落石防止施設	○	A	○													
37	防災備蓄	○	A														
38	共同溝	○	D(6)	○	○												
39	CAB電線共同溝	○	D(6)	○	○												
40	種裁	○	A	○													
41	遮音施設	○	A	○													
42	遮光フェンス	○	A	○													
43	距離標	○	A	○													
44	光ケーブル施設	○	D(6)	○													
45	光ケーブル施設端局	○	B(1)	○													
46	ピーコン	○	B(1)	○													

(2) イメージデータ（図面・現況写真）の作成

① イメージデータ（図面）の作成方法

工事成果品のC A Dデータ等により、表2.3-2に示す仕様で、施設毎、図面類毎に作成する（P 2 1形式のC A Dデータで代用可）。ファイル名は、個別道路施設諸元サブフォルダ名に連番2桁を加え、「半角英数大文字8文字＋拡張子」とする。（例：「E0200101.jpg」、「E0200102.p21」…等）

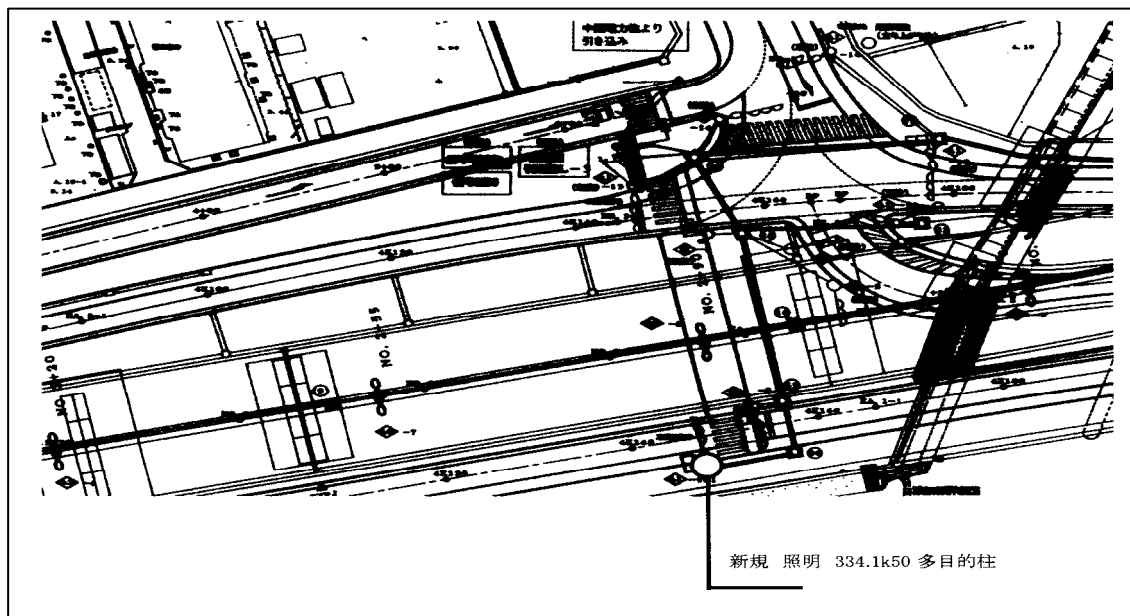
なお、電子データがない場合は、道路施設毎に指定された図面類を個々にスキャンし、J P E G形式で電子化する。その際、下記の点に注意する。

- ・ 不鮮明な図面は使用しない。
- ・ 施設と道路との位置関係が把握できること。
- ・ 道路線形、幅員構成等が把握できること。
- ・ 施設の断面図等により、高さ方向、交差状況の寸法が把握できること。

表 2.3-2 イメージファイルの詳細仕様

項目	図 面		現況写真	
	スキャンする場合	CADデータの場合	デジタル写真の場合	スキャンする場合
ファイル形式（圧縮形式）	JPG	SXF(P21)	JPG	JPG
階調（色数）	フルカラー	—	フルカラー	フルカラー
解像度	200dpi	—	100万画素程度	200dpi
圧縮レベル	50	—	50	50

イメージデータ（図面）例

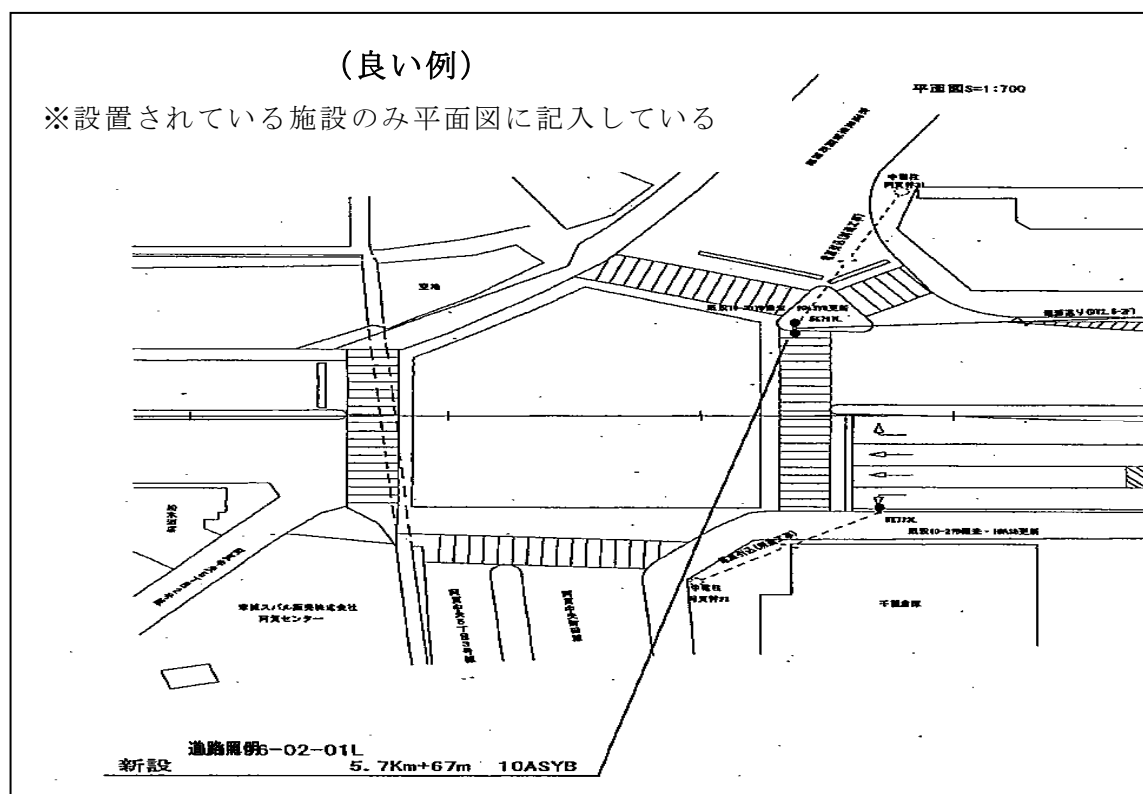
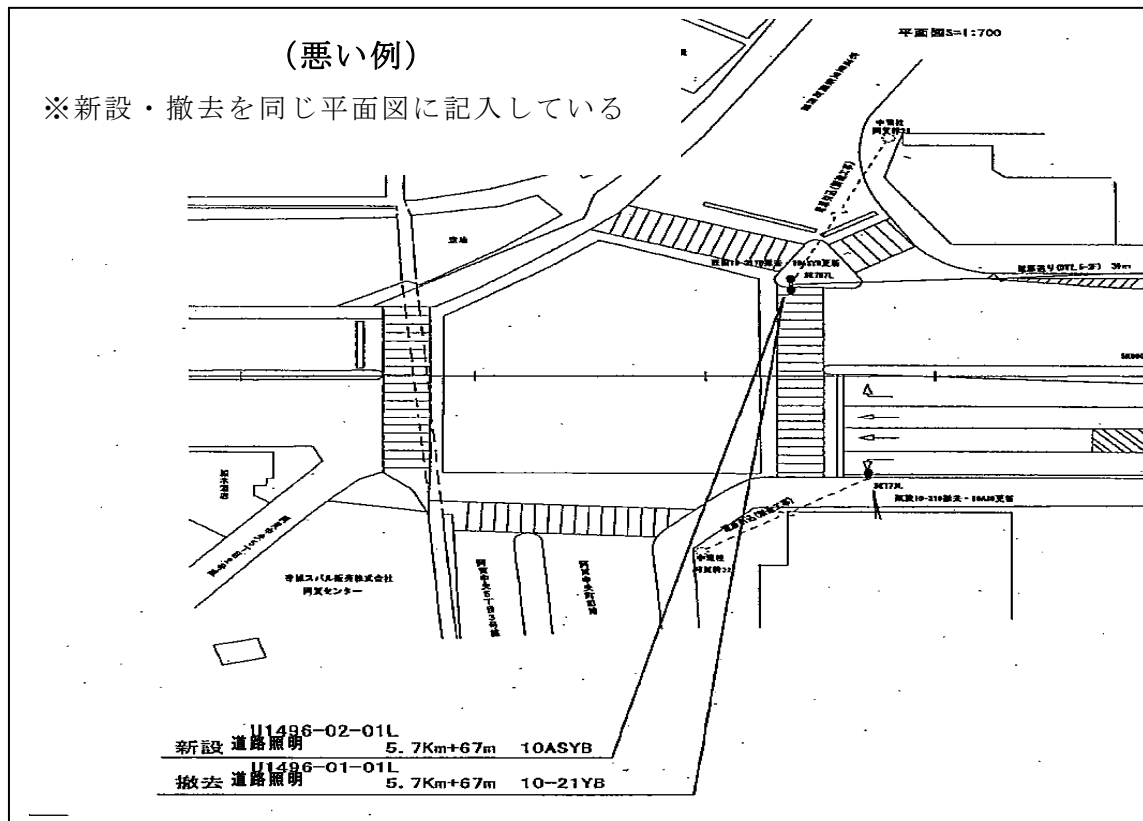


(3) イメージデータ（図面）作成時の注意点

注意事項を示す。

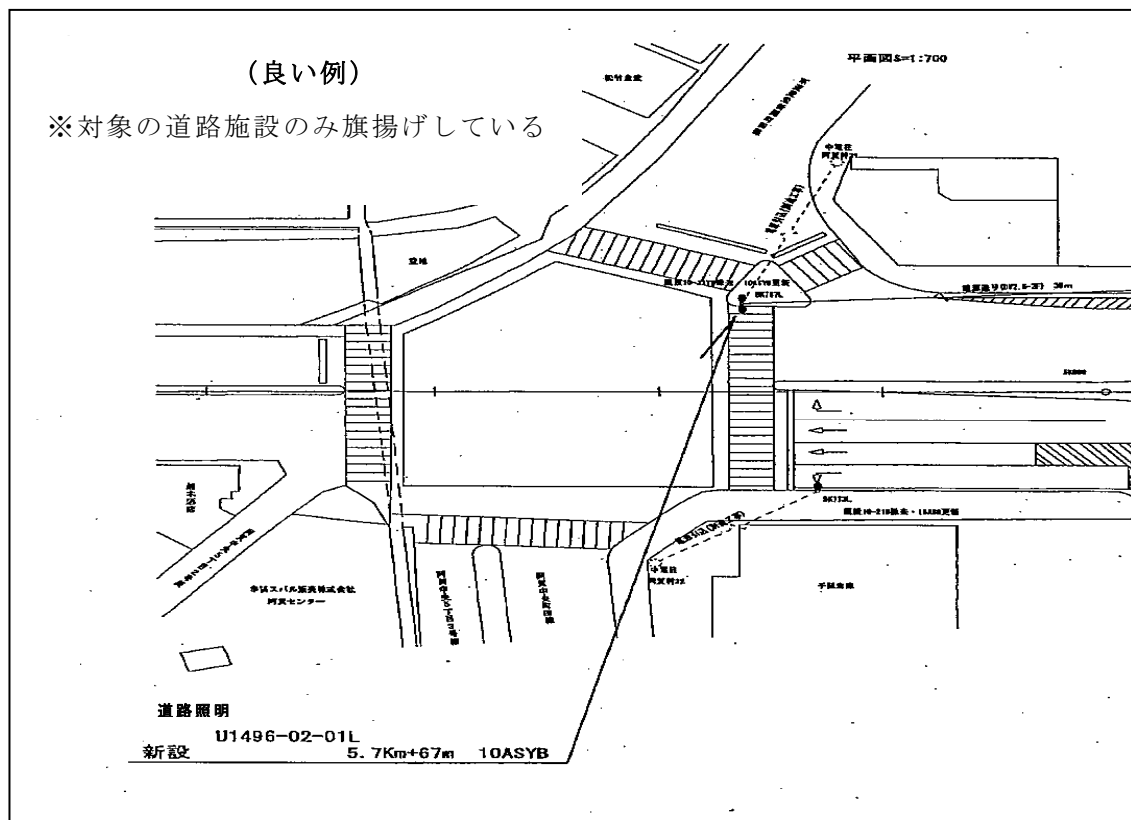
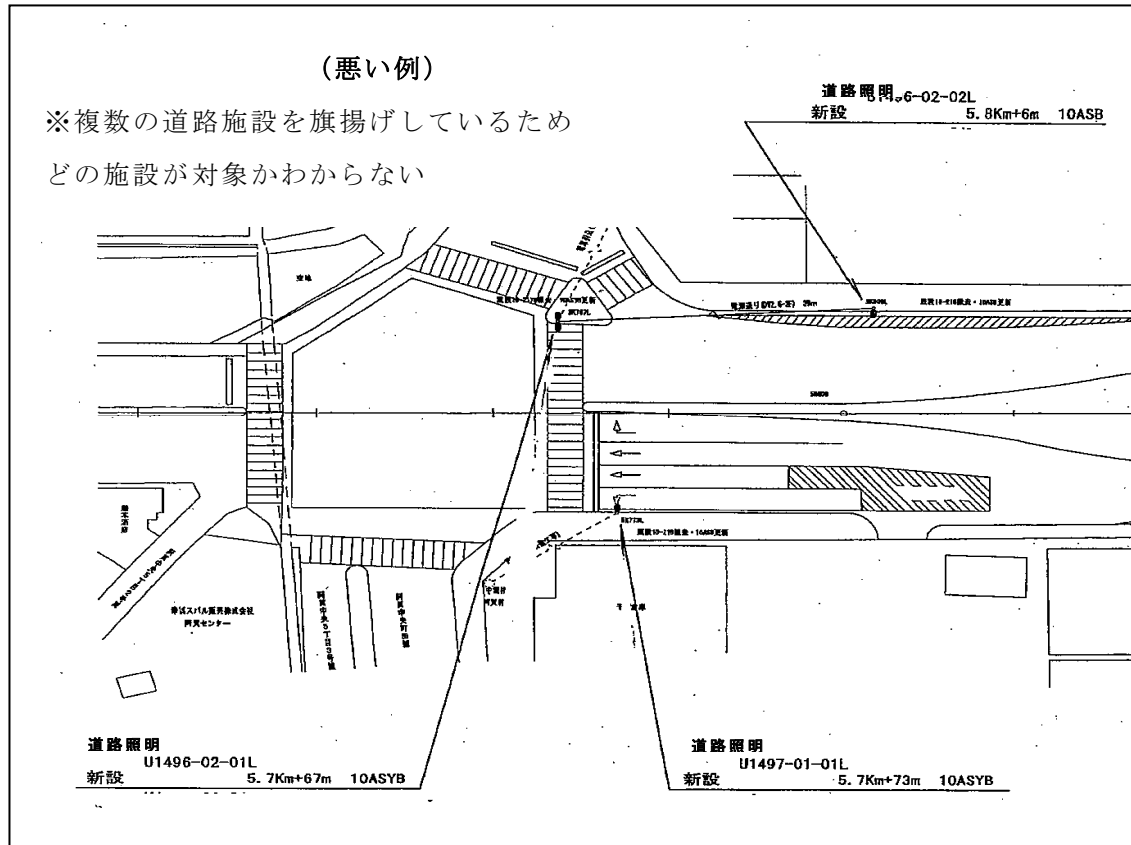
① 新設・撤去を同じ貼付用紙に記載している

イメージデータ（図面）に旗揚げするのは、現在設置している道路施設の情報のみとし、撤去情報については記載しない。



② 1枚に複数の道路施設を旗揚げしている

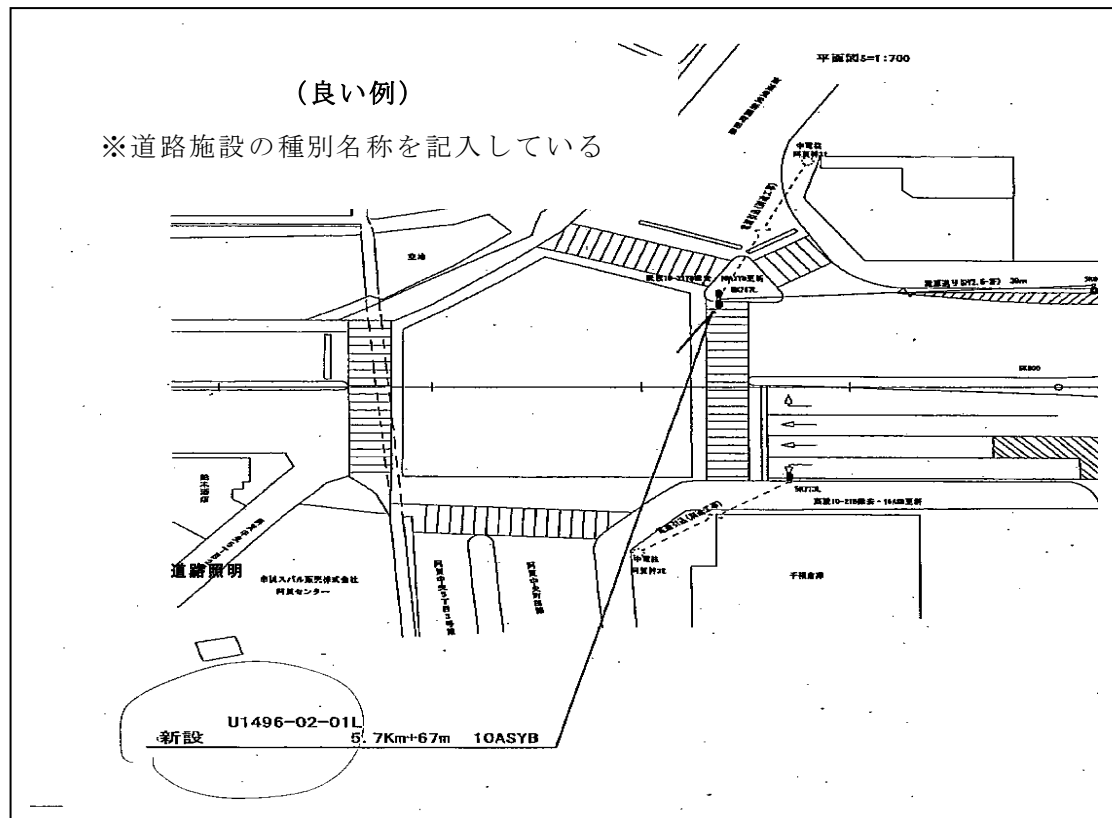
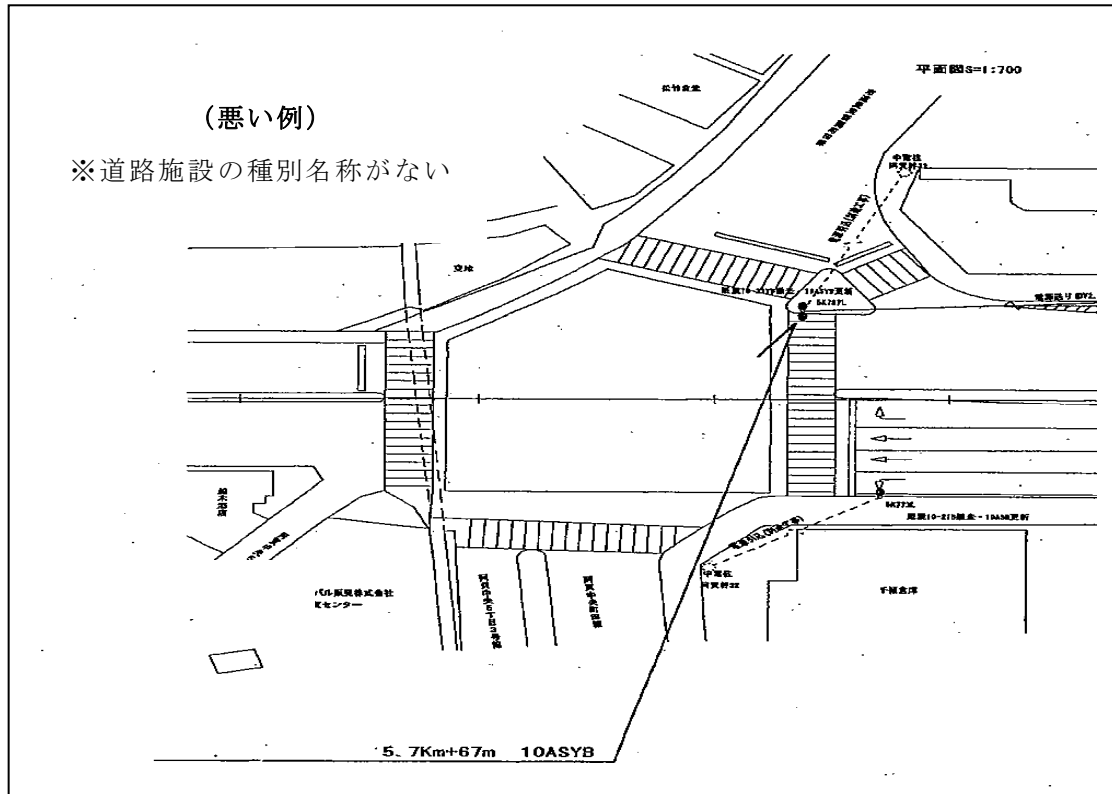
複数の道路施設を旗揚げしている場合、イメージデータ（図面）がどの道路施設を対象にしているかわからない。そのため、1枚に1つの道路施設のみ旗揚げする。



③ 道路施設の名称の記載がない

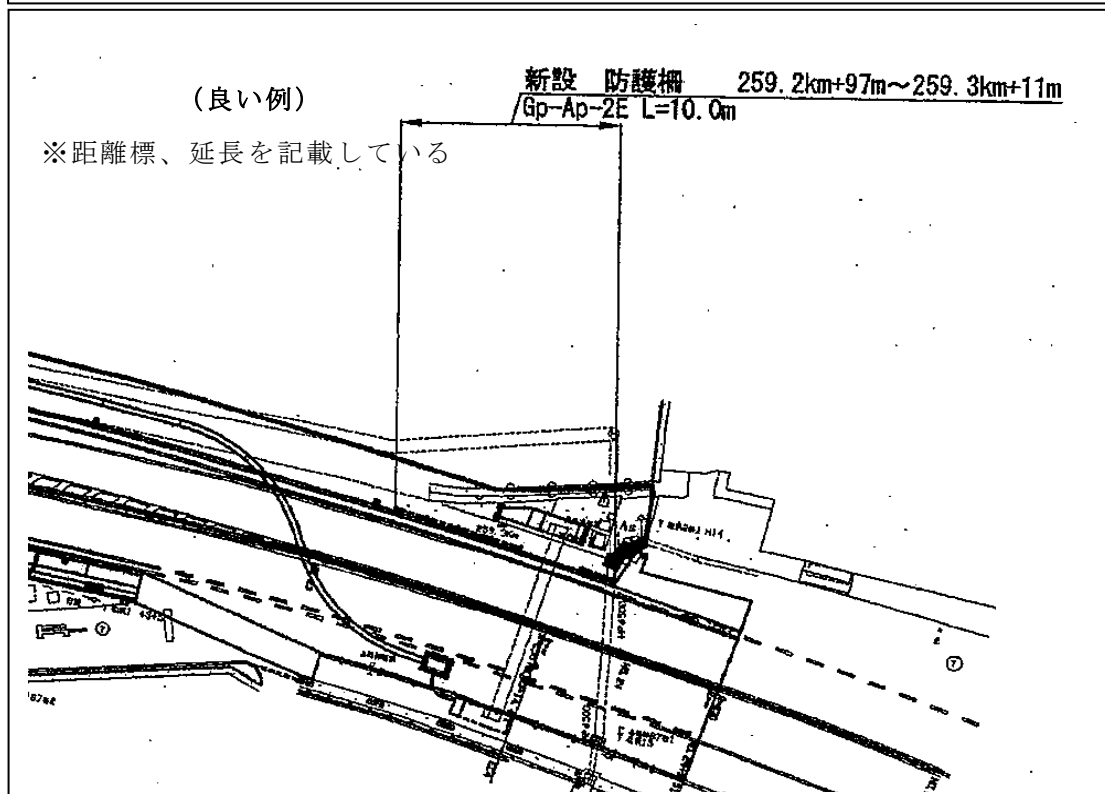
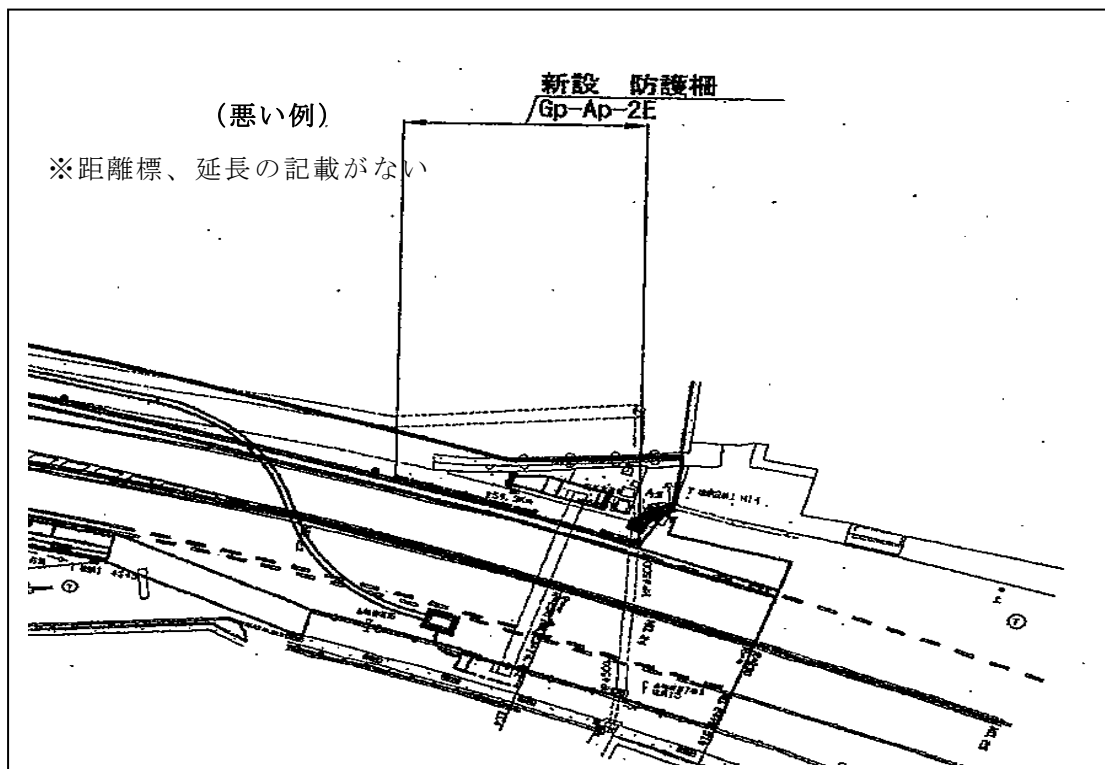
イメージデータ（図面）は、指定枠内をデータとして登録するため、旗揚げされた道路施設に、名称が記載されていない場合、登録後、どの道路施設か判別できない。

よって、旗揚げした施設には道路施設名称を記載する。但し、固有の名称を持たない道路施設（道路照明、道路標識等）については、種別名を記載する。



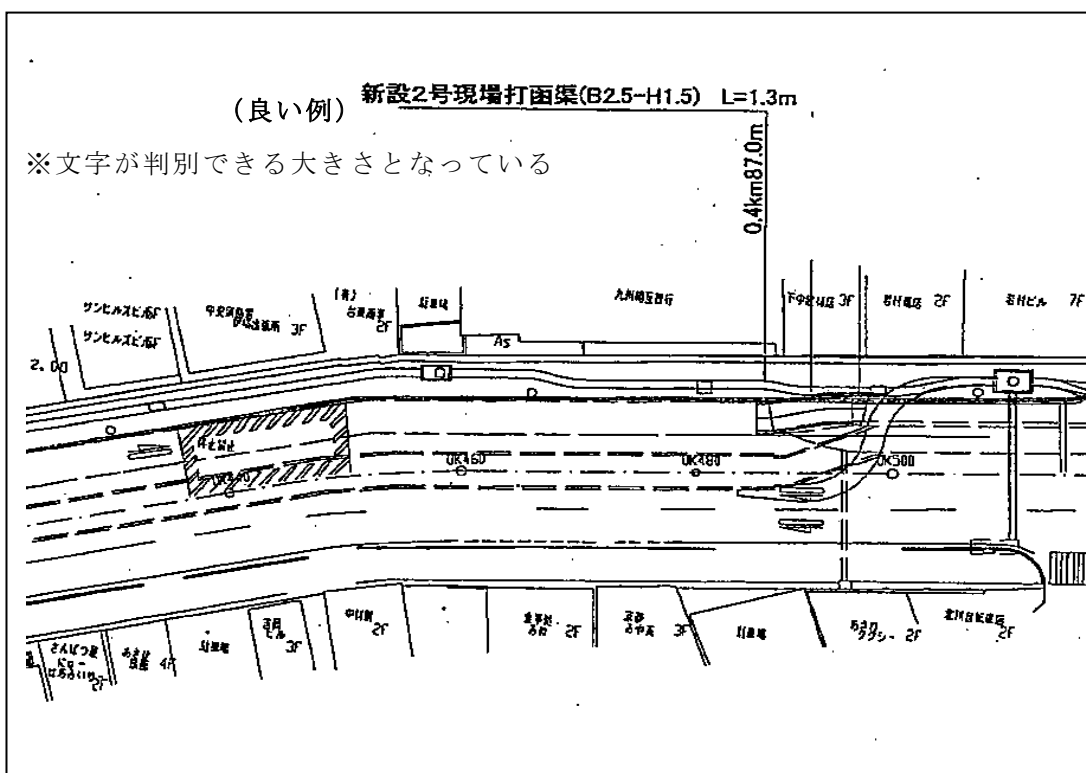
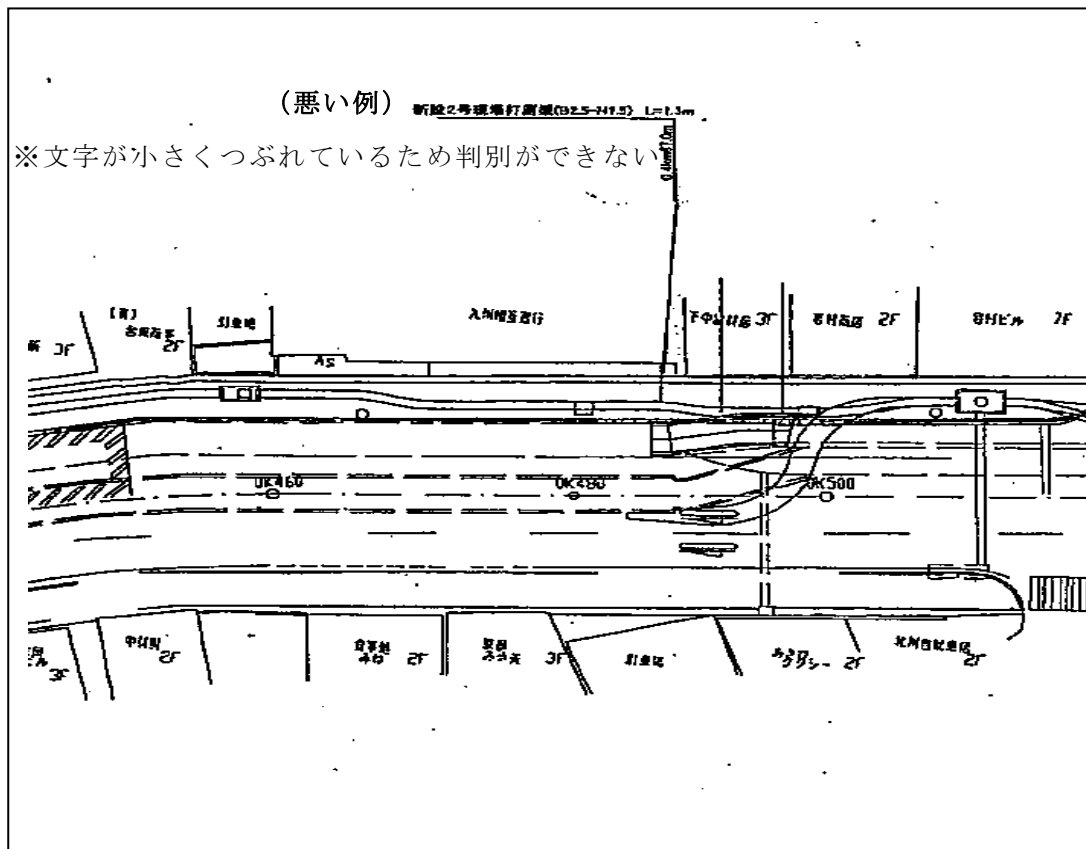
④ 距離標・延長の記載がない

イメージデータ（図面）に距離標がない場合、対象の道路施設が、どの位置に設置されているのか判断できないため、道路施設基本データの情報との整合確認がとれない。よって、旗揚げした道路施設については、距離標を記載する。防護柵や情報BOXなどの延長物については、延長も記載する。



⑤ 文字が小さく、つぶれている

1枚のA4サイズの貼付用紙に収めようとして図を縮小したため、文字が小さくつぶれてしまい、判別不能になっている。イメージデータ（図面）の旗揚げした文字の大きさは、判読できる大きさとする。



(4) イメージデータ（現況写真）

イメージデータ（現況写真）は、「デジタル写真管理情報基準（案）」に基づいて、デジタルカメラで撮影されたものとする。撮影したイメージデータ（現況写真）は、ファイル名を付与する。現況写真の撮影方法、仕様及びファイル形式を以下に示す。

① 撮影方法

現況写真は、表2.3-3に示す「現況写真撮影方法」タイプA～Dの4種類の方法で撮影する。

② 仕様

「デジタル写真管理情報基準（案）」を適用し、100万画素程度の解像度で撮影する。

③ ファイル形式

ファイル形式は、「デジタル写真管理情報基準（案）」を適用する。また、ファイル名は、個別道路施設諸元サブフォルダ名に連番2桁を加え、「半角英数大文字8文字＋拡張子」とする。（例：「E0200101.jpg」、「E0200102.jpg」…等）

(5) ファイル名付番時の注意点

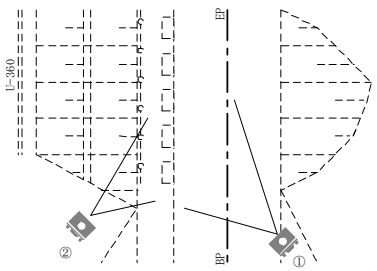
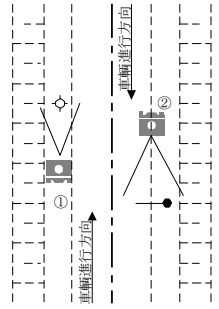
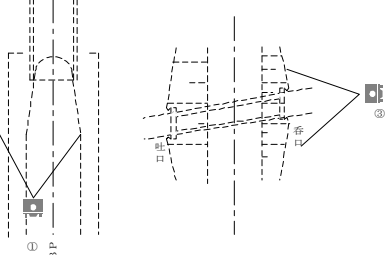
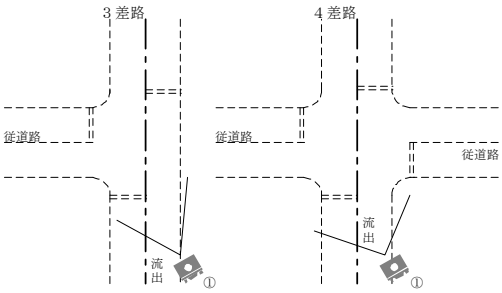
① 連番の付番方法

ファイル名の付番を行う際の連番は、図面・写真に係らず施設毎にユニークな番号を付番する。

② 枚数

イメージ（図面・写真）の枚数が100枚を超える場合は、連番の一桁目をアルファベットとする。（例：「E0200199.jpg」、「E02001a1.jpg」、「E02001a2.jpg」…等）

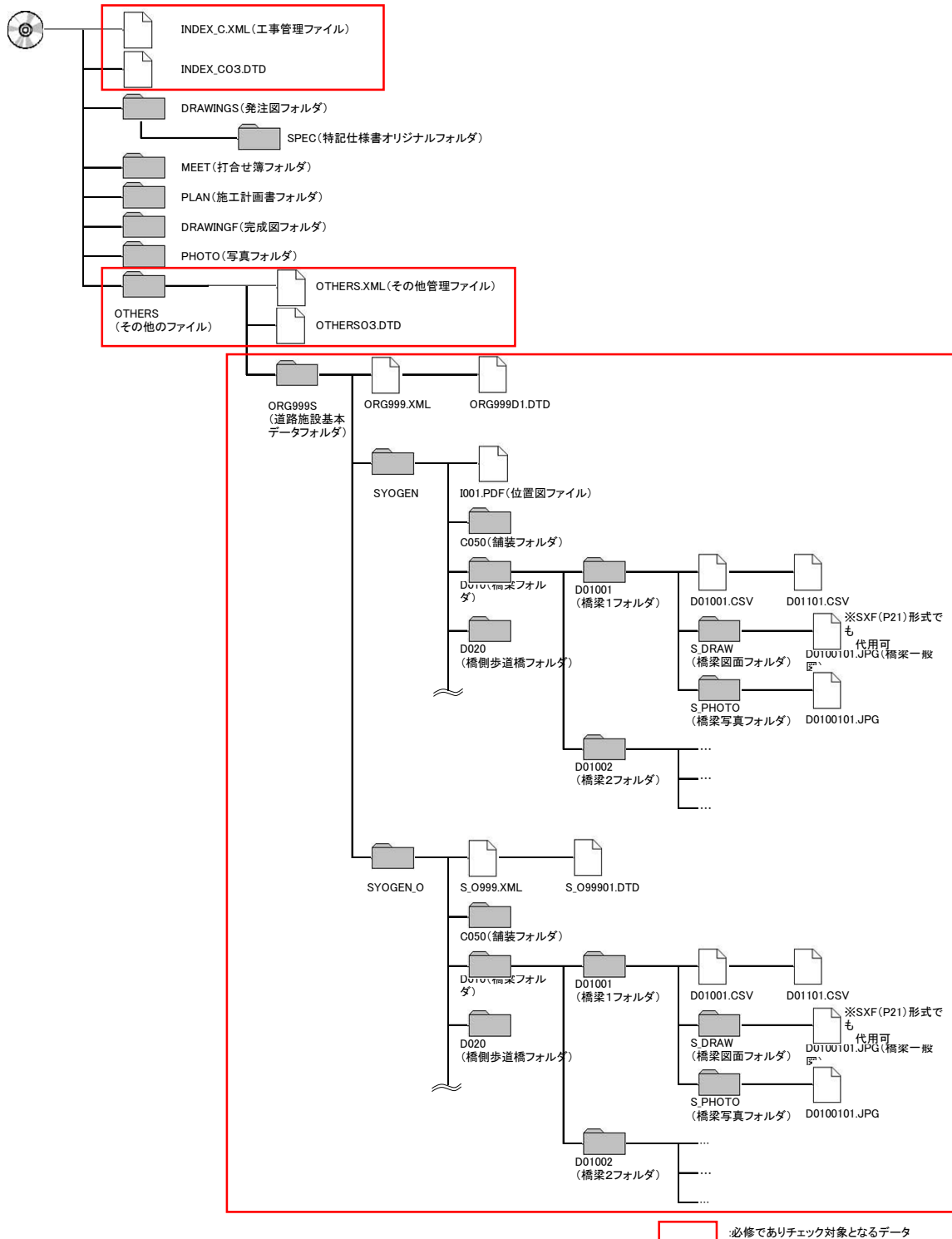
表2.3-3 現況写真撮影方法

撮 影 位 置 図	撮 影 方 法
Aタイプ（路線方向に長さのある場合） 	起点から終点に向かって撮影するのを基本とする。 ① 歩道及び路肩に施設がある場合、施設反対側車道端で撮影する。 但し、4車線道路の場合は中央帯とする。 ② 中央分離帯に施設がある場合、左側車道端から撮影する。 ③ 切土のり面に施設がある場合、施設の反対側から全体が視界に入る位置から撮影する。 ④ 盛土のり面に施設がある場合、施設全体が視界に入る位置から撮影する。
Bタイプ（路線方向に点状なもの） 	車の進行方向に向かって撮影するのを基本とする。 ① 施設の全景と周辺状況が分かる位置から撮影する。 ② 標識は、標識板の近接撮影（できれば施設の設置状況も分かるもの）とする。 標識各板  標識全景 
Cタイプ（構造物） 	① 橋梁・橋側歩道橋・横断歩道橋は、施設全体が入るように撮影する。 なお、高架橋等施設全体が1枚で収まりきらない場合は、必要に応じて複数に分けて撮影する。 ② トンネル・洞門・スノーシェッド・道路BOX等は、起点側入口の全体が入るよう撮影する。 ③ 地下横断歩道は、両出入口が視界に入るよう撮影する。 ④ 横断BOX・パイプカルバート等は、呑口断面上流側から撮影する。 ⑤ 擁壁は、起点側から終点側に向かっての全体撮影とする。 注 延長が300mを超える場合は、300m毎に1件とする。
Dタイプ（道路交差点、その他） 	① 道路交差点 3差路……主道路の反対側流出路肩部から従道路方向を撮影する。 4差路……主道路の起点側流出路肩部から交差点全体が入るよう撮影する。 ② 鉄道交差点 平面……起点側から交差点の全体が入るよう撮影する。 立体……起点右側の鉄路から立体空間全体が入るよう撮影する。（鉄路への立入りについては協議の上撮影を行う。） ③ 車両諸元計測施設・災害予知装置・除雪ステーション等は建物の全景が入るよう撮影する。 ④ 気象観測施設は観測機種毎に撮影する。但し、テレメータは施設の全景を撮影する。 ⑤ 自動車駐車場・自転車駐車場等は、施設の反対側車道端から全体が入るよう撮影する。 ⑥ 共同溝・CAB電線共同溝等の地下埋設施設は、マンホール・ハンドホール等を撮影する。

3. 「道路施設基本データ」格納フォルダ

3.1. フォルダ構成

工事成果電子納品フォルダ・ファイルのうち、「道路施設基本データ」の成果品格納フォルダ・ファイル（チェック対象フォルダ・ファイル）を、図 3.1-1 に示す。



※「INDEX_C.XML」と「OTHERS.XML」は、別途定められている「電子納品に関する手引き（案）【土木工事編】」により、工事の電子納品ファイルとして作成するものである。

図 3.1-1 電子成果品格納フォルダ

4. 「道路施設基本データ」のチェック

道路施設基本データのチェックは、「様式－２ 道路施設基本データチェック結果記録」に示す内容により、プログラムによるチェックと目視等によるチェックを行う。チェック結果は、様式－２に記録し提出する。

4.1. 道路工事完成図等チェックプログラムの入手

プログラムによるチェックは、国土交通省 国土技術政策総合研究所の「道路工事完成図等作成支援サイト」(<http://www.nilim-cdrw.jp/>)より提供される「道路工事完成図等チェックプログラム」を使用する。ダウンロード方法を下図に示す。

① 国土交通省 国土技術政策総合研究所の「道路工事完成図等作成支援サイト」の「ダウンロード」の「作成支援ツール」をクリックする。

② 「作成支援ツール」画面の「道路工事完成図等チェックプログラム」の「Download」をクリックし、チェックプログラムを取得する。取得後、ファイルを解凍してシステムのインストールを行う。

4.2. 道路施設基本データのチェック

入手した道路施設基本データチェックプログラムを用いチェックを行う。エラーがなかった場合は、過剰・漏れ、一貫性及び正確性のそれぞれに 0 件と記載されたチェック結果記録ログが得られる。

目視等によるチェックは、作成データの過不足や、入力誤りの有無について、「様式－2 道路施設基本データチェック結果記録」に示す内容によりチェックを実施する。

5. 九州地方整備局におけるデータ作成上の注意事項

5.1. データ作成に関する注意事項

道路施設の補修ならびに施設形状に変更を加えない施設が大量に発生する工事と判断した場合については、基本諸元の位置情報ならびに施設対応番号を記入し（基本情報の他項目は空白）、履歴に関する書式を新規作成する。

対象工事の例

- ・ 照明維持工事等における照明灯の取替え作業
- ・ 植栽維持工事等における補植・古損木の撤去作業
- ・ 維持修繕工事における防護柵等のビーム一部取替え作業

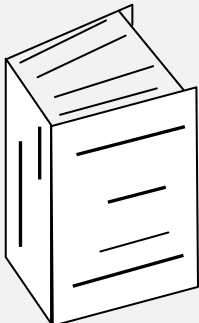
5.2. 延長及び面積の入力数値について

「道路施設基本データ詳細情報」作成時に、入力する数値はすべて工事で発生した数値を入力する。

6. 「道路施設基本データ」の提出について

完了時納品の体裁は次の通りとし、表 6-1 の資料を綴じる。

【体裁】



(表紙記載項目)

- ① タイトル「道路施設基本データ」
- ② 工事年度
- ③ 工事名
- ④ 工 期
- ⑤ 工事施工業者名

A4縦型ファイル

表 6-1 完了時提出資料

No	名 称	種 別	備 考
1	道路施設基本データ作成報告書	紙面	様式－ 1
2	道路施設基本データチェック結果記録	紙面	様式－ 2
4	道路工事完成図等チェックプログラム結果ログ	紙面	
5	数量総括表（最終）	紙面	
6	道路施設基本データ（総括表）	紙面	様式－ 3
7	道路施設基本データ（一覧表）	紙面	様式－ 4
8	道路施設基本データ（詳細表）	紙面	様式－ 5
9	電子納品データ	電子データ	
10	その他工事監督員が必要とする資料		

※ 電子データ格納媒体は、ファイル内に綴る。

各提出紙資料の様式

- 様式－１ 道路施設基本データ作成報告書
- 様式－２ 道路施設基本データチェック結果記録
- 様式－３ 道路施設基本データ総括表
- 様式－４ 道路施設基本データ一覧表
- 様式－５ 道路施設基本データ詳細表

(様式－１)

道路施設基本データ作成報告書

作成日：

道路施設基本データ提出時： 施工業者 → 工事監督部署

工事件名	平成 年度 (工事番号：) (工 期： ～)	工事
工事の概要	【施工区間の供用/未供用の別】 供用・未供用 (年 月 供用予定)	
発注部署	事務所 課	
監督部署	出張所 監督官	
施工業者	【会社名】 【部署名】 【連絡先】 TEL： FAX：	

道路施設基本データ引継記録
(担当部署の責任者は、提出資料目録の内容を確認してチェック欄に記入し、受領日を記入する)

引継確認	引 継 順	受 領 日
	A 施工業者 → 主任監督員	平成 年 月 日
	B 主任監督員 → 発注担当課長	平成 年 月 日
	C 発注担当課長 → 管理担当課長	平成 年 月 日
	D 管理担当課長 → データ管理補助者	平成 年 月 日

道路施設基本データ関連資料を以下のとおり提出します

提出資料目録	名称	資料有無	チェック欄			
			A	B	C	D
	①道路施設基本データチェック結果記録	☐ 有り ☐ 無し	☐	☐	☐	☐
	②審査結果確認書	☐ 有り ☐ 無し	☐	☐	☐	☐
	③道路工事完成図等チェックプログラム結果ログ	☐ 有り ☐ 無し	☐	☐	☐	☐
	④最終数量総括	☐ 有り ☐ 無し	☐	☐	☐	☐
	⑤変更履歴報告書	☐ 有り ☐ 無し	☐	☐	☐	☐
	⑥道路施設基本データ (総括表、一覧表)	☐ 有り ☐ 無し	☐	☐	☐	☐
	⑦電子納品データ	☐ 有り ☐ 無し	☐	☐	☐	☐
	⑧その他調査職員が必要とする資料	☐ 有り ☐ 無し	☐	☐	☐	☐
備 考	※ その他調査職員が必要とする資料がある場合は以下に記載する					

(様式－２)

平成 年 月 日
作成者：

「道路施設基本データ」チェック結果記録

道路施設基本データ提出時： 施工業者 → 工事監督部署

区分	チェック内容	詳 細	チェック 結果	備 考
基本 チェ ック	道路施設基本データが所定の工事のものか	「INDEX_C.XML」の工事名称を確認		
	「道路工事完成図等チェックプログラム結果」にエラーがないか	作成要領 表 6-1 の4「道路工事完成図等チェックプログラム結果ログ」でエラーが出力されていないか確認		
	距離標の自・至が逆転していないか	システムチェックでエラーが出力されていないか		
道路施設基本データ	新規データ：項目の作成漏れがないか	漏れ（スペース）がないか		
	変更データ：変更すべき部分のみが修正されているか	工事図面他資料から作成可能である項目が修正されているか		
	廃止データ：内容が変更されていないか	工事図面他資料から作成可能である削除データを作成しているか		
	設置位置（距離標等）の内容が「道路施設基本データ位置図」に記載されている位置と整合がとれているか	位置図（PDF）情報と文字数値データの情報が一致しているか		
	「道路施設基本データ」は所定の施設、施設数が作成されているか	工事図面に記載された施設数のデータが作成されているか		
	「道路施設基本データ位置図」に所定の情報が明記されているか	作成要領 図 2.1-1「道路施設基本データ位置図作成例」の通り作成されているか		
	作成単位が正しいか	作成要領 表 2.2-1「道路施設基本データの作成単位」の通りデータが作成されているか		
	施設間でそれぞれ記載している項目間の整合がとれているか	橋梁、トンネル等施設の照明有無と付属物の照明等の整合がとれているか		
イメ ージ デー タ	「現況写真」が施設に応じた撮影方法で撮影されているか	作成要領 表 2.3-1「現況写真撮影方法」の通り撮影されているか		
	イメージデータ（現況写真、施設一般図）は所定の施設、施設数が作成されているか	作成要領 表 2.3-1「施設別現況写真・図面種別一覧表」の通り作成されているか		
	写真表示精度に問題はないか	ピンぼけや逆光など		

※各チェック項目について、合格基準を満たすものはチェック結果欄に“○”と記すこと。

道路施設基本データ総括表

道路施設基本データ提出時：施工業者 → 工事監督部署

工事年度		年度	
工事件名			
発注者名		工事番号	
工 事	会社名		
請負者	現場代理人	TEL.	

[illegible]

※「道路施設作成基本データ作成システム」で出力する。

(様式-4)

道路施設基本データ一覧表

× × × × / × × / × ×

道路施設基本データ提出時：施工業者 → 工事監督部署

平成 年度 工事名：

工事番号：

[illegible]

※「道路施設作成基本データ作成システム」で出力する。

防護柵(基本諸元)詳細表

様式-5

20XX年度

工事名：〇〇地区歩道設置工事

工事番号：

[illegible]

※「道路施設作成基本データ作成システム」で出力する。

サンプル集

- 様式－１ 道路施設基本データ作成報告書
- 様式－２ 道路施設基本データチェック結果記録
- 様式－３ 道路施設基本データ総括表
- 様式－４ 道路施設基本データ一覧表
- 様式－５ 道路施設基本データ詳細表

道路施設基本データ作成報告書

作成日：20XX/〇〇/〇〇

道路施設基本データ提出時：施工業者 → 工事監督部署

工事件名	平成〇〇年度 〇〇管内交差点外整備工事 (工事番号：2008XXXXXXXXXX) (工 期：平成〇〇年〇〇月〇〇日 ～ 平成〇〇年〇〇月〇〇日)
工事の概要	〇〇〇〇 【施工区間の供用/未供用の別】 <u>供用</u> ・未供用 (年 月 供用予定)
発注部署	〇〇国道 事務所 〇〇 課
監督部署	〇〇維持 <u>出張所</u> 監督官
施工業者	【会社名】(株) 〇〇建設 【部署名】〇〇支店 〇〇部 【連絡先】TEL：(092)123-4567 FAX：(092)123-4568

道路施設基本データ引継記録
(担当部署の責任者は、提出資料目録の内容を確認してチェック欄に記入し、受領日を記入する)

引継確認	引 継 順	受 領 日
	A 施工業者 → 主任監督員	平成 △△年 △△月 △△日
	B 主任監督員 → 発注担当課長	平成 △△年 △△月 △△日
	C 発注担当課長 → 管理担当課長	平成 △△年 △△月 △△日
	D 管理担当課長 → データ管理補助者	平成 △△年 △△月 △△日

道路施設基本データ関連資料を以下のとおり提出します

提出資料目録	名称	資料有無	チェック欄			
			A	B	C	D
	①道路施設基本データチェック結果記録	☒ 有り ☐ 無し	☒	☒	☒	☒
	②審査結果確認書	☒ 有り ☐ 無し	☒	☒	☒	☒
	③道路工事完成図等チェックプログラム結果ログ	☒ 有り ☐ 無し	☒	☒	☒	☒
	④最終数量総括	☒ 有り ☐ 無し	☒	☒	☒	☒
	⑤変更履歴報告書	☒ 有り ☐ 無し	☒	☒	☒	☒
	⑥道路施設基本データ (総括表、一覧表)	☒ 有り ☐ 無し	☒	☒	☒	☒
	⑦電子納品データ	☒ 有り ☐ 無し	☒	☒	☒	☒
備 考	⑧その他調査職員が必要とする資料	☒ 有り ☐ 無し	☒	☒	☒	☒
	※ その他調査職員が必要とする資料がある場合は以下に記載する ① 〇〇〇〇〇					

(様式－２)

平成〇〇年〇〇月〇〇日

作成者： 〇〇 〇〇 印

「道路施設基本データ」チェック結果記録

道路施設基本データ提出時： 施工業者 → 工事監督部署

区分	チェック内容	詳 細	チェック 結果	備 考
基本 チェ ック	道路施設基本データが所定の工事のものか	「INDEX_C.XML」の工事名称を確認	○	
	「道路工事完成図等チェックプログラム結果」にエラーがないか	作成要領 表 6.1-の 4「道路工事完成図等チェックプログラム結果ログ」でエラーが出力されていないか確認	○	
	距離標の自・至が逆転していないか	システムチェックでエラーが出力されていないか	○	
道路施設基本データ	新規データ：項目の作成漏れがないか	漏れ（スペース）がないか	○	
	変更データ：変更すべき部分のみが修正されているか	工事図面他資料から作成可能である項目が修正されているか	○	
	廃止データ：内容が変更されていないか	工事図面他資料から作成可能である削除データを作成しているか	○	
	設置位置（距離標等）の内容が「道路施設基本データ位置図」に記載されている位置と整合がとれているか	位置図（PDF）情報と文字数値データの情報が一致しているか	○	
	「道路施設基本データ」は所定の施設、施設数が作成されているか	工事図面に記載された施設数のデータが作成されているか	○	
	「道路施設基本データ位置図」に所定の情報が明記されているか	作成要領 図 2.1-1「道路施設基本データ位置図作成例」の通り作成されているか	○	
	作成単位が正しいか	作成要領 表 2.2-1「道路施設基本データの作成単位」の通りデータが作成されているか	○	
	施設間でそれぞれ記載している項目間の整合がとれているか	橋梁、トンネル等施設の照明有無と付属物の照明等の整合がとれているか	○	
イメ ージ デー タ	「現況写真」が施設に応じた撮影方法で撮影されているか	作成要領 表 2.3-1「現況写真撮影方法」の通り撮影されているか	○	
	イメージデータ（現況写真、施設一般図）は所定の施設、施設数が作成されているか	作成要領 表 2.3-1「施設別現況写真・図面種別一覧表」の通り作成されているか	○	
	写真表示精度に問題はないか	ピンぼけや逆光など	○	

※各チェック項目について、合格基準を満たすものはチェック結果欄に“○”と記すこと。

(様式-3)

道路施設基本データ総括表

赤字は記入例
××××/××/××

道路施設基本データ提出時：施工業者 → 工事監督部署

工事年度	〇〇 年度		
工事件名	〇〇管内交差点外整備工事		
発注者名	〇〇国道事務所 〇〇課	工事番号	2008XXXXXXXXXXXX
工 事	会社名	(株)〇〇建設	
請負者	現場代理人	〇〇 〇〇	TEL. (092)123-4567

作成施設情報内訳					備 考
施 設 名	施 設 数				
	新設	改良	撤去	計	
舗装(基本諸元)		1		1	
舗装(補修歴)	1			1	
道路交差点(本線)		1		1	
道路交差点(従道路)		1		1	
歩道及び自転車歩行者道	2			2	
橋梁(基本諸元)		2		2	
橋梁(補修歴)	2			2	
防護柵(基本諸元)	2	2	2	6	
防護柵(補修歴)	2			2	
道路照明(基本諸元)	3			3	
反射式視線誘導標	1			1	
自光式視線誘導標(基本諸元)	3			3	
道路標識(基本諸元)	2	1		3	
道路標識(標識板)	2			2	
道路標識(補修歴)	1			1	
植栽(基本諸元)	1	1		2	
植栽(樹木種別)	1			1	
植栽(追加植換え歴)	1			1	

道路施設基本データ一覧表

XXXXXXXXXX/XX/XX

平成〇〇年度

工事番号: 2008XXXXXXXXXX

※「道路施設作成基本データ作成ツール」で出力する。

防護柵(基本諸元)詳細表

様式-5

20XX年度

工事名：〇〇地区歩道設置工事

赤字は記入例

工事番号：06893800010058

NO	項目名	入力欄	単位
1	工事番号	06893800010058	
2	工事区分	1 新設	
3	データ区分	新設	
4	施設対応番号	I001-007	
5	路線番号	202	
6	現旧区分	1 現道	
7	市区町村	41202 佐賀県唐津市	
8	検査数字	3	
9	名称	唐津市大字畑島	
10	百米標又は測点(自)	54.8	Km
11	百米標又は測点(自)からの距離	50	m
12	百米標又は測点(至)	54.8	Km
13	百米標又は測点(至)からの距離	52	m
14	施設完成年度	2006	西暦
15	施設改修年度	*	西暦
16	上り下り区分	2 下り線	
17	設置箇所	1 路側	
18	防護柵種別	113 G r - B - 2 B	
19	設置区分	1 本線	
20	設置目的	11 車両の路外逸脱防止	
21	材質	1 鋼材	
22	柵高	0.70	m
23	設置延長	2.0	m
24	完成年月	200603	西暦
25	表面処理	2 塗装式	
26	関連施設名称	*	
27	関連施設番号	*	
28	備考	*	

※「道路施設作成基本データ作成システム」で出力する。

別添資料 1

作成対象施設と対応する詳細情報名

- 本資料は、九州地方整備局版の作成対象施設と作成する詳細情報名を示した資料である。

作成対象施設と対応する詳細情報名

区分	施設番号	施設名	詳細情報番号	詳細情報名	親	子	孫
道路構造	C020	縦断勾配	C020	縦断勾配	○		
			C021	パーチカルカーブ	○		
	C030	平面線形	C030	平面線形基本	○		
			C031	平面線形折曲り箇所		○	
	C050	舗装	C050	舗装基本	○		
			C052	舗装補修歴		○	
	C060	道路交差点	C060	道路交差点本線	○		
			C061	道路交差点従道路		○	
	C070	鉄道交差点	C070	鉄道交差点基本	○		
			C071	鉄道交差点鉄道事業者		○	
	C080	歩道及び自転車歩行者道	C080	歩道自歩道	○		
	C090	独立専用自歩道	C090	独立専用自歩道	○		
構造物	D010	橋梁	C100	中央帯	○		
			C110	環境施設帯	○		
			D010	橋梁基本	○		
			D011	橋梁幅員構成		○	
			D012	橋梁高欄防護柵		○	
			D013	橋梁交差状況		○	
			D014	橋梁添架物		○	
			D015	橋梁上部工		○	
			D016	橋梁下部工		○	
			D017	橋梁径間			○
			D019	橋梁塗装歴		○	
			D01A	橋梁補修歴		○	
			D01D	橋梁点検補修		○	
	D020	橋側歩道橋	D020	橋側歩道橋基本	○		
			D021	橋側歩道橋幅員構成		○	
			D022	橋側歩道橋高欄防護柵		○	
			D023	橋側歩道橋交差状況		○	
			D024	橋側歩道橋添架物		○	
			D025	橋側歩道橋上部工		○	
			D026	橋側歩道橋下部工		○	
			D027	橋側歩道橋径間			○
			D029	橋側歩道橋塗装歴		○	
			D02A	橋側歩道橋補修歴		○	
			D02D	橋側歩道橋点検補修		○	
	D030	横断歩道橋	D030	横断歩道橋基本	○		
			D032	横断歩道橋塗装歴		○	
			D033	横断歩道橋補修歴		○	
	D040	トンネル	D040	トンネル基本	○		
			D042	トンネル補修歴		○	
			D043	トンネル占用物		○	
	D050	洞門	D050	洞門基本	○		
			D052	洞門補修歴		○	
			D053	洞門占用物		○	

作成対象施設と対応する詳細情報名

区分	施設 番号	施設名	詳細 情報 番号	詳細情報名	親	子	孫
構造物	D060	スノーシェッド	D060	スノーシェッド基本	○		
			D062	スノーシェッド補修歴		○	
			D063	スノーシェッド占用物		○	
	D070	地下横断歩道	D070	地下横断歩道基本	○		
			D072	地下横断歩道補修歴		○	
			D073	地下横断歩道占用物		○	
	D080	道路ＢＯＸ等	D080	道路ＢＯＸ基本	○		
			D082	道路ＢＯＸ補修歴		○	
			D083	道路ＢＯＸ占用物		○	
	D090	横断ＢＯＸ等	D090	横断ＢＯＸ基本	○		
			D092	横断ＢＯＸ補修歴		○	
			D093	横断ＢＯＸ占用物		○	
	D100	パイプカルバート	D100	パイプカルバート基本	○		
			D102	パイプカルバート補修歴		○	
	D110	のり面・斜面	D110	のり面基本	○		
			D117	のり面補修改築歴		○	
	D120	擁壁	D120	擁壁基本	○		
			D122	擁壁補修歴		○	
付属物及び付帯施設	E010	防護柵	E010	防護柵基本	○		
			E012	防護柵補修歴		○	
	E020	道路照明	E020	照明基本	○		
			E022	照明補修歴		○	
	E030	反射式視線誘導標	E030	反射式視線誘導	○		
	E040	自光式視線誘導標	E040	自光式視線誘導基本	○		
			E042	自光式視線誘導補修歴		○	
	E050	道路標識	E050	標識基本	○		
			E051	標識各板諸元		○	
			E053	標識補修歴			○
	E060	道路情報板	E060	情報板基本	○		
			E062	情報板補修歴		○	
	E070	交通遮断機	E070	交通遮断機基本	○		
			E072	交通遮断機補修歴		○	
	E080	Ｉ．Ｔ．Ｖ	E080	ＩＴＶ 基本	○		
			E082	ＩＴＶ 補修歴		○	
	E090	車両感知器	E090	車両感知器基本	○		
			E092	車両感知器補修歴		○	
	E100	車両諸元計測施設	E100	車両計測基本	○		
			E101	車両計測設備		○	
			E103	車両計測補修歴		○	
	E110	気象観測施設	E110	気象観測基本	○		
			E112	気象観測補修歴		○	
	E120	災害予知装置	E120	災害予知装置基本	○		
	E130	自動車駐車場等	E130	自動車駐車場基本	○		
			E132	自動車駐車場補修歴		○	
	E140	自転車駐車場	E140	自転車駐車場基本	○		

作成対象施設と対応する詳細情報名

区分	施設 番号	施設名	詳細 情報 番号	詳細情報名	親	子	孫
付属物及び付帯施設	E150	雪崩防止施設	E150	雪崩防止基本	○		
			E152	雪崩防止補修歴		○	
	E160	落石防止施設	E160	落石防止基本	○		
			E162	落石防止補修歴		○	
	E170	消雪パイプ	E170	消雪パイプ基本	○		
			E172	消雪パイプ補修歴		○	
	E180	ロードヒーティング	E180	ロードヒーティング基本	○		
			E182	ロードヒーティング補修歴		○	
	E190	除雪ステーション	E190	除雪 S T 基本	○		
			E191	除雪 S T 設備		○	
	E200	防災備蓄倉庫	E200	防災備蓄基本	○		
			E201	防災備蓄設備		○	
	E210	共同溝	E210	共同溝基本	○		
			E211	共同溝占用物		○	
			E213	共同溝補修歴		○	
	E220	C A B 電線共同溝	E220	C A B 電線共同溝基本	○		
			E221	C A B 電線共同溝占用物		○	
			E223	C A B 電線共同溝補修歴		○	
	E230	植栽	E230	植栽基本	○		
			E231	植栽樹木種別		○	
			E233	植栽追加植換え歴		○	
	E240	遮音施設	E240	遮音施設基本	○		
			E241	遮音施設型式		○	
			E243	遮音施設補修歴		○	
	E250	遮光フェンス	E250	遮光フェンス基本	○		
			E252	遮光フェンス補修歴		○	
	E260	距離標	E260	距離標	○		
	E270	流雪溝	E270	流雪溝	○		
	E330	光ケーブル施設	E330	光ケーブル基本	○		
			E331	光ケーブル用途		○	
			E333	光ケーブル補修歴		○	
			E334	光ケーブル端局	○		
			E336	光ケーブル端局補修歴		○	
	E350	ビーコン	E350	ビーコン基本	○		
			E352	ビーコン補修歴		○	

別添資料 2

道路施設基本データ入力フォーマット

■本資料は、九州地方整備局版の作成項目を示したフォーマットである。

本フォーマットに示した項目名、データ表現に従い、過不足なくCSVファイルを作成すること。

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

C020縦断勾配

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	C020
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	C020
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	C020
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	C020
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	C020
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	C020
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	C020
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	C020
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	C020
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	C020
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	C020
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	C020
13	百米標自	k m	999. 9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10. 1）	C020
14	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	C020
15	百米標至	k m	999. 9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15. 5）	C020
16	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	C020
17	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	C020
18	区間長	m	9999. 999	該当する線形の区間長（小数点以下3位）	C020
19	符号C			該当する区間の縦断勾配コード	C020
20	勾配	%	99. 9	該当する区間の縦断勾配（小数点以下1位）	C020
21	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	C020
22	市区町村自C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	C020
23	市区町村至C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	C020

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

C021バーチカルカーブ

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	C021
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	C021
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	C021
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	C021
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	C021
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	C021
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	C021
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	C021
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	C021
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	C021
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	C021
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バ`イ`ス 等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	C021
13	百米標自	k m	999. 9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10. 1）	C021
14	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	C021
15	百米標至	k m	999. 9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15. 5）	C021
16	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	C021
17	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	C021
18	縦断曲線区分C			該当する区間の縦断曲線区分コード	C021
19	縦断曲線半径	m	99999	該当する区間の縦断曲線半径（R）	C021
20	縦断曲線長	m	99999999	該当する区間の縦断曲線長（L）	C021
21	縦断曲線区間長	m	9999	該当なし（*記入）	C021

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

C030平面線形

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	C030
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	C030
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	C030
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	C030
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	C030
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	C030
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	C030
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	C030
9	現旧区分		漢字2文字	供用開始されている道路区分名（「現旧区分【コード】」に対するコード内容）	C030
10	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	C030
11	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	C030
12	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	C030
13	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	C030
14	百米標自	k m	999. 9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10. 1）	C030
15	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	C030
16	百米標至	k m	999. 9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15. 5）	C030
17	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	C030
18	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	C030
19	線形区分C			該当する区間の線形区分コード	C030
20	区間長	m	9999. 999	該当する線形区間の区間延長（小数点以下3位）	C030
21	始点側クロソイド	m	99999. 9	該当区間の始点側のクロソイド曲線のパラメータA1（小数点以下1位）	C030
22	曲線半径	m	99999. 9	該当する区間の曲線半径（R）（小数点以下1位）	C030
23	終点側クロソイド	m	99999. 9	該当区間の終点側のクロソイド曲線のパラメータA2（小数点以下1位）	C030
24	曲り区分C			起点側～終点側に向かって見た場合の曲り方向コード	C030
25	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	C030
26	市区町村自C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	C030
27	市区町村至C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	C030

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

C031平面線形折曲り箇所

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		C031
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	C031
3	附図対応番号		半角16 文字		C031
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	C031
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	C031
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	C031
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	C031
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	C031
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	C031
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	C031
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	C031
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	C031
13	百米標	k m	999. 9	該当する施設の直前にある百米標（例：10. 1）	C031
14	距離	m	9999	該当する施設の直前にある百米標からの距離	C031
15	曲り区分C			起点側～終点側に向かって見た場合の曲り方向コード	C031
16	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	C031

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

C050舗装（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	C050
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	C050
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	C050
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	C050
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	C050
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	C050
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	C050
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	C050
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	C050
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	C050
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	C050
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	C050
13	名称		漢字10 文字	該当する舗装データの区間の名称又は地先名等（日本語）	C050
14	百米標自	k m	999.9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10.1）	C050
15	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	C050
16	百米標至	k m	999.9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15.5）	C050
17	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	C050
18	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	C050
19	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	C050
20	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	C050
21	舗装区分C			該当する区間の舗装施工区分コード	C050
22	道路構造物区分C			該当する区間の道路構造物区分コード	C050
23	舗装種別C			該当する区間の舗装種別コード	C050
24	最大舗装幅員	m	99.9	該当する区間（データの作成範囲）の最大舗装幅員（小数点以下1位）	C050
25	最小舗装幅員	m	99.9	該当する区間（データの作成範囲）の最小舗装幅員（小数点以下1位）	C050
26	延長	m	999999.9	該当する区間（データの作成範囲）の舗装延長（該当する舗装区分の中心線上ののべ延長）（小数点以下1位）	C050
27	舗装面積	m ²	99999999	該当する区間（データの作成範囲）の舗装面積	C050
28	交通区分C			大型車交通量による交通区分コード	C050
29	路床土CBR	%	99.9	該当する区間の施工時のCBR値（小数点以下1位）	C050
30	TA値	cm	999	該当する区間の施工時のTA値	C050
31	MCI値		99.9	該当する区間のMCI値（小数点以下1位）	C050
32	平均経年数		99	該当する区間の平均経年数	C050

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	車道幅員	m	99.99	車道部分の舗装幅員（小数点以下2位）	C050
34	車道延長	m	99999.9	車道部分の舗装延長（小数点以下1位）	C050
35	車道面積	m ²	99999	車道部分の舗装面積	C050
36	車道表層工種1 C			車道部分の表層の1種類目工種(材料)コード	C050
37	車道表層厚1	c m	99	車道部分の表層の1種類目舗装厚	C050
38	車道表層工種2 C			車道部分の表層の2種類目工種(材料)コード	C050
39	車道表層厚2	c m	99	車道部分の表層の2種類目舗装厚	C050
40	車道中間層工種1 C			車道部分の中間層の1種類目工種(材料)コード	C050
41	車道中間層厚1	c m	99	車道部分の中間層の1種類目舗装厚	C050
42	車道中間層工種2 C			車道部分の中間層の2種類目工種(材料)コード	C050
43	車道中間層厚2	c m	99	車道部分の中間層の2種類目舗装厚	C050
44	車道基層工種1 C			車道部分の基層の1種類目工種(材料)コード	C050
45	車道基層厚1	c m	99	車道部分の基層の1種類目舗装厚	C050
46	車道基層工種2 C			車道部分の基層の2種類目工種(材料)コード	C050
47	車道基層厚2	c m	99	車道部分の中間層の2種類目舗装厚	C050
48	車道上層路盤工種1 C			車道部分の上層路盤の1種類目工種(材料)コード	C050
49	車道上層路盤厚1	c m	99	車道部分の上層路盤の1種類目舗装厚	C050
50	車道上層路盤工種2 C			車道部分の上層路盤の2種類目工種(材料)コード	C050
51	車道上層路盤厚2	c m	99	車道部分の上層路盤の2種類目舗装厚	C050
52	車道下層路盤工種1 C			車道部分の下層路盤の1種類目工種(材料)コード	C050
53	車道下層路盤厚1	c m	99	車道部分の下層路盤の1種類目舗装厚	C050
54	車道下層路盤工種2 C			車道部分の下層路盤の2種類目工種(材料)コード	C050
55	車道下層路盤厚2	c m	99	車道部分の下層路盤の2種類目舗装厚	C050
56	路肩幅員	m	99.99	路肩部分の舗装幅員（小数点以下2位）	C050
57	路肩延長	m	99999.9	路肩部分の舗装延長（小数点以下1位）	C050
58	路肩面積	m ²	99999	路肩部分の舗装面積	C050
59	路肩表層工種1 C			路肩部分の表層の1種類目工種(材料)コード	C050
60	路肩表層厚1	c m	99	路肩部分の表層の1種類目舗装厚	C050
61	路肩表層工種2 C			路肩部分の表層の2種類目工種(材料)コード	C050
62	路肩表層厚2	c m	99	路肩部分の表層の2種類目舗装厚	C050
63	路肩中間層工種1 C			路肩部分の中間層の1種類目工種(材料)コード	C050
64	路肩中間層厚1	c m	99	路肩部分の中間層の1種類目舗装厚	C050
65	路肩中間層工種2 C			路肩部分の中間層の2種類目工種(材料)コード	C050

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
66	路肩中間層厚 2	c m	99	路肩部分の中間層の 2 種類目舗装厚	C050
67	路肩基層工種 1 C			路肩部分の基層の 1 種類目工種(材料)コード	C050
68	路肩基層厚 1	c m	99	路肩部分の基層の 1 種類目舗装厚	C050
69	路肩基層工種 2 C			路肩部分の基層の 2 種類目工種(材料)コード	C050
70	路肩基層厚 2	c m	99	路肩部分の中間層の 2 種類目舗装厚	C050
71	路肩上層路盤工種 1 C			路肩部分の上層路盤の 1 種類目工種(材料)コード	C050
72	路肩上層路盤厚 1	c m	99	路肩部分の上層路盤の 1 種類目舗装厚	C050
73	路肩上層路盤工種 2 C			路肩部分の上層路盤の 2 種類目工種(材料)コード	C050
74	路肩上層路盤厚 2	c m	99	路肩部分の上層路盤の 2 種類目舗装厚	C050
75	路肩下層路盤工種 1 C			路肩部分の下層路盤の 1 種類目工種(材料)コード	C050
76	路肩下層路盤厚 1	c m	99	路肩部分の下層路盤の 1 種類目舗装厚	C050
77	路肩下層路盤工種 2 C			路肩部分の下層路盤の 2 種類目工種(材料)コード	C050
78	路肩下層路盤厚 2	c m	99	路肩部分の下層路盤の 2 種類目舗装厚	C050
79	側帯幅員	m	99.99	側帯部分の舗装幅員（小数点以下 2 位）	C050
80	側帯延長	m	99999.9	側帯部分の舗装延長（小数点以下 1 位）	C050
81	側帯面積	m ²	99999	側帯部分の舗装面積	C050
82	側帯表層工種 1 C			側帯部分の表層の 1 種類目工種(材料)コード	C050
83	側帯表層厚 1	c m	99	側帯部分の表層の 1 種類目舗装厚	C050
84	側帯表層工種 2 C			側帯部分の表層の 2 種類目工種(材料)コード	C050
85	側帯表層厚 2	c m	99	側帯部分の表層の 2 種類目舗装厚	C050
86	側帯中間層工種 1 C			側帯部分の中間層の 1 種類目工種(材料)コード	C050
87	側帯中間層厚 1	c m	99	側帯部分の中間層の 1 種類目舗装厚	C050
88	側帯中間層工種 2 C			側帯部分の中間層の 2 種類目工種(材料)コード	C050
89	側帯中間層厚 2	c m	99	側帯部分の中間層の 2 種類目舗装厚	C050
90	側帯基層工種 1 C			側帯部分の基層の 1 種類目工種(材料)コード	C050
91	側帯基層厚 1	c m	99	側帯部分の基層の 1 種類目舗装厚	C050
92	側帯基層工種 2 C			側帯部分の基層の 2 種類目工種(材料)コード	C050
93	側帯基層厚 2	c m	99	側帯部分の中間層の 2 種類目舗装厚	C050
94	側帯上層路盤工種 1 C			側帯部分の上層路盤の 1 種類目工種(材料)コード	C050
95	側帯上層路盤厚 1	c m	99	側帯部分の上層路盤の 1 種類目舗装厚	C050
96	側帯上層路盤工種 2 C			側帯部分の上層路盤の 2 種類目工種(材料)コード	C050
97	側帯上層路盤厚 2	c m	99	側帯部分の上層路盤の 2 種類目舗装厚	C050
98	側帯下層路盤工種 1 C			側帯部分の下層路盤の 1 種類目工種(材料)コード	C050

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
99	側帯下層路盤厚 1	c m	99	側帯部分の下層路盤の 1 種類目舗装厚	C050
100	側帯下層路盤工種 2 C			側帯部分の下層路盤の 2 種類目工種 (材料) コード	C050
101	側帯下層路盤厚 2	c m	99	側帯部分の下層路盤の 2 種類目舗装厚	C050
102	歩道幅員	m	99.99	歩道部分の舗装幅員 (小数点以下 2 位)	C050
103	歩道延長	m	99999.9	歩道部分の舗装延長 (小数点以下 1 位)	C050
104	歩道面積	m ²	99999	歩道部分の舗装面積	C050
105	歩道表層工種 1 C			歩道部分の表層の 1 種類目工種 (材料) コード	C050
106	歩道表層厚 1	c m	99	歩道部分の表層の 1 種類目舗装厚	C050
107	歩道表層工種 2 C			歩道部分の表層の 2 種類目工種 (材料) コード	C050
108	歩道表層厚 2	c m	99	歩道部分の表層の 2 種類目舗装厚	C050
109	歩道中間層工種 1 C			歩道部分の中間層の 1 種類目工種 (材料) コード	C050
110	歩道中間層厚 1	c m	99	歩道部分の中間層の 1 種類目舗装厚	C050
111	歩道中間層工種 2 C			歩道部分の中間層の 2 種類目工種 (材料) コード	C050
112	歩道中間層厚 2	c m	99	歩道部分の中間層の 2 種類目舗装厚	C050
113	歩道基層工種 1 C			歩道部分の基層の 1 種類目工種 (材料) コード	C050
114	歩道基層厚 1	c m	99	歩道部分の基層の 1 種類目舗装厚	C050
115	歩道基層工種 2 C			歩道部分の基層の 2 種類目工種 (材料) コード	C050
116	歩道基層厚 2	c m	99	歩道部分の中間層の 2 種類目舗装厚	C050
117	歩道上層路盤工種 1 C			歩道部分の上層路盤の 1 種類目工種 (材料) コード	C050
118	歩道上層路盤厚 1	c m	99	歩道部分の上層路盤の 1 種類目舗装厚	C050
119	歩道上層路盤工種 2 C			歩道部分の上層路盤の 2 種類目工種 (材料) コード	C050
120	歩道上層路盤厚 2	c m	99	歩道部分の上層路盤の 2 種類目舗装厚	C050
121	歩道下層路盤工種 1 C			歩道部分の下層路盤の 1 種類目工種 (材料) コード	C050
122	歩道下層路盤厚 1	c m	99	歩道部分の下層路盤の 1 種類目舗装厚	C050
123	歩道下層路盤工種 2 C			歩道部分の下層路盤の 2 種類目工種 (材料) コード	C050
124	歩道下層路盤厚 2	c m	99	歩道部分の下層路盤の 2 種類目舗装厚	C050
125	完成年月	西暦	199901	該当する区間の舗装が完成した年月 (1985 年 2 月の場合 : 198502)	C050
126	備考		漢字 50 文字	特記事項がある場合に入力 (全角) 特になければ「※」を入力	C050
127	市区町村自 C			該当する施設 (区間) の起点側の市区町村コード (自治省作成「全国市町村要覧」参照)	C050
128	市区町村至 C			該当する施設 (区間) の終点側の市区町村コード (自治省作成「全国市町村要覧」参照)	C050

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

C052舗装（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		C052
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	C052
3	附図対応番号		半角16 文字		C052
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	C052
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	C052
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	C052
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	C052
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	C052
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	C052
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	C052
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	C052
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バypass等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	C052
13	補修年月	西暦	199901	補修を行った年月（1985年10月の場合：198510）	C052
14	百米標自	k m	999.9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10.1）	C052
15	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	C052
16	百米標至	k m	999.9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15.5）	C052
17	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	C052
18	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	C052
19	延長	m	999999.9	舗装の補修を行った区間のべ延長（小数点以下1位）	C052
20	補修厚	c m	99	補修を行った区間の補修厚	C052
21	補修内容C			該当する舗装区間の補修内容コード	C052
22	補修工事名		漢字20 文字	舗装の補修を行った工事名（日本語）	C052
23	備考		漢字50 文字	補修要因等がある場合に入力される項目（全角）特になければ「*」を入力	C052

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

C060道路交差点（本線）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	C060
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	C060
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	C060
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	C060
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	C060
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	C060
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	C060
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	C060
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	C060
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	C060
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	C060
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（ハイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	C060
13	名称		漢字10 文字	該当する道路交差点の名称又は設置箇所の地先名等（日本語）	C060
14	百米標	k m	999.9	該当する施設の直前にある百米標（例：10.1）	C060
15	距離	m	9999	該当する施設の直前にある百米標からの距離	C060
16	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	C060
17	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	C060
18	交差方式C			道路交差点の交差方式コード	C060
19	交差区分C			道路交差点の交差区分コード	C060
20	市区町村C			該当する施設のある市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	C060
21	検査数字		半角1文字	該当する市区町村コードについて、「建設省組織コード」（大臣官房文書課）を参照し、コード末尾1桁の数字	C060
22	所在地		漢字30 文字	該当区間の所在地（字番地まで）	C060
23	従道路数		9	本線と交差している従道路の数	C060
24	枝数		9	道路交差点の枝数	C060
25	枝番号		9	本線道の枝番号	C060
26	車道幅員	m	99.99	車道部の総幅員（付加車線は含まず）（小数点以下2位）	C060
27	車線数		99	総車線数（付加車線は含まず）	C060
28	付加車線有無C			本線部に付加車線設置の有無コード	C060
29	中央分離帯有無C			本線部に中央分離帯設置の有無コード	C060
30	歩道有無C			本線部に歩道設置の有無コード	C060
31	自転車通行帯有無C			本線部に自転車通行帯設置の有無コード	C060
32	立体横断施設有無C			本線部に立体横断施設設置の有無コード	C060

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目

※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	横断歩道有無 C			本線部に横断歩道設置の有無コード	C060
34	信号機有無 C			本線部に信号機設置の有無コード	C060
35	照明有無 C			本線部に道路照明設置の有無コード	C060
36	交通規制有無 C			本線部の交通規制の有無コード	C060
37	交通規制区分 1 C			本線部 1 種類目の交通規制区分コード	C060
38	交通規制区分 2 C			本線部 2 種類目の交通規制区分コード	C060
39	交通規制区分 3 C			本線部 3 種類目の交通規制区分コード	C060
40	道路規格 C			本線の道路規格コード	C060
41	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	C060

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

C061道路交差点（従道路）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		C061
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	C061
3	附図対応番号		半角16 文字		C061
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	C061
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	C061
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	C061
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	C061
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	C061
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	C061
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	C061
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	C061
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	C061
13	枝番号		9	道路交差点の枝数	C061
14	車道幅員	m	99.99	従道路の車道部総幅員（付加車線は含まず）（小数点以下2位）	C061
15	車線数		99	従道路の総車線数（付加車線は含まず）	C061
16	路線名称		漢字15 文字	従道路の路線名（日本語）	C061
17	道路規格C			従道路の道路規格コード	C061
18	協定有無C			関連省庁等との間の協定有無コード	C061
19	協定年月日	西暦	19990101	管理協定された年月日（1984年3月15日の場合：19840315）	C061
20	協定者名		漢字12 文字	管理協定者名（日本語）	C061
21	枝番1		9	当該の従道路が付した枝番号と対応している従道路の枝番号	C061
22	枝番2		9	当該の従道路が付した枝番号と対応している従道路の枝番号	C061

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

C070鉄道交差点（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	C070
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	C070
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	C070
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	C070
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	C070
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	C070
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	C070
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	C070
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	C070
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	C070
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	C070
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バ'イ'ス 等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	C070
13	名称		漢字10 文字	該当する鉄道交差点の名称又は設置箇所の地先名等（日本語）	C070
14	百米標自	k m	999. 9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10. 1）	C070
15	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	C070
16	百米標至	k m	999. 9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15. 5）	C070
17	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	C070
18	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	C070
19	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	C070
20	所在地		漢字30 文字	該当区間の所在地（字番地まで）	C070
21	交差方式C			鉄道交差点の交差方式コード	C070
22	単複線区分C			鉄道交差点と交差している鉄道路線の単複線区分コード	C070
23	協定有無C			関連省庁等との間の協定有無コード	C070
24	土地所有者		漢字15 文字	鉄道交差点の土地の地権者名（日本語）	C070
25	延長	m	99. 9	鉄道交差点の起点～終点までの実延長（小数点以下1位）	C070
26	幅員	m	99. 9	踏切における道路幅員（小数点以下1位）	C070
27	歩道等施設有無C			歩道等施設の有無コード	C070
28	歩道等施設区分C			歩道等施設の区分コード	C070
29	起点側対道路幅員差符号C			踏切から見て取付道路（道路部）に対する起点側の幅員差の符号区分コード	C070
30	起点側対道路幅員差	m	99. 9	踏切から見て取付道路（道路部）に対する起点側の道路幅員差（小数点以下1位）	C070
31	終点側対道路幅員差符号C			踏切から見て取付道路（道路部）に対する終点側の幅員差の符号区分コード	C070
32	終点側対道路幅員差	m	99. 9	踏切から見て取付道路（道路部）に対する終点側の道路幅員差（小数点以下1位）	C070

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	交差角度		99	鉄道交差点と道路の交差角度	C070
34	起点側道路勾配符号C			起点側の道路勾配の符号コード	C070
35	起点側道路勾配	%	99	起点側の道路勾配	C070
36	終点側道路勾配符号C			終点側の道路勾配の符号コード	C070
37	終点側道路勾配	%	99	終点側の道路勾配	C070
38	路面区分C			鉄道交差点内の路面状況コード	C070
39	起点左側見通し距離C			起点左側の踏切から列車の見通し距離コード	C070
40	起点右側見通し距離C			起点右側の踏切から列車の見通し距離コード	C070
41	終点左側見通し距離C			終点左側の踏切から列車の見通し距離コード	C070
42	終点右側見通し距離C			終点右側の踏切から列車の見通し距離コード	C070
43	起点側道路交差点距離	m	99	鉄道交差点の起点側50m 以内にある道路交差点の中心までの距離	C070
44	終点側道路交差点距離	m	99	鉄道交差点の終点側50m 以内にある道路交差点の中心までの距離	C070
45	踏切道種別C			踏切道の種別区分コード	C070
46	遮断時間	分	9999	列車の通行により、道路交通が遮断される時間	C070
47	跨線地下道名		漢字10 文字	立体交差の跨線名、地下道名等（日本語）	C070
48	最小桁下高	m	99.99	立体交差の最小桁下高（小数点以下2位）	C070
49	鉄道上下別C			立体交差している鉄道が道路に対し、上下の別コード	C070
50	備考1		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	C070
51	備考2		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	C070
52	備考3		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	C070
53	市区町村自C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	C070
54	市区町村至C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	C070

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

C071鉄道交差点（鉄道事業者）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		C071
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	C071
3	附図対応番号		半角16 文字		C071
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	C071
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	C071
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	C071
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	C071
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	C071
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	C071
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	C071
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	C071
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	C071
13	鉄道事業者名C			該当する鉄道事業者名コード	C071
14	鉄道線名C			該当する鉄道線名コード（鉄道事業者名コード+鉄道線名コードを合わせた6桁）	C071
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	C071

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

C080歩道及び自転車歩行者道

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	C080
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	C080
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	C080
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	C080
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	C080
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	C080
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	C080
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	C080
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	C080
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	C080
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	C080
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バypass等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	C080
13	市区町村C			該当する施設のある市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	C080
14	検査数字		半角1文字	該当する市区町村コードについて、「建設省組織コード」（大臣官房文書課）を参照し、コード末尾1桁の数字	C080
15	所在地自		漢字30 文字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	C080
16	所在地至		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	C080
17	沿道区分整理番号		半角8文字	該当なし（*記入）	C080
18	歩道種別形式番号		半角8文字	該当なし（*記入）	C080
19	路線分割番号		半角1文字	直轄現道路線の同一市区町村内で、他の管理区間等で切断される場合に付された番号（該当なし：*）	C080
20	沿道状況区分C			該当する区間の沿道状況区分コード	C080
21	歩道等種別C			該当する区間の歩道等種別コード	C080
22	形式C			該当する区間の歩道の形式コード	C080
23	百米標自	k m	999. 9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10. 1）	C080
24	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	C080
25	百米標至	k m	999. 9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15. 5）	C080
26	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	C080
27	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	C080
28	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	C080
29	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	C080
30	設置区分C			歩道及び自転車歩行者道の設置区分コード	C080
31	歩道等延長	m	9999999	路線の実延長区間における歩道等設置延長	C080
32	雪寒地域歩道延長	m	9999999	該当する区間が雪寒地域内の場合、その歩道延長（のべ延長）	C080

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	積雪地域歩道延長	m	9999999	該当する区間が積雪地域内の場合、その歩道延長（のべ延長）	C080
34	総幅員	m	99.99	該当する区間の植樹等を含んだ総幅員（平均値）（小数点以下2位）	C080
35	有効幅員	m	99.99	該当する区間の平均有効幅員（小数点以下2位）	C080
36	幅員4M以上延長	m	99999	幅員4m以上の歩道等延長	C080
37	幅員3M以上延長	m	99999	幅員3m以上の歩道等延長	C080
38	幅員2M以上延長	m	99999	幅員2m以上の歩道等延長	C080
39	幅員1M50以上延長	m	99999	幅員1m50以上の歩道等延長	C080
40	幅員1M以上延長	m	99999	幅員1m以上の歩道等延長	C080
41	幅員1M未満延長	m	99999	幅員1m未満の歩道等延長	C080
42	列状	m	99999	列状に植栽してある実延長区間内の歩道等部分の中心線上の植樹施設延長（のべ延長）	C080
43	帯状	m	99999	連続に植栽（植樹帯形式）してある実延長区間内の歩道等部分の中心線上の植樹施設延長（のべ延長）	C080
44	交差点部切下げ箇所数		999	該当する区間における交差点部分の歩道等切り下げ箇所数（のべ箇所数）	C080
45	その他切下げ箇所数		999	該当する区間における交差点部分以外の歩道等切り下げ箇所数（のべ箇所数）	C080
46	乗入れ箇所数		999	該当する区間における歩道等への乗入れ箇所数（のべ箇所数）	C080
47	点字ブロック枚数		99999	該当する区間における点字ブロックの設置枚数（のべ枚数）	C080
48	点字ブロック箇所数		999	該当する区間における点字ブロックの設置箇所数（のべ箇所数）	C080
49	点字ブロックのべ延長	m	9999999	該当する区間における点字ブロックの設置延長（のべ延長）	C080
50	屋根箇所数		999	該当する区間における屋根の設置箇所数（のべ箇所数）	C080
51	屋根延長	m	99999	該当する区間における屋根が設置されている延長（のべ延長）	C080
52	屋根占用別C			屋根の占用別コード	C080
53	歩道設置年月	西暦	199901	歩道が設置された年月（1985年12月の場合：198512）	C080
54	舗装済延長	m	9999999	歩道及び自転車歩行者道の舗装されている区間の延長	C080
55	未舗装延長	m	9999999	歩道及び自転車歩行者道の舗装がされていない区間の延長	C080
56	舗装種別C			該当する区間の舗装種別コード	C080
57	カラー舗装有無C			該当する区間のカラー舗装の有無コード	C080
58	ベンチ設置箇所数		999	該当する区間におけるベンチの設置箇所数（のべ箇所数）	C080
59	ロードヒート有無C			該当する区間におけるロードヒートの有無コード	C080
60	ロードヒート箇所数		99	該当なし（※記入）	C080
61	ロードヒート延長	m	99999	該当なし（※記入）	C080
62	ロードヒート面積	m ²	9999999	該当なし（※記入）	C080
63	消雪パイプ有無C			該当する区間における消雪パイプの有無コード	C080
64	消雪パイプ箇所数		99	該当なし（※記入）	C080
65	消雪パイプ延長	m	99999	該当なし（※記入）	C080

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
66	防護柵有無C			該当する区間における防護柵の有無コード	C080
67	防護柵形式C			該当なし（＊記入）	C080
68	防護柵延長	m	99999	該当なし（＊記入）	C080

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

C090独立専用自歩道

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	C090
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	C090
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	C090
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	C090
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	C090
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	C090
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	C090
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	C090
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	C090
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	C090
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	C090
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	C090
13	市区町村C			該当する施設のある市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	C090
14	検査数字		半角1文字	該当する市区町村コードについて、「建設省組織コード」（大臣官房文書課）を参照し、コード末尾1桁の数字	C090
15	自歩道専用区分C			該当する区間の自歩道専用区分コード	C090
16	百米標自	k m	999.9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10.1）	C090
17	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	C090
18	百米標至	k m	999.9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15.5）	C090
19	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	C090
20	道路種別C			該当する区間の道路種別コード	C090
21	総延長	m	99999	該当する区間の起点～終点までの延長（重用延長、未供用延長及び実延長を加えた延長）	C090
22	重用延長	m	99999	上級の路線に重複している区間の延長（道路種別が同一の場合、路線コードの若い番号に重用している区間）	C090
23	未供用延長	m	99999	路線の指定及び認定の告示がされているが、未だ供用開始の告示がされていない区間の延長	C090
24	実延長	m	99999	供用開始の告示がなされている区間の内、重用区間を除いた区間の延長	C090
25	重用自歩道設置延長	m	99999	重用区間において、部分歩道として供用開始されている区間の延長	C090
26	幅員4 M以上延長	m	99999	有効幅員4 m以上の延長	C090
27	幅員3 M以上延長	m	99999	有効幅員3 m以上の延長	C090
28	幅員2 M以上延長	m	99999	有効幅員2 m以上の延長	C090
29	幅員1 M以上延長	m	99999	有効幅員1 m以上の延長	C090
30	幅員1 M未満延長	m	99999	有効幅員1 m未満の延長	C090
31	未舗装道延長	m	99999	該当する路面の未舗装道延長	C090
32	コンクリート道延長	m	99999	該当する路面のコンクリート道延長	C090

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	アスファルト道延長	m	99999	該当する路面のアスファルト道延長	C090
34	平板ブロック道延長	m	99999	該当する路面の平板ブロック道延長	C090
35	その他舗装道延長	m	99999	該当する路面のその他舗装道延長	C090
36	道路部延長	m	99999	該当する区間の道路部延長	C090
37	橋梁部延長	m	99999	該当する区間の橋梁部延長	C090
38	トンネル部延長	m	99999	該当する区間のトンネル部延長	C090
39	道路敷部面積	m ²	999999	該当する区間の実延長区間における道路敷部面積	C090
40	有効幅員部面積	m ²	999999	該当する区間の実延長区間における有効幅員部面積	C090
41	国有地面積	m ²	999999	該当する区間の実延長区間における国有地面積	C090
42	地方公共団体部面積	m ²	999999	該当する区間の実延長区間における地方公共団体部面積	C090
43	立体交差箇所 J R		9	該当する区間の実延長区間における J R との立体交差箇所数	C090
44	立体交差箇所民鉄		9	該当する区間の実延長区間における民鉄との立体交差箇所数	C090
45	立体交差箇所専用鉄道		9	該当する区間の実延長区間における専用鉄道との立体交差箇所数	C090
46	平面交差箇所 J R		9	該当する区間の実延長区間における J R との平面交差箇所数	C090
47	平面交差箇所民鉄		9	該当する区間の実延長区間における民鉄との平面交差箇所数	C090
48	平面交差箇所専用鉄道		9	該当する区間の実延長区間における専用鉄道との平面交差箇所数	C090
49	自地域内橋梁箇所数		9	該当する区間の実延長区間における自地域内橋梁の箇所数	C090
50	市区町村界橋梁箇所数		9	該当する区間の実延長区間における市区町村界橋梁の箇所数	C090
51	都道府県界橋梁箇所数		9	該当する区間の実延長区間における都道府県界橋梁の箇所数	C090
52	自地域内トンネル箇所数		9	該当する区間の実延長区間における自地域内トンネルの箇所数	C090
53	市区町村界トンネル箇所数		9	該当する区間の実延長区間における市区町村界トンネルの箇所数	C090
54	都道府県界トンネル箇所数		9	該当する区間の実延長区間における都道府県界トンネルの箇所数	C090
55	防護柵有無 C			該当する区間における防護柵の有無コード	C090
56	防護柵形式 C			該当なし（※記入）	C090
57	防護柵延長	m	999999	該当なし（※記入）	C090
58	ロードヒート有無 C			該当する区間におけるロードヒート [※] の有無コード	C090
59	ロードヒート箇所数		99	該当なし（※記入）	C090
60	ロードヒート延長	m	999999	該当なし（※記入）	C090
61	ロードヒート面積	m ²	9999999	該当なし（※記入）	C090
62	消雪パイプ有無 C			該当する区間における消雪パイプの有無コード	C090
63	消雪パイプ箇所数		99	該当なし（※記入）	C090
64	消雪パイプ延長	m	999999	該当なし（※記入）	C090
65	備考 1		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「※」を入力	C090

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
66	備考2		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	C090

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

C100中央帯

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	C100
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	C100
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	C100
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	C100
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	C100
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	C100
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	C100
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	C100
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	C100
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	C100
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	C100
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	C100
13	百米標自	k m	999.9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10.1）	C100
14	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	C100
15	百米標至	k m	999.9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15.5）	C100
16	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	C100
17	所在地自		漢字30 文字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	C100
18	所在地至		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	C100
19	調製年月日	西暦	19990101	データを新規で作成した年月日（1995年2月1日の場合：19950201）	C100
20	改訂年月日	西暦	19990101	基本台帳のデータを修正した年月日（1995年2月1日の場合：19950201）	C100
21	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	C100
22	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	C100
23	設置年月	西暦	199901	施設を設置した年月（1975年5月の場合：197505）	C100
24	型式C			中央帯の型式コード	C100
25	中央帯延長	m	999999.9	中央帯延長（小数点以下1位）	C100
26	中央帯幅員	m	99.99	中央帯の一般部（右折車線部等を省く）の代表的な部分の幅員（小数点以下2位）	C100
27	中央帯面積	m ²	99999999	中央帯の面積（延長×幅員）	C100
28	分離帯延長	m	999999.9	中央分離帯の延長（小数点以下1位）	C100
29	分離帯幅員	m	99.99	中央分離帯の一般部（右折車線部等を省く）の代表的な部分の幅員（小数点以下2位）	C100
30	分離帯面積	m ²	99999999	中央分離帯の面積（延長×幅員）	C100
31	Aタイプ植栽組合せ延長	m	999999	中央分離帯に植栽がある場合、最も近い組合せ「街路樹＋灌木＋張芝」の植栽帯ののべ延長	C100
32	Bタイプ植栽組合せ延長	m	999999	中央分離帯に植栽がある場合、最も近い組合せ「灌木＋張芝」の植栽帯ののべ延長	C100

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	Cタイプ植栽組合せ延長	m	999999	中央分離帯に植栽がある場合、最も近い組合せ「張芝のみ」の植栽帯ののべ延長	C100
34	Aタイプ植栽組合せ面積	m ²	999999	中央分離帯に植栽がある場合、最も近い組合せ「街路樹＋灌木＋張芝」の植栽帯の面積	C100
35	Bタイプ植栽組合せ面積	m ²	999999	中央分離帯に植栽がある場合、最も近い組合せ「灌木＋張芝」の植栽帯の面積	C100
36	Cタイプ植栽組合せ面積	m ²	999999	中央分離帯に植栽がある場合、最も近い組合せ「張芝のみ」の植栽帯の面積	C100
37	防護柵有無C			中央帯に防護柵設置の有無コード	C100
38	防護柵形式C			該当なし（※記入）	C100
39	防護柵延長	m	999999	該当なし（※記入）	C100
40	遮光フェンス有無C			中央帯に遮光フェンス設置の有無コード	C100
41	遮光フェンス型式		漢字15 文字	遮光フェンスの代表的な型式（日本語）	C100
42	遮光フェンス延長	m	999999	遮光フェンスののべ延長	C100
43	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「※」を入力	C100
44	市区町村自C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	C100
45	市区町村至C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	C100

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

C110環境施設帯

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	C110
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	C110
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	C110
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	C110
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	C110
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	C110
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	C110
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	C110
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	C110
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	C110
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	C110
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	C110
13	百米標自	k m	999.9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10.1）	C110
14	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	C110
15	百米標至	k m	999.9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15.5）	C110
16	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	C110
17	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	C110
18	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	C110
19	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	C110
20	所在地自		漢字30 文字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	C110
21	所在地至		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	C110
22	施設帯幅	m	99.99	該当する区間の環境施設帯の幅（小数点以下2位）	C110
23	環境施設帯延長	m	999999.9	該当する区間の環境施設帯延長（のべ延長）（小数点以下1位）	C110
24	設置道路延長	m	999999.9	該当する区間において環境施設帯が設置されている道路延長（小数点以下1位）	C110
25	施設帯面積	m ²	99999999	該当する区間の環境施設帯の面積（のべ面積）	C110
26	植栽帯有無C			環境施設帯内の植栽帯の有無コード	C110
27	植栽帯幅	m	99.99	環境施設帯内の植栽帯の幅（小数点以下2位）	C110
28	のり面有無C			環境施設帯内ののり面の有無コード	C110
29	のり面幅	m	99.99	環境施設帯内ののり面の幅（小数点以下2位）	C110
30	副道有無C			環境施設帯内の副道の有無コード	C110
31	副道幅	m	99.99	環境施設帯内の副道の幅（小数点以下2位）	C110
32	歩道有無C			環境施設帯内の歩道の有無コード	C110

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目

※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	歩道幅	m	99.99	環境施設帯内の歩道の幅（小数点以下2位）	C110
34	自転車道有無C			環境施設帯内の自転車道の有無コード	C110
35	自転車道幅	m	99.99	環境施設帯内の自転車道の幅（小数点以下2位）	C110
36	自歩道有無C			環境施設帯内の自転車、歩行者道の有無コード	C110
37	自歩道幅	m	99.99	環境施設帯内の自転車、歩行者道の幅（小数点以下2位）	C110
38	遮音壁有無C			環境施設帯内の遮音壁の有無コード	C110
39	その他有無C			環境施設帯内で植栽帯、のり面、副道、歩道、自転車道、自歩道、遮音壁以外の施設の有無コード	C110
40	その他幅	m	99.99	環境施設帯内で植栽帯、のり面、副道、歩道、自転車道、自歩道、遮音壁以外の施設の幅（小数点以下2位）	C110
41	設置年月	西暦	199901	施設を設置した年月（1975年5月の場合：197505）	C110
42	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「※」を入力	C110
43	市区町村自C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	C110
44	市区町村至C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	C110

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D010橋梁（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	D010
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D010
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	D010
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D010
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D010
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D010
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D010
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D010
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為、橋梁データ作成毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号（橋梁コード+ 分割番号）	D010
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D010
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D010
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D010
13	橋梁コード		半角4文字	該当する区間の橋梁コード（整理番号1で記入した頭4桁）	D010
14	分割区分C			該当する橋梁の分割区分コード	D010
15	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	D010
16	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	D010
17	名称		漢字10 文字	橋梁名称（日本語）	D010
18	橋梁種別C			該当する橋梁の橋梁種別コード	D010
19	橋梁区分C			該当する橋梁の橋梁区分コード	D010
20	架設竣工年	西暦	1999	橋梁の架設竣工年（昭和48年の場合：1973）	D010
21	等級C			橋梁の等級区分コード	D010
22	適用示方書C			設計または施工に用いた適用示方書コード	D010
23	総径間数		999	対象となる橋梁を構成している径間数	D010
24	歩道添架C			架設後においてブラケット等で歩道添架がされているかの有無コード	D010
25	昇降形式C			該当なし（*記入）	D010
26	事業区分C			事業区分コード	D010
27	路線名称		漢字10 文字	路線の名称（俗称名等）（日本語）	D010
28	百米標自	k m	999. 9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10. 1）	D010
29	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	D010
30	百米標至	k m	999. 9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15. 5）	D010
31	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	D010
32	橋長	m	9999. 99	橋台間のバラベット全面の距離（小数点以下2位）	D010

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	橋面積	m ²	99999.9	橋面積（地覆の内側間（道路部）×橋長）（小数点以下1位）	D010
34	平面形状C			1 橋全体としての平面形状コード	D010
35	最小半径	m	9999.9	該当する橋梁間における最小半径（小数点以下1位）	D010
36	縦断勾配	%	99.999	該当する橋梁における最急勾配の絶対値（小数点以下3位）	D010
37	落下物防止柵高さ	m	9.99	落下物防止柵の高さの最大値（小数点以下2位）	D010
38	落下物防止柵延長	m	999.99	落下物防止柵の延長（小数点以下2位）	D010
39	遮音壁有無C			遮音壁の有無コード	D010
40	遮光壁有無C			遮光壁の有無コード	D010
41	踏掛版有無C			踏掛版の設置の有無コード	D010
42	点検施設C			橋梁の点検施設コード	D010
43	排水施設C			排水施設の型式コード	D010
44	床版防水種別C			床版防水工の種別コード	D010
45	床版防水範囲C			床版防水工の範囲コード	D010
46	床版防水面積	m ²	99999.9	床版防水工の面積（小数点以下1位）	D010
47	上部工工費	百万円	999999	該当する橋梁の上部工の全体工費	D010
48	下部工工費	百万円	999999	該当する橋梁の下部工の全体工費	D010
49	水平震度		9.99	設計水平震度（小数点以下2位）	D010
50	設計活荷重C			設計活荷重コード	D010
51	特殊荷重1C			橋梁で考慮した特殊荷重1種類目コード	D010
52	特殊荷重2C			橋梁で考慮した特殊荷重2種類目コード	D010
53	特殊荷重3C			橋梁で考慮した特殊荷重3種類目コード	D010
54	特殊荷重4C			橋梁で考慮した特殊荷重4種類目コード	D010
55	特殊荷重5C			橋梁で考慮した特殊荷重5種類目コード	D010
56	特殊荷重6C			橋梁で考慮した特殊荷重6種類目コード	D010
57	主桁トラス基本耐荷力	t f	99.9	主桁トラスの基本耐荷力（小数点以下1位）	D010
58	トラスその他基本耐荷力	t f	99.9	トラスその他の基本耐荷力（小数点以下1位）	D010
59	床版基本耐荷力	t f	99.9	床版の基本耐荷力（小数点以下1位）	D010
60	縦桁横桁基本耐荷力	t f	99.9	縦桁、横桁の部材群より基本耐荷力の最小値（小数点以下1位）	D010
61	通行制限C			該当する橋梁の通行制限コード	D010
62	荷重制限	t f	99.9	荷重制限の設定数値（小数点以下1位）	D010
63	制限高さ	m	99.9	高さの制限数値（小数点以下1位）	D010
64	制限幅	m	99.9	幅の制限数値（小数点以下1位）	D010
65	迂回路有無C			該当する橋梁より直線距離5km以内に大型車（TL-20）の通行可能な代替橋梁の有無コード	D010

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
66	交通現況 C			該当する橋梁の交通の渋滞状況コード	D010
67	上部工分離橋脚一体別 C			上部工分離の場合の橋脚一体の別コード	D010
68	起点側市区町村 C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D010
69	起点側検査数字		半角1文字	該当する起点側市区町村コード* について「建設省組織コード*」（大臣官房文書課）を参照し、コード* 末尾 1 桁の数字	D010
70	起点側所在地		漢字30 文字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	D010
71	終点側市区町村 C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D010
72	終点側検査数字		半角1文字	該当する終点側市区町村コード* について「建設省組織コード*」（大臣官房文書課）を参照し、コード* 末尾 1 桁の数字	D010
73	終点側所在地		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	D010
74	他域橋長	m	9999. 99	該当する橋梁が市区町村界（都道府県と重複の場合も同様）に架設されている他域橋長（小数点以下 2 位）	D010
75	起終点区分 C			他域橋長の存する地域の起終点区分コード	D010
76	橋梁接続起点側市区町村 C			橋梁接続の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D010
77	橋梁接続起点側検査数字		半角1文字	該当する起点側市区町村コード* について「建設省組織コード*」（大臣官房文書課）を参照し、コード* 末尾 1 桁の数字	D010
78	橋梁接続起点側橋梁種別 C			橋梁接続の起点側の橋梁種別コード	D010
79	橋梁接続起点側事務所		半角2文字	橋梁接続の起点側の管理している事務所コード	D010
80	橋梁接続起点側出張所		半角2文字	橋梁接続の起点側の管理している出張所コード	D010
81	橋梁接続起点側橋梁コード		半角4文字	橋梁接続の起点側の橋梁コード（整理番号 1 で記入した頭 4 桁）	D010
82	橋梁接続起点側分割番号		半角1文字	橋梁接続の起点側の橋梁分割（整理番号 1 で記入した頭から 5 桁目）	D010
83	橋梁接続終点側市区町村 C			橋梁接続の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D010
84	橋梁接続終点側検査数字		半角1文字	該当する終点側市区町村コード* について「建設省組織コード*」（大臣官房文書課）を参照し、コード* 末尾 1 桁の数字	D010
85	橋梁接続終点側橋梁種別 C			橋梁接続の終点側の橋梁種別コード	D010
86	橋梁接続終点側事務所		半角2文字	橋梁接続の終点側の管理している事務所コード	D010
87	橋梁接続終点側出張所		半角2文字	橋梁接続の終点側の管理している出張所コード	D010
88	橋梁接続終点側橋梁コード		半角4文字	橋梁接続の終点側の橋梁コード（整理番号 1 で記入した頭 4 桁）	D010
89	橋梁接続終点側分割番号		半角1文字	橋梁接続の終点側の橋梁分割（整理番号 1 で記入した頭から 5 桁目）	D010
90	塩害地域区分 C			塩害地域区分コード	D010
91	塩害地域距離	k m	99. 9	塩害地域区分に対する海岸線からの距離（小数点以下 1 位）	D010
92	凍結防止剤散布回数 C			凍結防止剤の平均的な年間の散布回数コード	D010
93	照明有無 C			橋梁に設置されている照明の有無コード	D010
94	照明種別 C			該当なし（* 記入）	D010
95	基数		999	該当なし（* 記入）	D010
96	灯数		999	該当なし（* 記入）	D010
97	舗装種別 C			橋梁部の舗装種別コード	D010
98	舗装上層粒度 C			橋梁部舗装の上層粒度（混合物）コード	D010

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
99	舗装上層種類C			橋梁部舗装の上層種類コード	D010
100	舗装上層厚	c m	99.9	橋梁部舗装の上層の厚さ（小数点以下1位）	D010
101	舗装下層粒度C			橋梁部舗装の下層粒度（混合物）コード	D010
102	舗装下層種類C			橋梁部舗装の下層種類コード	D010
103	舗装下層厚	c m	99.9	橋梁部舗装の下層の厚さ（小数点以下1位）	D010
104	舗装面積	m 2	99999.9	車道部のみの舗装面積（小数点以下1位）	D010
105	消雪パイプ有無C			橋梁に設置されている消雪パイプの有無コード	D010
106	ロードヒート有無C			橋梁に設置されているロードヒーティングの有無コード	D010

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D011橋梁（幅員構成）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D011
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D011
3	附図対応番号		半角16 文字		D011
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D011
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D011
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D011
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D011
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D011
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D011
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D011
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D011
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	D011
13	供用開始年月日	西暦	19990101	供用を開始した年月日（1985年10月10日の場合：19851010）	D011
14	全幅員	m	99.99	該当する橋梁の全幅員（小数点以下2位）	D011
15	有効幅員	m	99.99	該当する橋梁の有効幅員（小数点以下2位）	D011
16	左側車線地覆幅	m	9.99	起点側から見て左側車線の地覆幅（小数点以下2位）	D011
17	左側車線地覆高	m	9.99	起点側から見て左側車線の地覆高（小数点以下2位）	D011
18	左側車線歩道幅	m	99.99	起点側から見て左側車線の歩道幅（小数点以下2位）	D011
19	左側車線路肩幅	m	99.99	起点側から見て左側車線の路肩幅（小数点以下2位）	D011
20	左側車線車道幅	m	999.99	起点側から見て左側車線の車道幅（小数点以下2位）	D011
21	左側車線車線数		9	起点側から見て左側の車線数	D011
22	中央帯	m	99.99	中央帯の幅員（小数点以下2位）	D011
23	中央分離帯	m	99.99	中央分離帯の幅員（小数点以下2位）	D011
24	右側車線車線数		9	起点側から見て右側の車線数	D011
25	右側車線車道幅	m	999.99	起点側から見て右側車線の車道幅（小数点以下2位）	D011
26	右側車線路肩幅	m	99.99	起点側から見て右側車線の路肩幅（小数点以下2位）	D011
27	右側車線歩道幅	m	99.99	起点側から見て右側車線の歩道幅（小数点以下2位）	D011
28	右側車線地覆幅	m	9.99	起点側から見て右側車線の地覆幅（小数点以下2位）	D011
29	右側車線地覆高	m	9.99	起点側から見て右側車線の地覆高（小数点以下2位）	D011

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D012橋梁（高欄・防護柵）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D012
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D012
3	附図対応番号		半角16 文字		D012
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D012
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D012
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D012
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D012
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D012
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D012
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D012
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D012
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D012
13	高欄防護柵設置場所C			起点側から見た高欄、防護柵の設置場所コード	D012
14	高欄防護柵別C			高欄、防護柵の別コード	D012
15	高欄防護柵材質材料C			高欄の材質、材料コード	D012
16	高欄防護柵形式C			該当なし（*記入）	D012
17	防護柵設計種別C			車両用防護柵の設計種別コード	D012
18	高欄防護柵高さ	m	9.99	高欄の橋面からの高さ（小数点以下2位）	D012

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D013橋梁（交差状況）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D013
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D013
3	附図対応番号		半角16 文字		D013
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D013
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D013
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D013
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D013
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D013
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D013
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D013
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D013
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（ハイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	D013
13	架橋状況C			該当する橋梁の架橋状況コード	D013
14	協議有無C			協議の有無コード	D013
15	交差物名称		漢字10 文字	交差物名称（日本語）	D013
16	協議機関		漢字10 文字	交差物に関して協議した機関名（日本語）	D013

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D014橋梁（添架物）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D014
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D014
3	附図対応番号		半角16 文字		D014
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D014
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D014
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D014
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D014
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D014
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D014
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D014
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D014
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D014
13	添架物区分C			添架物区分コード	D014
14	添架物種別C			添架物種別コード	D014
15	添架物寸法		9999	添架物寸法（電力及び電話：設置する条数と段数、その他：径（Φ）を（mm）単位で記入	D014
16	添架物重量	k g f / m	999	添架物の単位長さ当たりの重量	D014
17	添架物管理者名		漢字10 文字	添架物の管理者名（日本語）	D014
18	占用物件本数		999	添架物種別毎の物件数（電力の場合：物件（形状○条○段等）の総本数）	D014

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D015橋梁（上部工）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D015
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D015
3	附図対応番号		半角16 文字		D015
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D015
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D015
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D015
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D015
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D015
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D015
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D015
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D015
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（ハイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	D015
13	構造体番号		半角3文字	上部工の構造体毎に付された番号	D015
14	平面形状C			該当する構造体の代表的な平面形状コード	D015
15	起点側斜角左右別C			構造体の起点側の支承線に斜角のつく左右の別コード	D015
16	起点側斜角	度 分 秒	909090	構造体の起点側の支承線の角度と橋梁中心線との交角	D015
17	終点側斜角左右別C			構造体の終点側の支承線に斜角のつく左右の別コード	D015
18	終点側斜角	度 分 秒	909090	構造体の終点側の支承線の角度と橋梁中心線との交角	D015
19	起点側伸縮装置形式C			起点側の伸縮装置の構造形式コード	D015
20	終点側伸縮装置形式C			終点側の伸縮装置の構造形式コード	D015
21	材料区分C			主構造の材料区分コード	D015
22	桁形式区分C			主桁構造の桁形式区分コード	D015
23	構造形式C			構造体の形式コード（材料区分コード頭1桁＋構造形式コード2桁）	D015
24	路面位置C			上部工の路面位置コード	D015
25	主桁主構本数		999	主桁の本数	D015
26	主桁主構高さ	m	99.99	主桁または主構の高さの最大値（小数点以下2位）	D015
27	主桁主構間隔	m	99.99	主桁または主構間隔の最大値（小数点以下2位）	D015
28	横桁間隔	m	99.99	横桁間隔の最大値（小数点以下2位）	D015
29	適用示方書1C			該当する構造体（上部工）の適用示方書1種類目コード	D015
30	適用示方書2C			該当する構造体（上部工）の適用示方書2種類目コード	D015
31	適用示方書3C			該当する構造体（上部工）の適用示方書3種類目コード	D015
32	床版材料C			床版材料コード	D015

道路施設基本データ入力フォーマット

※ 1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※ 2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	床版種類使用形式C			構造体の床版種類使用形式コード	D015
34	床版橋軸直角方向支間	m	9. 99	床版の橋軸直角方向（小数点以下 2 位）	D015
35	床版橋軸方向支間	m	9. 99	床版の橋軸方向（小数点以下 2 位）	D015
36	床版厚さ	c m	99. 9	床版の最小の厚さ（小数点以下 1 位）	D015
37	床版縦リブ間隔	m	9. 99	床版の縦リブ間隔（小数点以下 2 位）	D015
38	床版縦リブ種類C			床版の縦リブ種類コード	D015
39	床版現場接合種類C			縦リブとデッキプレートの現場接合種類コード	D015
40	床版主鉄筋径	mm	半角3文字	床版の主鉄筋の径	D015
41	床版主鉄筋間隔	c m	99. 9	床版の主鉄筋の間隔（小数点以下 1 位）	D015
42	床版配力筋径	mm	半角3文字	床版の配力筋の径	D015
43	床版配力筋間隔	c m	99. 9	床版の配力筋の間隔（小数点以下 1 位）	D015
44	架設工法C			構造体の架設工法コード（材料区分コード 1 桁＋構造形式コード 1 桁）	D015
45	架設年月日	西暦	19990101	架設年月日（1983年10月14日の場合：19831014）	D015
46	鋼上部工材質C			構上部工の主な材質コード	D015
47	鋼上部工鋼重	t f	99999. 9	鋼上部工の鋼重（小数点以下 1 位）	D015
48	鋼上部工表面処理C			鋼上部工の耐候性鋼材の表面処理コード	D015
49	鋼上部工連結方法C			鋼上部工の連結方法（現場接合）コード	D015
50	上部工コンクリート体積	m 3	99999. 9	上部工部分（桁のみ）及び鋼上部工の床版のコンクリート体積（小数点以下 1 位）	D015
51	上部工鉄筋材質C			上部工鉄筋の代表的な材質コード	D015
52	上部工鉄筋重量	t f	99999. 9	上部工部分の鉄筋重量（小数点以下 1 位）	D015
53	塗装年月日	西暦	19990101	該当する構造体について新設時の塗装年月日（1986年 3 月15日の場合：19860315）	D015
54	プライマー下塗塗料C			構造体の新設時でのプライマー及び下塗り塗料コード	D015
55	中塗塗料C			構造体の新設時の中塗塗料コード	D015
56	上塗塗料C			構造体の新設時の上塗塗料コード	D015
57	塗装方法C			構造体の塗装方法コード	D015
58	工場塗装面積	m 2	99999. 9	構造体の工場塗装面積（小数点以下 1 位）	D015
59	本体塗装面積	m 2	99999. 9	構造体の本体塗装面積（小数点以下 1 位）	D015
60	高欄塗装面積	m 2	99999. 9	構造体の高欄塗装面積（小数点以下 1 位）	D015
61	塗装色		半角9文字	代表的な塗装色（日本塗装工業会の定めるコード）	D015
62	塗装会社		漢字10 文字	塗装会社名（日本語）	D015
63	P C 鋼材材質C			P C 鋼材の材質コード	D015
64	P C 鋼材緊張工法C			P C 鋼材の緊張工法コード	D015
65	主桁コンクリート強度	kg f / cm ²	999	主桁のコンクリート強度	D015

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
66	主桁打設方法 C			主桁の代表的なコンクリート打設方法コード	D015
67	主桁セメント種類 C			主桁の代表的なセメントの種類コード	D015
68	主桁細骨材種類 C			主桁細骨材の代表的な種類コード	D015
69	主桁粗骨材種類 C			主桁粗骨材の代表的な種類コード	D015
70	主桁粗骨材寸法	mm	999	主桁粗骨材の寸法	D015
71	主桁指定スランプ	c m	99.9	主桁の指定スランプ（小数点以下 1 位）	D015
72	主桁混和剤 1 C			主桁混和剤の 1 種類目の種類コード	D015
73	主桁混和剤 2 C			主桁混和剤の 2 種類目の種類コード	D015
74	主桁混和剤 3 C			主桁混和剤の 3 種類目の種類コード	D015
75	主桁混和剤 4 C			主桁混和剤の 4 種類目の種類コード	D015
76	主桁混和剤 5 C			主桁混和剤の 5 種類目の種類コード	D015
77	主桁アルカリ骨材対策 1 C			主桁アルカリ骨材対策の 1 種類目のコード	D015
78	主桁アルカリ骨材対策 2 C			主桁アルカリ骨材対策の 2 種類目のコード	D015
79	主桁アルカリ骨材対策 3 C			主桁アルカリ骨材対策の 3 種類目のコード	D015
80	主桁アルカリ骨材対策 4 C			主桁アルカリ骨材対策の 4 種類目のコード	D015
81	床版コンクリート強度	kg f / cm ²	999	床版のコンクリート強度	D015
82	床版打設方法 C			床版の代表的なコンクリート打設方法コード	D015
83	床版セメント種類 C			床版の代表的なセメントの種類コード	D015
84	床版細骨材種類 C			床版細骨材の代表的な種類コード	D015
85	床版粗骨材種類 C			床版粗骨材の代表的な種類コード	D015
86	床版粗骨材寸法	mm	999	床版粗骨材の寸法	D015
87	床版指定スランプ	c m	99.9	床版の指定スランプ（小数点以下 1 位）	D015
88	床版混和剤 1 C			床版混和剤の 1 種類目の種類コード	D015
89	床版混和剤 2 C			床版混和剤の 2 種類目の種類コード	D015
90	床版混和剤 3 C			床版混和剤の 3 種類目の種類コード	D015
91	床版混和剤 4 C			床版混和剤の 4 種類目の種類コード	D015
92	床版混和剤 5 C			床版混和剤の 5 種類目の種類コード	D015
93	床版アルカリ骨材対策 1 C			床版アルカリ骨材対策の 1 種類目のコード	D015
94	床版アルカリ骨材対策 2 C			床版アルカリ骨材対策の 2 種類目のコード	D015
95	床版アルカリ骨材対策 3 C			床版アルカリ骨材対策の 3 種類目のコード	D015
96	床版アルカリ骨材対策 4 C			床版アルカリ骨材対策の 4 種類目のコード	D015

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D016橋梁（下部工）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D016
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D016
3	附図対応番号		半角16 文字		D016
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D016
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D016
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D016
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D016
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D016
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D016
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D016
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D016
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D016
13	躯体番号		半角3文字	下部工の躯体毎に付された番号	D016
14	完成年月日	西暦	19990101	該当する下部工の完成年月日（1970年6月17日の場合：19700617）	D016
15	橋台橋脚構造形式C			該当する下部工の構造形式コード	D016
16	橋台橋脚高さ	m	999.99	該当する下部工の橋台・橋脚の高さ（小数点以下2位）	D016
17	起点側縁端距離	c m	9999.9	起点側の支承縁端と沓座部縁端との間の距離（小数点以下1位）	D016
18	終点側縁端距離	c m	9999.9	終点側の支承縁端と沓座部縁端との間の距離（小数点以下1位）	D016
19	基礎形式C			下部工の基礎形式コード	D016
20	杭頭接合条件C			基礎形式が杭基礎の場合の杭頭条件コード	D016
21	基礎形状寸法A	m	999.9	基礎の形状寸法A（小数点以下1位）	D016
22	基礎形状寸法B	m	999.9	基礎の形状寸法B（小数点以下1位）	D016
23	有効根入長	m	999.9	基礎の有効根入長（小数点以下1位）	D016
24	杭径	m	9.9	杭基礎の場合は杭径を、鋼管ウエル基礎の場合は外径（小数点以下1位）	D016
25	杭本数		999	基礎形式が杭基礎の場合は杭本数、鋼管ウエルの場合は数	D016
26	杭長	m	99999	杭基礎の杭長	D016
27	躯体基部形状寸法A	m	99999	躯体の基部形状寸法A	D016
28	躯体基部形状寸法B	m	99999	躯体の基部形状寸法B	D016
29	塗装年月日	西暦	19990101	下部工躯体の新設時の塗装年月日（1986年3月15日の場合：19860315）	D016
30	プライマー下塗塗料C			下部工躯体の新設時のプライマー及び下塗り塗料コード	D016
31	中塗塗料C			下部工躯体の新設時の中塗り塗料コード	D016
32	上塗塗料C			下部工躯体の新設時の上塗り塗料コード	D016

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	塗装方法 C			下部工躯体の新設時の塗装方法コード	D016
34	工場塗装面積	m ²	99999.9	下部工躯体の工場塗装面積（小数点以下1位）	D016
35	本体塗装面積	m ²	99999.9	下部工躯体の本体塗装面積（小数点以下1位）	D016
36	塗装色		半角9文字	代表的な塗装色（日本塗装工業会の定めるコード）	D016
37	塗装会社		漢字10 文字	塗装会社名（日本語）	D016
38	P C 鋼材材質 C			P C 鋼材の材質コード	D016
39	P C 鋼材緊張工法 C			P C 鋼材の緊張工法コード	D016
40	躯体コンクリート強度	kg f / cm ²	999	下部工躯体のコンクリート強度	D016
41	躯体打設方法 C			代表的な下部工躯体のコンクリートの打設方法コード	D016
42	躯体セメント種類 C			代表的な下部工躯体のセメントの種類コード	D016
43	躯体細骨材種類 C			代表的な下部工躯体の細骨材の種類コード	D016
44	躯体粗骨材種類 C			代表的な下部工躯体の粗骨材の種類コード	D016
45	躯体粗骨材寸法	mm	999	下部工躯体の粗骨材の寸法	D016
46	躯体指定スランプ	c m	99.9	下部工躯体の指定スランプ（小数点以下1位）	D016
47	躯体混和剤 1 C			代表的な 1 種類目の下部工躯体の混和剤コード	D016
48	躯体混和剤 2 C			代表的な 2 種類目の下部工躯体の混和剤コード	D016
49	躯体混和剤 3 C			代表的な 3 種類目の下部工躯体の混和剤コード	D016
50	躯体混和剤 4 C			代表的な 4 種類目の下部工躯体の混和剤コード	D016
51	躯体混和剤 5 C			代表的な 5 種類目の下部工躯体の混和剤コード	D016
52	躯体アルカリ骨材対策 1 C			代表的な 1 種類目の下部工躯体のアルカリ骨材対策コード	D016
53	躯体アルカリ骨材対策 2 C			代表的な 2 種類目の下部工躯体のアルカリ骨材対策コード	D016
54	躯体アルカリ骨材対策 3 C			代表的な 3 種類目の下部工躯体のアルカリ骨材対策コード	D016
55	躯体アルカリ骨材対策 4 C			代表的な 4 種類目の下部工躯体のアルカリ骨材対策コード	D016
56	基礎コンクリート強度	kg f / cm ²	999	基礎のコンクリート強度	D016
57	基礎打設方法 C			基礎の打設方法コード	D016
58	基礎セメント種類 C			基礎のセメント種類コード	D016
59	基礎細骨材種類 C			基礎の細骨材の種類コード	D016
60	基礎粗骨材種類 C			基礎の粗骨材の種類コード	D016
61	基礎粗骨材寸法	mm	999	基礎の粗骨材寸法	D016
62	基礎指定スランプ	c m	99.9	基礎の指定スランプ（小数点以下1位）	D016
63	基礎混和剤 1 C			代表的な 1 種類目の基礎の混和剤コード	D016
64	基礎混和剤 2 C			代表的な 2 種類目の基礎の混和剤コード	D016
65	基礎混和剤 3 C			代表的な 3 種類目の基礎の混和剤コード	D016

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
66	基礎混和剤 4 C			代表的な 4 種類目の基礎の混和剤コード	D016
67	基礎混和剤 5 C			代表的な 5 種類目の基礎の混和剤コード	D016
68	基礎アルカリ骨材対策 1 C			代表的な 1 種類目の基礎のアルカリ骨材対策コード	D016
69	基礎アルカリ骨材対策 2 C			代表的な 2 種類目の基礎のアルカリ骨材対策コード	D016
70	基礎アルカリ骨材対策 3 C			代表的な 3 種類目の基礎のアルカリ骨材対策コード	D016
71	基礎アルカリ骨材対策 4 C			代表的な 4 種類目の基礎のアルカリ骨材対策コード	D016
72	適用示方書 1 C			代表的な 1 種類目の下部工構造体の適用示方書コード	D016
73	適用示方書 2 C			代表的な 2 種類目の下部工構造体の適用示方書コード	D016
74	適用示方書 3 C			代表的な 3 種類目の下部工構造体の適用示方書コード	D016
75	設計震度地盤区分 C			設計震度の地盤区分コード	D016
76	設計震度		9. 99	設計震度（小数点以下 2 位）	D016
77	K 値	kg f / cm ³	99. 9	K 値（横方向地盤反力係数）（小数点以下 1 位）	D016
78	支持力		99999	支持力	D016
79	支持層 N 値		99	支持層の N 値	D016
80	躯体鋼材質 C			代表的な躯体の鋼材質コード	D016
81	躯体鋼重	t f	99999. 9	1 基当たりの躯体鋼重（小数点以下 1 位）	D016
82	躯体コンクリート体積	m ³	99999. 9	1 基当たりの躯体のコンクリート体積（小数点以下 1 位）	D016
83	躯体鉄筋材質 C			代表的な躯体の鉄筋材質コード	D016
84	躯体鉄筋重量	t f	99999. 9	躯体の鉄筋の重量（小数点以下 1 位）	D016
85	基礎杭鋼重	t f	99999. 9	鋼管杭又は PC、RC の既製杭の 1 基当たりの総重量（小数点以下 1 位）	D016
86	基礎コンクリート体積	m ³	99999. 9	場所打杭等、現場打コンクリートから成る基礎の 1 基当たりのコンクリート体積（小数点以下 1 位）	D016
87	基礎鉄筋重量	t f	99999. 9	場所打杭等、現場打コンクリートから成る基礎の 1 基当たりの鉄筋重量（小数点以下 1 位）	D016

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D017橋梁（径間）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D017
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D017
3	附図対応番号		半角16 文字		D017
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D017
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D017
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D017
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D017
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D017
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D017
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D017
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D017
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バ イ ス 等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D017
13	構造体番号		半角3文字	該当する支間に対する上部工の構造体番号	D017
14	径間番号		半角2文字	「D015 橋梁上部工」の作成単位毎に該当する径間について、起点側から付した通し番号	D017
15	径間分割番号		半角1文字	同一径間内に複数の上部工がある場合に付す番号（径間がない場合：0）	D017
16	支間番号		半角1文字	1 径間内において複数の支間が存在する場合に、径間内で付した通し番号	D017
17	支間長	m	999.999	上部工の支間長（径間長）（小数点以下3位）	D017
18	起点側支承種類C			起点側の支承の種類コード	D017
19	起点側落橋防止1 C			代表的な1 種類目の起点側落橋防止構造の種類コード	D017
20	起点側落橋防止2 C			代表的な2 種類目の起点側落橋防止構造の種類コード	D017
21	起点側落橋防止3 C			代表的な3 種類目の起点側落橋防止構造の種類コード	D017
22	終点側支承種類C			終点側の支承の種類コード	D017
23	終点側落橋防止1 C			代表的な1 種類目の終点側落橋防止構造の種類コード	D017
24	終点側落橋防止2 C			代表的な2 種類目の終点側落橋防止構造の種類コード	D017
25	終点側落橋防止3 C			代表的な3 種類目の終点側落橋防止構造の種類コード	D017
26	起点側躯体番号1		半角3文字	該当する径間に対する下部工の起点側躯体番号1	D017
27	起点側躯体番号2		半角3文字	該当する径間に対する下部工の起点側躯体番号2	D017
28	終点側躯体番号1		半角3文字	該当する径間に対する下部工の終点側躯体番号1	D017
29	終点側躯体番号2		半角3文字	該当する径間に対する下部工の終点側躯体番号2	D017

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D019橋梁（塗装歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D019
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D019
3	附図対応番号		半角16 文字		D019
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D019
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D019
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D019
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D019
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D019
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D019
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D019
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D019
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D019
13	径間又は躯体番号		半角3文字	上部工：橋梁分割毎の径間番号と径間分割番号、下部工：躯体番号	D019
14	上下部工区分C			上・下部工に関するデータの作成区分コード	D019
15	塗装年月日	西暦	19990101	再塗装を行った年月日（1998年8月21日の場合：19880821）	D019
16	プライマー下塗塗料C			プライマー及び下塗り塗料コード	D019
17	中塗塗料C			中塗り塗料コード	D019
18	上塗塗料C			上塗り塗料コード	D019
19	塗装方法C			塗装方法コード	D019
20	清浄度C			代表的な清浄度コード	D019
21	本体塗装面積	m ²	99999.9	本体に対する再塗装面積（小数点以下1位）	D019
22	高欄塗装面積	m ²	99999.9	高欄に対する再塗装面積（小数点以下1位）	D019
23	塗装色		半角9文字	代表的な塗装色（日本塗装工業会の定めるコード）	D019
24	塗替え程度C			再塗装における塗替えの程度コード	D019
25	塗装費用	百万円	999999	データ作成毎に対する再塗装の費用	D019
26	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	D019

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D01A橋梁（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D01A
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D01A
3	附図対応番号		半角16 文字		D01A
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D01A
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D01A
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D01A
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D01A
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D01A
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D01A
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D01A
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D01A
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D01A
13	径間又は躯体番号		半角4文字	上部工：橋梁分割毎の径間番号と径間分割番号、下部工：躯体番号	D01A
14	上下部工区分C			上・下部工に関するデータの作成区分コード	D01A
15	補修改良年月日	西暦	19990101	補修または改良を行った年月日（1988年8月18日の場合：19880818）	D01A
16	補修改良区分C			補修または改良に関するデータの作成区分コード	D01A
17	主な補修改良内容C			代表的な補修・改良内容コード	D01A
18	床版補修補強面積	m ²	99999.9	該当する径間における床版補修・補強面積（小数点以下1位）	D01A
19	前回補修年月日	西暦	19990101	再補修の場合にのみ前回の補修年月日（1986年5月7日の場合：19860507）	D01A
20	工事費用	百万円	999999	該当する径間（上部工）又は躯体（下部工）の補修・補強、改良の工事費	D01A
21	施工会社		漢字10 文字	施工会社名（日本語）	D01A
22	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	D01A

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D01D橋梁（点検補修）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D01D
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D01D
3	附図対応番号		半角16 文字		D01D
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D01D
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D01D
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D01D
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D01D
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D01D
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D01D
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D01D
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D01D
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D01D
13	径間番号		半角2文字	「D017 橋梁径間」で作成されている橋梁分割毎の径間番号	D01D
14	径間分割番号		半角1文字	「D017 橋梁径間」で作成されている橋梁分割毎の径間分割番号	D01D
15	補修年月日	西暦	19990101	補修・補強を行った年月日（1988年8月18日の場合：19880818）	D01D
16	部材区分C			部材区分コード	D01D
17	部材番号		半角4文字	橋梁点検要領（案）に基づく部材番号	D01D
18	補修補強内容C			各部材の補修内容コード	D01D

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D020橋側歩道橋（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	D020
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D020
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	D020
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D020
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D020
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D020
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D020
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D020
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D020
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D020
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D020
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D020
13	橋梁コード		半角4文字	該当する区間の橋側歩道橋コード（整理番号1で記入した頭4桁）	D020
14	分割区分C			該当する橋側歩道橋の分割区分コード	D020
15	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998年度の場合：1998）	D020
16	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001年度の場合：2001）	D020
17	名称		漢字10 文字	橋側歩道橋名称（日本語）	D020
18	橋梁種別C			該当する橋側歩道橋の橋側歩道橋種別コード	D020
19	橋梁区分C			該当なし（*記入）	D020
20	架設竣工年	西暦	1999	橋側歩道橋の架設竣工年（昭和48年の場合：1973）	D020
21	等級C			該当なし（*記入）	D020
22	適用示方書C			設計または施工に用いた適用示方書コード	D020
23	総径間数		999	対象となる橋側歩道橋を構成している径間数	D020
24	歩道添架C			該当なし（*記入）	D020
25	昇降形式C			該当なし（*記入）	D020
26	事業区分C	1		事業区分コード	D020
27	路線名称		漢字10 文字	路線の名称（俗称名等）（日本語）	D020
28	百米標自	k m	999. 9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10. 1）	D020
29	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	D020
30	百米標至	k m	999. 9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15. 5）	D020
31	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	D020
32	橋長	m	9999. 99	橋台間のパラベット全面の距離（小数点以下2位）	D020

道路施設基本データ入力フォーマット

※ 1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※ 2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	橋面積	m 2	99999.9	橋側歩道橋面積（地覆の内側間（道路部）×橋長）（小数点以下 1 位）	D020
34	平面形状 C			1 橋全体としての平面形状コード	D020
35	最小半径	m	9999.9	該当する橋側歩道橋間における最小半径（小数点以下 1 位）	D020
36	縦断勾配	%	99.999	該当する橋側歩道橋における最急勾配の絶対値（小数点以下 3 位）	D020
37	落下物防止柵高さ	m	9.99	落下物防止柵の高さの最大値（小数点以下 2 位）	D020
38	落下物防止柵延長	m	999.99	落下物防止柵の延長（小数点以下 2 位）	D020
39	遮音壁有無 C			遮音壁の有無コード	D020
40	遮光壁有無 C			遮光壁の有無コード	D020
41	踏掛版有無 C			踏掛版の設置の有無コード	D020
42	点検施設 C			橋側歩道橋の点検施設コード	D020
43	排水施設 C			排水施設の型式コード	D020
44	床版防水種別 C			床版防水工の種別コード	D020
45	床版防水範囲 C			床版防水工の範囲コード	D020
46	床版防水面積	m 2	99999.9	床版防水工の面積（小数点以下 1 位）	D020
47	上部工工費	百万円	999999	該当なし（＊記入）	D020
48	下部工工費	百万円	999999	該当なし（＊記入）	D020
49	水平震度		9.99	設計水平震度（小数点以下 2 位）	D020
50	設計活荷重 C			該当なし（＊記入）	D020
51	特殊荷重 1 C			該当なし（＊記入）	D020
52	特殊荷重 2 C			該当なし（＊記入）	D020
53	特殊荷重 3 C			該当なし（＊記入）	D020
54	特殊荷重 4 C			該当なし（＊記入）	D020
55	特殊荷重 5 C			該当なし（＊記入）	D020
56	特殊荷重 6 C			該当なし（＊記入）	D020
57	主桁トラス基本耐荷力	t f	99.9	該当なし（＊記入）	D020
58	トラスその他基本耐荷力	t f	99.9	該当なし（＊記入）	D020
59	床版基本耐荷力	t f	99.9	該当なし（＊記入）	D020
60	縦桁横桁基本耐荷力	t f	99.9	該当なし（＊記入）	D020
61	通行制限 C			該当なし（＊記入）	D020
62	荷重制限	t f	99.9	該当なし（＊記入）	D020
63	制限高さ	m	99.9	該当なし（＊記入）	D020
64	制限幅	m	99.9	該当なし（＊記入）	D020
65	迂回路有無 C			該当なし（＊記入）	D020

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
66	交通現況 C			該当なし（※記入）	D020
67	上部工分離橋脚一体別 C			該当なし（※記入）	D020
68	起点側市区町村 C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D020
69	起点側検査数字		半角1文字	起点側市区町村コード [*] について「建設省組織コード [*] 」（大臣官房文書課）を参照し、コード [*] 末尾 1 桁の数字	D020
70	起点側所在地		漢字30 文字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	D020
71	終点側市区町村 C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D020
72	終点側検査数字		半角1文字	終点側市区町村コード [*] について「建設省組織コード [*] 」（大臣官房文書課）を参照し、コード [*] 末尾 1 桁の数字	D020
73	終点側所在地		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	D020
74	他域橋長	m	9999.99	橋側歩道橋が市区町村界（都道府県と重複の場合も同様）に架設されている他域橋長（小数点以下 2 位）	D020
75	起終点区分 C			他域橋長の存する地域の起終点区分コード	D020
76	橋梁接続起点側市区町村 C			橋側歩道橋接続で起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D020
77	橋梁接続起点側検査数字		半角1文字	起点側市区町村コード [*] について「建設省組織コード [*] 」（大臣官房文書課）を参照し、コード [*] 末尾 1 桁の数字	D020
78	橋梁接続起点側橋梁種別 C			橋側歩道橋接続で起点側の橋梁種別コード	D020
79	橋梁接続起点側事務所		半角2文字	橋側歩道橋接続で起点側の管理している事務所コード	D020
80	橋梁接続起点側出張所		半角2文字	橋側歩道橋接続で起点側の管理している出張所コード	D020
81	橋梁接続起点側橋梁コード		半角4文字	橋側歩道橋接続で起点側の橋側歩道橋コード（整理番号 1 で記入した頭 4 桁）	D020
82	橋梁接続起点側分割番号		半角1文字	橋側歩道橋接続で起点側の橋側歩道橋分割（整理番号 1 で記入した頭から 5 桁目）	D020
83	橋梁接続終点側市区町村 C			橋側歩道橋接続で終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D020
84	橋梁接続終点側検査数字		半角1文字	終点側市区町村コード [*] について「建設省組織コード [*] 」（大臣官房文書課）を参照し、コード [*] 末尾 1 桁の数字	D020
85	橋梁接続終点側橋梁種別 C			橋側歩道橋接続で終点側の橋側歩道橋種別コード	D020
86	橋梁接続終点側事務所		半角2文字	橋側歩道橋接続で終点側の管理している事務所コード	D020
87	橋梁接続終点側出張所		半角2文字	橋側歩道橋接続で終点側の管理している出張所コード	D020
88	橋梁接続終点側橋梁コード		半角4文字	橋側歩道橋接続で終点側の橋側歩道橋コード（整理番号 1 で記入した頭 4 桁）	D020
89	橋梁接続終点側分割番号		半角1文字	橋側歩道橋接続で終点側の橋側歩道橋分割（整理番号 1 で記入した頭から 5 桁目）	D020
90	塩害地域区分 C			塩害地域区分コード	D020
91	塩害地域距離	k m	99.9	塩害地域区分に対する海岸線からの距離（小数点以下 1 位）	D020
92	凍結防止剤散布回数 C			凍結防止剤の平均的な年間の散布回数コード	D020
93	照明有無 C			橋側歩道橋に設置されている照明の有無コード	D020
94	照明種別 C			該当なし（※記入）	D020
95	基数		999	該当なし（※記入）	D020
96	灯数		999	該当なし（※記入）	D020
97	舗装種別 C			橋側歩道橋部の舗装種別コード	D020
98	舗装上層粒度 C			橋側歩道橋部舗装の上層粒度（混合物）コード	D020

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
99	舗装上層種類C			橋側歩道橋部舗装の上層種類コード	D020
100	舗装上層厚	c m	99.9	橋側歩道橋部舗装の上層の厚さ（小数点以下1位）	D020
101	舗装下層粒度C			橋側歩道橋部舗装の下層粒度（混合物）コード	D020
102	舗装下層種類C			橋側歩道橋部舗装の下層種類コード	D020
103	舗装下層厚	c m	99.9	橋側歩道橋部舗装の下層の厚さ（小数点以下1位）	D020
104	舗装面積	m 2	99999.9	車道部のみの舗装面積（小数点以下1位）	D020
105	消雪パイプ有無C			橋側歩道橋に設置されている消雪パイプの有無コード	D020
106	ロードヒート有無C			橋側歩道橋に設置されているロードヒーティングの有無コード	D020

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D021橋側歩道橋（幅員構成）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D021
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D021
3	附図対応番号		半角16 文字		D021
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D021
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D021
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D021
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D021
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D021
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D021
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D021
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D021
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	D021
13	供用開始年月日	西暦	19990101	供用を開始した年月日（1985年10月10日の場合：19851010）	D021
14	全幅員	m	99.99	該当する橋側歩道橋の全幅員（小数点以下2位）	D021
15	有効幅員	m	99.99	該当する橋側歩道橋の有効幅員（小数点以下2位）	D021
16	左側車線地覆幅	m	9.99	起点側から見て左側車線の地覆幅（小数点以下2位）	D021
17	左側車線地覆高	m	9.99	起点側から見て左側車線の地覆高（小数点以下2位）	D021
18	左側車線歩道幅	m	99.99	起点側から見て左側車線の歩道幅（小数点以下2位）	D021
19	左側車線路肩幅	m	99.99	該当なし（＊記入）	D021
20	左側車線車道幅	m	999.99	該当なし（＊記入）	D021
21	左側車線車線数		9	該当なし（＊記入）	D021
22	中央帯	m	99.99	該当なし（＊記入）	D021
23	中央分離帯	m	99.99	該当なし（＊記入）	D021
24	右側車線車線数		9	該当なし（＊記入）	D021
25	右側車線車道幅	m	999.99	該当なし（＊記入）	D021
26	右側車線路肩幅	m	99.99	該当なし（＊記入）	D021
27	右側車線歩道幅	m	99.99	起点側から見て右側車線の歩道幅（小数点以下2位）	D021
28	右側車線地覆幅	m	9.99	起点側から見て右側車線の地覆幅（小数点以下2位）	D021
29	右側車線地覆高	m	9.99	起点側から見て右側車線の地覆高（小数点以下2位）	D021

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D022橋側歩道橋（高欄・防護柵）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D022
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D022
3	附図対応番号		半角16 文字		D022
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D022
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D022
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D022
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D022
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D022
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D022
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D022
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D022
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	D022
13	高欄防護柵設置場所C			起点側から見た高欄、防護柵の設置場所コード	D022
14	高欄防護柵別C			高欄、防護柵の別コード	D022
15	高欄防護柵材質材料C			高欄の材質、材料コード	D022
16	高欄防護柵形式C			該当なし（＊記入）	D022
17	防護柵設計種別C			該当なし（＊記入）	D022
18	高欄防護柵高さ	m	9.99	高欄の橋面からの高さ（小数点以下2位）	D022

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D023橋側歩道橋（交差状況）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D023
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D023
3	附図対応番号		半角16 文字		D023
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D023
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D023
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D023
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D023
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D023
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D023
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D023
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D023
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	D023
13	架橋状況C			該当する橋側歩道橋の架橋状況コード	D023
14	協議有無C			協議の有無コード	D023
15	交差物名称		漢字10 文字	交差物名称（日本語）	D023
16	協議機関		漢字10 文字	交差物に関して協議した機関名（日本語）	D023

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D024橋側歩道橋（添架物）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D024
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D024
3	附図対応番号		半角16 文字		D024
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D024
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D024
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D024
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D024
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D024
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D024
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D024
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D024
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（ハイス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D024
13	添架物区分C			添架物区分コード	D024
14	添架物種別C			添架物種別コード	D024
15	添架物寸法		9999	添架物寸法（電力及び電話：設置する条数と段数、その他：径（Φ）を（mm）単位で記入	D024
16	添架物重量	k g f / m	999	添架物の単位長さ当たりの重量	D024
17	添架物管理者名		漢字10 文字	添架物の管理者名（日本語）	D024
18	占用物件本数		999	添架物種別毎の物件数（電力の場合：物件（形状○条○段等）の総本数）	D024

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D025橋側歩道橋（上部工）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D025
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D025
3	附図対応番号		半角16 文字		D025
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D025
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D025
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D025
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D025
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D025
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D025
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D025
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D025
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	D025
13	構造体番号		半角3文字	上部工の構造体毎に付された番号	D025
14	平面形状C			該当する構造体の代表的な平面形状コード	D025
15	起点側斜角左右別C			構造体の起点側の支承線に斜角のつく左右の別コード	D025
16	起点側斜角	度分秒	999999	構造体の起点側の支承線の角度と橋梁中心線との交角	D025
17	終点側斜角左右別C			構造体の終点側の支承線に斜角のつく左右の別コード	D025
18	終点側斜角	度分秒	999999	構造体の終点側の支承線の角度と橋側歩道橋中心線との交角	D025
19	起点側伸縮装置形式C			起点側の伸縮装置の構造形式コード	D025
20	終点側伸縮装置形式C			終点側の伸縮装置の構造形式コード	D025
21	材料区分C			主構造の材料区分コード	D025
22	桁形式区分C			主桁構造の桁形式区分コード	D025
23	構造形式C			構造体の形式コード（材料区分コード頭1桁＋構造形式コード2桁）	D025
24	路面位置C			上部工の路面位置コード	D025
25	主桁主構本数		999	主桁の本数	D025
26	主桁主構高さ	m	99.99	主桁または主構の高さの最大値（小数点以下2位）	D025
27	主桁主構間隔	m	99.99	主桁または主構間隔の最大値（小数点以下2位）	D025
28	横桁間隔	m	99.99	横桁間隔の最大値（小数点以下2位）	D025
29	適用示方書1C			該当する構造体（上部工）の1種類目の適用示方書コード	D025
30	適用示方書2C			該当する構造体（上部工）の2種類目の適用示方書コード	D025
31	適用示方書3C			該当する構造体（上部工）の3種類目の適用示方書コード	D025
32	床版材料C			床版材料コード	D025

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	床版種類使用形式C			構造体の床版種類使用形式コード	D025
34	床版橋軸直角方向支間	m	9. 99	床版の橋軸直角方向（小数点以下2位）	D025
35	床版橋軸方向支間	m	9. 99	床版の橋軸方向（小数点以下2位）	D025
36	床版厚さ	c m	99. 9	床版の最小の厚さ（小数点以下1位）	D025
37	床版縦リブ間隔	m	9. 99	床版の縦リブ間隔（小数点以下2位）	D025
38	床版縦リブ種類C			床版の縦リブ種類コード	D025
39	床版現場接合種類C			縦リブとデッキプレートの現場接合種類コード	D025
40	床版主鉄筋径	mm	半角3文字	床版の主鉄筋の径	D025
41	床版主鉄筋間隔	c m	99. 9	床版の主鉄筋の間隔（小数点以下1位）	D025
42	床版配力筋径	mm	半角3文字	床版の配力筋の径	D025
43	床版配力筋間隔	c m	99. 9	床版の配力筋の間隔（小数点以下1位）	D025
44	架設工法C			構造体の架設工法コード（材料区分コード1桁＋構造形式コード1桁）	D025
45	架設年月日	西暦	19990101	架設年月日（1983年10月14日の場合：19831014）	D025
46	鋼上部工材質C			構上部工の主な材質コード	D025
47	鋼上部工鋼重	t f	99999. 9	鋼上部工の鋼重（小数点以下1位）	D025
48	鋼上部工表面処理C			鋼上部工の耐候性鋼材の表面処理コード	D025
49	鋼上部工連結方法C			鋼上部工の連結方法（現場接合）コード	D025
50	上部工コンクリート体積	m 3	99999. 9	上部工部分（桁のみ）及び鋼上部工の床版のコンクリート体積（小数点以下1位）	D025
51	上部工鉄筋材質C			上部工鉄筋の代表的な材質コード	D025
52	上部工鉄筋重量	t f	99999. 9	上部工部分の鉄筋重量（小数点以下1位）	D025
53	塗装年月日	西暦	19990101	該当する構造体について新設時の塗装年月日（1986年3月15日の場合：19860315）	D025
54	プライマー下塗塗料C			構造体の新設時でのプライマー及び下塗り塗料コード	D025
55	中塗塗料C			構造体の新設時の中塗塗料コード	D025
56	上塗塗料C			構造体の新設時の上塗塗料コード	D025
57	塗装方法C			構造体の塗装方法コード	D025
58	工場塗装面積	m 2	99999. 9	構造体の工場塗装面積（小数点以下1位）	D025
59	本体塗装面積	m 2	99999. 9	構造体の本体塗装面積（小数点以下1位）	D025
60	高欄塗装面積	m 2	99999. 9	構造体の高欄塗装面積（小数点以下1位）	D025
61	塗装色		半角9文字	代表的な塗装色（日本塗装工業会の定めるコード）	D025
62	塗装会社		漢字10 文字	塗装会社名（日本語）	D025
63	P C鋼材材質C			P C鋼材の材質コード	D025
64	P C鋼材緊張工法C			P C鋼材の緊張工法コード	D025
65	主桁コンクリート強度	k g f / c m 2	999	主桁のコンクリート強度	D025

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
66	主桁打設方法 C			主桁の代表的なコンクリート打設方法コード	D025
67	主桁セメント種類 C			主桁の代表的なセメントの種類コード	D025
68	主桁細骨材種類 C			主桁細骨材の代表的な種類コード	D025
69	主桁粗骨材種類 C			主桁粗骨材の代表的な種類コード	D025
70	主桁粗骨材寸法	mm	999	主桁粗骨材の寸法	D025
71	主桁指定スランプ	cm	99.9	主桁の指定スランプ（小数点以下 1 位）	D025
72	主桁混和剤 1 C			主桁混和剤の 1 種類目の種類コード	D025
73	主桁混和剤 2 C			主桁混和剤の 2 種類目の種類コード	D025
74	主桁混和剤 3 C			主桁混和剤の 3 種類目の種類コード	D025
75	主桁混和剤 4 C			主桁混和剤の 4 種類目の種類コード	D025
76	主桁混和剤 5 C			主桁混和剤の 5 種類目の種類コード	D025
77	主桁アルカリ骨材対策 1 C			主桁アルカリ骨材対策の 1 種類目のコード	D025
78	主桁アルカリ骨材対策 2 C			主桁アルカリ骨材対策の 2 種類目のコード	D025
79	主桁アルカリ骨材対策 3 C			主桁アルカリ骨材対策の 3 種類目のコード	D025
80	主桁アルカリ骨材対策 4 C			主桁アルカリ骨材対策の 4 種類目のコード	D025
81	床版コンクリート強度	kgf/cm ²	999	床版のコンクリート強度	D025
82	床版打設方法 C			床版の代表的なコンクリート打設方法コード	D025
83	床版セメント種類 C			床版の代表的なセメントの種類コード	D025
84	床版細骨材種類 C			床版細骨材の代表的な種類コード	D025
85	床版粗骨材種類 C			床版粗骨材の代表的な種類コード	D025
86	床版粗骨材寸法	mm	999	床版粗骨材の寸法	D025
87	床版指定スランプ	cm	99.9	床版の指定スランプ（小数点以下 1 位）	D025
88	床版混和剤 1 C			床版混和剤の 1 種類目の種類コード	D025
89	床版混和剤 2 C			床版混和剤の 2 種類目の種類コード	D025
90	床版混和剤 3 C			床版混和剤の 3 種類目の種類コード	D025
91	床版混和剤 4 C			床版混和剤の 4 種類目の種類コード	D025
92	床版混和剤 5 C			床版混和剤の 5 種類目の種類コード	D025
93	床版アルカリ骨材対策 1 C			床版アルカリ骨材対策の 1 種類目のコード	D025
94	床版アルカリ骨材対策 2 C			床版アルカリ骨材対策の 2 種類目のコード	D025
95	床版アルカリ骨材対策 3 C			床版アルカリ骨材対策の 3 種類目のコード	D025
96	床版アルカリ骨材対策 4 C			床版アルカリ骨材対策の 4 種類目のコード	D025

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D026橋側歩道橋（下部工）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D026
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D026
3	附図対応番号		半角16 文字		D026
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D026
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D026
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D026
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D026
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D026
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D026
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D026
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D026
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D026
13	躯体番号		半角3文字	下部工の躯体毎に付された番号	D026
14	完成年月日	西暦	19990101	該当する下部工の完成年月日（1970年6月17日の場合：19700617）	D026
15	橋台橋脚構造形式C			該当する下部工の構造形式コード	D026
16	橋台橋脚高さ	m	999.99	該当する下部工の橋台・橋脚の高さ（小数点以下2位）	D026
17	起点側縁端距離	c m	9999.9	起点側の支承縁端と沓座部縁端との間の距離（小数点以下1位）	D026
18	終点側縁端距離	c m	9999.9	終点側の支承縁端と沓座部縁端との間の距離（小数点以下1位）	D026
19	基礎形式C			下部工の基礎形式コード	D026
20	杭頭接合条件C			基礎形式が杭基礎の場合の杭頭条件コード	D026
21	基礎形状寸法A	m	999.9	基礎の形状寸法A（小数点以下1位）	D026
22	基礎形状寸法B	m	999.9	基礎の形状寸法B（小数点以下1位）	D026
23	有効根入長	m	999.9	基礎の有効根入長（小数点以下1位）	D026
24	杭径	m	9.9	杭基礎の場合は杭径を、鋼管ウエル基礎の場合は外径（小数点以下1位）	D026
25	杭本数		999	基礎形式が杭基礎の場合は杭本数、鋼管ウエルの場合は数	D026
26	杭長	m	99999	杭基礎の杭長	D026
27	躯体基部形状寸法A	m	99999	躯体の基部形状寸法A	D026
28	躯体基部形状寸法B	m	99999	躯体の基部形状寸法B	D026
29	塗装年月日	西暦	19990101	下部工躯体の新設時の塗装年月日（1986年3月15日の場合：19860315）	D026
30	プライマー下塗塗料C			下部工躯体の新設時のプライマー及び下塗り塗料コード	D026
31	中塗塗料C			下部工躯体の新設時の中塗り塗料コード	D026
32	上塗塗料C			下部工躯体の新設時の上塗り塗料コード	D026

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	塗装方法 C			下部工躯体の新設時の塗装方法コード	D026
34	工場塗装面積	m ²	99999.9	下部工躯体の工場塗装面積（小数点以下1位）	D026
35	本体塗装面積	m ²	99999.9	下部工躯体の本体塗装面積（小数点以下1位）	D026
36	塗装色		半角9文字	代表的な塗装色（日本塗装工業会の定めるコード）	D026
37	塗装会社		漢字10 文字	塗装会社名（日本語）	D026
38	P C 鋼材材質 C			P C 鋼材の材質コード	D026
39	P C 鋼材緊張工法 C			P C 鋼材の緊張工法コード	D026
40	躯体コンクリート強度	k g f / c m ²	999	下部工躯体のコンクリート強度	D026
41	躯体打設方法 C			代表的な下部工躯体のコンクリートの打設方法コード	D026
42	躯体セメント種類 C			代表的な下部工躯体のセメントの種類コード	D026
43	躯体細骨材種類 C			代表的な下部工躯体の細骨材の種類コード	D026
44	躯体粗骨材種類 C			代表的な下部工躯体の粗骨材の種類コード	D026
45	躯体粗骨材寸法	mm	999	下部工躯体の粗骨材の寸法	D026
46	躯体指定スランプ	c m	99.9	下部工躯体の指定スランプ（小数点以下1位）	D026
47	躯体混和剤 1 C			代表的な1種類目の下部工躯体の混和剤コード	D026
48	躯体混和剤 2 C			代表的な2種類目の下部工躯体の混和剤コード	D026
49	躯体混和剤 3 C			代表的な3種類目の下部工躯体の混和剤コード	D026
50	躯体混和剤 4 C			代表的な4種類目の下部工躯体の混和剤コード	D026
51	躯体混和剤 5 C			代表的な5種類目の下部工躯体の混和剤コード	D026
52	躯体アルカリ骨材対策 1 C			代表的な1種類目の下部工躯体のアルカリ骨材対策コード	D026
53	躯体アルカリ骨材対策 2 C			代表的な2種類目の下部工躯体のアルカリ骨材対策コード	D026
54	躯体アルカリ骨材対策 3 C			代表的な3種類目の下部工躯体のアルカリ骨材対策コード	D026
55	躯体アルカリ骨材対策 4 C			代表的な4種類目の下部工躯体のアルカリ骨材対策コード	D026
56	基礎コンクリート強度	k g f / c m ²	999	基礎のコンクリート強度	D026
57	基礎打設方法 C			基礎の打設方法コード	D026
58	基礎セメント種類 C			基礎のセメント種類コード	D026
59	基礎細骨材種類 C			基礎の細骨材の種類コード	D026
60	基礎粗骨材種類 C			基礎の粗骨材の種類コード	D026
61	基礎粗骨材寸法	mm	999	基礎の粗骨材寸法	D026
62	基礎指定スランプ	c m	99.9	基礎の指定スランプ（小数点以下1位）	D026
63	基礎混和剤 1 C			代表的な1種類目の基礎の混和剤コード	D026
64	基礎混和剤 2 C			代表的な2種類目の基礎の混和剤コード	D026
65	基礎混和剤 3 C			代表的な3種類目の基礎の混和剤コード	D026

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
66	基礎混和剤 4 C			代表的な 4 種類目の基礎の混和剤コード	D026
67	基礎混和剤 5 C			代表的な 5 種類目の基礎の混和剤コード	D026
68	基礎アルカリ骨材対策 1 C			代表的な 1 種類目の基礎のアルカリ骨材対策コード	D026
69	基礎アルカリ骨材対策 2 C			代表的な 2 種類目の基礎のアルカリ骨材対策コード	D026
70	基礎アルカリ骨材対策 3 C			代表的な 3 種類目の基礎のアルカリ骨材対策コード	D026
71	基礎アルカリ骨材対策 4 C			代表的な 4 種類目の基礎のアルカリ骨材対策コード	D026
72	適用示方書 1 C			代表的な 1 種類目の下部工構造体の適用示方書コード	D026
73	適用示方書 2 C			代表的な 2 種類目の下部工構造体の適用示方書コード	D026
74	適用示方書 3 C			代表的な 3 種類目の下部工構造体の適用示方書コード	D026
75	設計震度地盤区分 C			設計震度の地盤区分コード	D026
76	設計震度		9. 99	設計震度（小数点以下 2 位）	D026
77	K 値	$\frac{\text{kgf}}{\text{m}^3} / \text{c}$	99. 9	K 値（横方向地盤反力係数）（小数点以下 1 位）	D026
78	支持力		99999	支持力	D026
79	支持層 N 値		99	支持層の N 値	D026
80	躯体鋼材質 C			代表的な躯体の鋼材質コード	D026
81	躯体鋼重	t f	99999. 9	1 基当たりの躯体鋼重（小数点以下 1 位）	D026
82	躯体コンクリート体積	m 3	99999. 9	1 基当たりの躯体のコンクリート体積（小数点以下 1 位）	D026
83	躯体鉄筋材質 C			代表的な躯体の鉄筋材質コード	D026
84	躯体鉄筋重量	t f	99999. 9	躯体の鉄筋の重量（小数点以下 1 位）	D026
85	基礎杭鋼重	t f	99999. 9	鋼管杭又は PC、RC の既製杭の 1 基当たりの総重量（小数点以下 1 位）	D026
86	基礎コンクリート体積	m 3	99999. 9	場所打杭等、現場打コンクリートから成る基礎の 1 基当たりのコンクリート体積（小数点以下 1 位）	D026
87	基礎鉄筋重量	t f	99999. 9	場所打杭等、現場打コンクリートから成る基礎の 1 基当たりの鉄筋重量（小数点以下 1 位）	D026

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D027橋側歩道橋（径間）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D027
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D027
3	附図対応番号		半角16 文字		D027
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D027
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D027
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D027
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D027
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D027
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D027
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D027
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D027
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	D027
13	構造物番号		半角3文字	該当する支間に対する上部工の構造物番号	D027
14	径間番号		半角2文字	「D025 橋側歩道橋上部工」の作成単位毎に該当する径間について、起点側から付した通し番号	D027
15	径間分割番号		半角1文字	同一径間内に複数の上部工がある場合に付す番号（径間がない場合：0）	D027
16	支間番号		半角1文字	1 径間内において複数の支間が存在する場合に、径間内で付した通し番号	D027
17	支間長	m	999.999	上部工の支間長（径間長）（小数点以下3位）	D027
18	起点側支承種類C			起点側の支承の種類コード	D027
19	起点側落橋防止1 C			代表的な1 種類目の起点側落橋防止構造の種類コード	D027
20	起点側落橋防止2 C			代表的な2 種類目の起点側落橋防止構造の種類コード	D027
21	起点側落橋防止3 C			代表的な3 種類目の起点側落橋防止構造の種類コード	D027
22	終点側支承種類C			終点側の支承の種類コード	D027
23	終点側落橋防止1 C			代表的な1 種類目の終点側落橋防止構造の種類コード	D027
24	終点側落橋防止2 C			代表的な2 種類目の終点側落橋防止構造の種類コード	D027
25	終点側落橋防止3 C			代表的な3 種類目の終点側落橋防止構造の種類コード	D027
26	起点側躯体番号1		半角3文字	該当する径間に対する下部工の起点側躯体番号1	D027
27	起点側躯体番号2		半角3文字	該当する径間に対する下部工の起点側躯体番号2	D027
28	終点側躯体番号1		半角3文字	該当する径間に対する下部工の終点側躯体番号1	D027
29	終点側躯体番号2		半角3文字	該当する径間に対する下部工の終点側躯体番号2	D027

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D029橋側歩道橋（塗装歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D029
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D029
3	附図対応番号		半角16 文字		D029
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D029
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D029
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D029
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D029
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D029
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D029
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D029
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D029
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D029
13	径間又は躯体番号		半角3文字	上部工：橋側歩道橋分割毎の径間番号と径間分割番号、下部工：躯体番号	D029
14	上下部工区分C			上・下部工に関するデータの作成区分コード	D029
15	塗装年月日	西暦	19990101	再塗装を行った年月日（1998年8月21日の場合：19880821）	D029
16	プライマー下塗塗料C			プライマー及び下塗り塗料コード	D029
17	中塗塗料C			中塗り塗料コード	D029
18	上塗塗料C			上塗り塗料コード	D029
19	塗装方法C			塗装方法コード	D029
20	清浄度C			代表的な清浄度コード	D029
21	本体塗装面積	m ²	99999.9	本体に対する再塗装面積（小数点以下1位）	D029
22	高欄塗装面積	m ²	99999.9	高欄に対する再塗装面積（小数点以下1位）	D029
23	塗装色		半角9文字	代表的な塗装色（日本塗装工業会の定めるコード）	D029
24	塗替え程度C			再塗装における塗替えの程度コード	D029
25	塗装費用	百万円	999999	データ作成毎に対する再塗装の費用	D029
26	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	D029

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D02A橋側歩道橋（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D02A
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D02A
3	附図対応番号		半角16 文字		D02A
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D02A
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D02A
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D02A
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D02A
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D02A
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D02A
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D02A
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D02A
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D02A
13	径間又は躯体番号		半角4文字	上部工：橋側歩道橋分割毎の径間番号と径間分割番号、下部工：躯体番号	D02A
14	上下部工区分C			上・下部工に関するデータの作成区分コード	D02A
15	補修改良年月日	西暦	19990101	補修または改良を行った年月日（1988年8月18日の場合：19880818）	D02A
16	補修改良区分C			補修または改良に関するデータの作成区分コード	D02A
17	主な補修改良内容C			代表的な補修・改良内容コード	D02A
18	床版補修補強面積	m ²	99999.9	該当する径間における床版補修・補強面積（小数点以下1位）	D02A
19	前回補修年月日	西暦	19990101	再補修の場合にのみ前回の補修年月日（1986年5月7日の場合：19860507）	D02A
20	工事費用	百万円	999999	該当する径間（上部工）又は躯体（下部工）の補修・補強、改良の工事費	D02A
21	施工会社		漢字10 文字	施工会社名（日本語）	D02A
22	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	D02A

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D02D橋側歩道橋（点検補修）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D02D
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D02D
3	附図対応番号		半角16 文字		D02D
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D02D
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D02D
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D02D
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D02D
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D02D
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D02D
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D02D
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D02D
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D02D
13	径間番号		半角2文字	「D027 橋側歩道橋径間」で作成されている橋側歩道橋分割毎の径間番号	D02D
14	径間分割番号		半角1文字	「D027 橋側歩道橋径間」で作成されている橋側歩道橋分割毎の径間分割番号	D02D
15	補修年月日	西暦	19990101	補修・補強を行った年月日（1988年8月18日の場合：19880818）	D02D
16	部材区分C			部材区分コード	D02D
17	部材番号		半角4文字	橋梁点検要領（案）に基づく部材番号	D02D
18	補修補強内容C			各部材の補修内容コード	D02D

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D030横断歩道橋（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	D030
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D030
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	D030
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D030
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D030
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D030
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D030
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D030
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D030
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D030
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D030
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	D030
13	名称		漢字10 文字	横断歩道橋の名称又は設置箇所の地名等（日本語）	D030
14	百米標自	k m	999. 9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10. 1）	D030
15	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	D030
16	百米標至	k m	999. 9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15. 5）	D030
17	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	D030
18	所在地		漢字30 文字	該当区間の所在地（字番地まで）	D030
19	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	D030
20	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	D030
21	歩道橋種別C			歩道橋の種別区分コード	D030
22	設置状況 a C			歩道橋の設置状況コード（交差点の手前または単路）	D030
23	設置状況 b C			歩道橋の設置状況コード（交差点を通過した位置）	D030
24	設置状況 c C			歩道橋の設置状況コード（国道の左側）	D030
25	設置状況 d C			歩道橋の設置状況コード（国道の右側）	D030
26	設置状況 e C			歩道橋の設置状況コード（上記 a ～ d 以外）	D030
27	昇降形式C			代表的な歩道橋の昇降形式区分コード	D030
28	上部工構造形式C			代表的な上部工の構造形式コード	D030
29	上部工材料C			上部工（床版を除く）の使用材料コード	D030
30	床版材料C			上部工のうち代表的な床版の使用材料コード	D030
31	下部工形式C			代表的な下部工（躯体）形式コード	D030
32	基礎形式C			代表的な基礎形式コード	D030

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	敷地協定有無C			敷地協定の有無コード	D030
34	完成年次	西暦	1999	歩道橋の完成した年次（1998 年次の場合：1998）	D030
35	橋長	m	999.9	桁端間の距離を橋長とする（小数点以下1位）	D030
36	最大支間長	m	999.9	1 橋の中で最大の支間長（小数点以下1位）	D030
37	径間数		99	1 橋を構成している径間数	D030
38	桁下高	m	99.9	歩道橋の桁下から路面までの高さの最小高（小数点以下1位）	D030
39	幅員	m	99.9	昇降部分を省く橋面部の幅員（小数点以下1位）	D030
40	橋面積	m ²	999.9	幅員×橋長の値を橋面積とする（小数点以下1位）	D030
41	斜角	度	99	歩道橋の道路に対する交差角（角度は最鋭角）	D030
42	適用示方書C			設計で主に用いた代表的な示方書類コード	D030
43	設計震度		9.99	歩道橋の設計震度（k h）	D030
44	排水形式C			歩道橋の排水形式コード	D030
45	本体塗装面積	m ²	99999.9	歩道橋本体の塗装面積（小数点以下1位）	D030
46	高欄塗装面積	m ²	99999.9	歩道橋高欄の塗装面積（小数点以下1位）	D030
47	現場塗装面積	m ²	99999.9	歩道橋の現場の塗装面積（小数点以下1位）	D030
48	塗装色		半角9文字	代表的な塗装色（日本塗装工業会の定めるコード）	D030
49	地覆幅	c m	99	歩道橋の地覆幅	D030
50	地覆高さ	c m	99	歩道橋の地覆の高さ（路面からの高さ）	D030
51	高欄材質構造形式C			高欄または防護柵の材質及び構造形式コード	D030
52	高欄高さ	m	9.99	高欄または防護柵の橋面上からの高さ（小数点以下2位）	D030
53	舗装種別C			歩道橋の橋面部の代表的な舗装種別コード	D030
54	舗装厚さ	c m	99	歩道橋の橋面部の舗装厚	D030
55	舗装面積	m ²	9999.9	歩道橋の橋面部の舗装面積（小数点以下1位）	D030
56	伸縮継手型式C			代表的な伸縮継手型式コード	D030
57	杓固定C			代表的な固定支承コード	D030
58	杓可動C			代表的な可動支承コード	D030
59	落石防止施設有無 a C			落橋防止施設の有無（支承の移動制限装置）コード	D030
60	落石防止施設有無 b C			落橋防止施設の有無（けた端から下部構造頂部縁端までのけたの長さの確保）コード	D030
61	落石防止施設有無 c C			落橋防止施設の有無（けたと下部構造を連結する構造）コード	D030
62	落石防止施設有無 d C			落橋防止施設の有無（けたまたは下部構造に突起を設ける構造）コード	D030
63	落石防止施設有無 e C			落橋防止施設の有無（2 連のけたを相互に連結する構造）コード	D030
64	上屋有無C			横断歩道橋の上屋の有無コード	D030
65	上屋延長	m	999.9	横断歩道橋の上屋の設置延べ延長（小数点以下1位）	D030

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
66	手すりC			手すり施設の有無コード	D030
67	すべり止めC			すべり止め施設の有無コード	D030
68	目かくし板C			目かくし板施設の有無コード	D030
69	身障者用施設C			身障者用施設の有無コード	D030
70	防犯施設C			防犯施設の有無コード	D030
71	エスカレータ有無C			エスカレータ施設の有無コード	D030
72	エスカレータ基数		99	エスカレータ施設の基数	D030
73	エスカレータ占用別C			エスカレータの施設の占用別コード	D030
74	エレベータ有無C			エレベータの施設の有無コード	D030
75	エレベータ基数		99	エレベータの施設の基数	D030
76	エレベータ占用別C			エレベータの施設の占用別コード	D030
77	広場有無C			広場の有無コード	D030
78	上屋占用物件別C			上屋の占用別コード	D030
79	通学路指定有無C			通学路指定の有無コード	D030
80	通学路指定年月日	西暦	19990101	通学路指定になった年月日（1984 年 5 月 5 日の場合：19840505）	D030
81	管理協定有無C			管理協定の有無コード	D030
82	協定年月日	西暦	19990101	管理協定がなされた年月日（1984年 3 月15日の場合：19840315）	D030
83	協定先名		漢字15 文字	協定管理者名（日本語）	D030
84	照明有無C			歩道橋の照明の有無コード	D030
85	照明種別C			該当なし（＊記入）	D030
86	照明灯数		999	該当なし（＊記入）	D030
87	ロードヒート有無C			歩道橋に設置されているロードヒーティングの有無コード	D030
88	ロードヒート種類		半角40 文字	該当なし（＊記入）	D030
89	ロードヒート延長	m	999.9	該当なし（＊記入）	D030
90	ロードヒート面積	m ²	9999.9	該当なし（＊記入）	D030
91	消雪パイプ有無C			歩道橋に設置されている消雪パイプの有無コード	D030
92	消雪パイプ種類C			該当なし（＊記入）	D030
93	消雪パイプ延長	m	999.9	該当なし（＊記入）	D030
94	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	D030
95	市区町村自C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D030
96	市区町村至C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D030

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D032横断歩道橋（塗装歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D032
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D032
3	附図対応番号		半角16 文字		D032
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D032
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D032
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D032
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D032
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D032
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D032
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D032
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D032
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D032
13	上下部工区分C			上・下部工に関するデータの作成区分コード	D032
14	塗装年月	西暦	199901	再塗装を行った年月（1998 年 8 月の場合：198808）	D032
15	下塗り塗料C			下塗り塗料コード	D032
16	中塗り塗料C			中塗り塗料コード	D032
17	上塗り塗料C			上塗り塗料コード	D032
18	塗装方法C			塗装方法コード	D032
19	清浄度C			代表的な清浄度コード	D032
20	本体塗装面積	m	99999	本体に対する再塗装面積	D032
21	高欄塗装面積	m	99999	高欄、防護欄に対する再塗装面積	D032
22	塗装色		半角9文字	代表的な塗装色（日本塗装工業会の定めるコード）	D032
23	塗替え程度C			径間（上部工）あるいは下部工の再塗装における塗替え程度コード	D032
24	塗装費用	百万円	999999	データ作成毎に該当する径間（上部工）あるいは下部工に対する再塗装の費用	D032
25	塗装会社		漢字10 文字	塗装会社名（日本語）	D032

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D033横断歩道橋（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D033
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D033
3	附図対応番号		半角16 文字		D033
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D033
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D033
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D033
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D033
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D033
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D033
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D033
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D033
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D033
13	補修年月	西暦	199901	歩道橋の補修を行った年月（1985年10月の場合：198510）	D033
14	補修内容C			歩道橋の補修内容コード	D033
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	D033

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D040トンネル（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	D040
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D040
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	D040
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D040
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D040
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D040
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D040
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D040
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D040
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D040
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D040
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D040
13	トンネルコード		半角4文字	該当する区間のトンネルコード（整理番号1で記入した頭4桁）	D040
14	分割区分C			トンネルの分割区分コード	D040
15	名称		漢字10 文字	該当する区間のトンネル名称又は設置箇所の地先名等（日本語）	D040
16	百米標自	k m	999. 9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10. 1）	D040
17	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	D040
18	百米標至	k m	999. 9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15. 5）	D040
19	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	D040
20	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	D040
21	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	D040
22	一般有料区分C			トンネルの一般・有料の区分コード	D040
23	トンネル分類C			トンネルの分類コード	D040
24	トンネル工法C			トンネルの工法コード	D040
25	完成年次	西暦	1999	トンネルの完成年次（1998 年次の場合：1998）	D040
26	トンネル延長	m	99999. 9	坑門（入口）～坑門（出口）までのトンネル延長（小数点以下1位）	D040
27	土被り	m	9999. 9	トンネルの最大土被り（小数点以下1位）	D040
28	建築限界高	m	99. 99	トンネルの内空断面の建築限界高（小数点以下2位）	D040
29	中央高	m	99. 99	トンネルの内空断面の中央高（小数点以下2位）	D040
30	有効高	m	99. 99	トンネルの内空断面の有効高（小数点以下2位）	D040
31	内空断面積	m ²	999. 9	トンネルの内空断面面積（小数点以下1位）	D040
32	トンネル等級C			トンネルの等級区分コード	D040

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	交通量	台／日	99999	トンネルの現況の交通量	D040
34	壁面種類 C			トンネルの壁面種類コード	D040
35	天井種類 C			トンネルの天井の種類コード	D040
36	起点坑門形式 C			トンネルの出入口に設けられる起点側の坑門の形式コード	D040
37	起点坑門延長	m	99.9	トンネルの出入口に設けられる起点側の坑門の延長（小数点以下 1 位）	D040
38	終点坑門形式 C			トンネルの出入口に設けられる終点側の坑門の形式コード	D040
39	終点坑門延長	m	99.9	トンネルの出入口に設けられる終点側の坑門の延長（小数点以下 1 位）	D040
40	アーチ巻厚	c m	999	トンネルのアーチ部の設計最小覆工巻厚	D040
41	側壁巻厚	c m	999	トンネルの側壁部の設計最小覆工巻厚	D040
42	インバート巻厚	c m	999	トンネルのインバート部の設計最小覆工巻厚	D040
43	アーチ半径	c m	99999	トンネルのアーチ部の半径	D040
44	側壁半径	c m	99999	トンネルの側壁部の半径	D040
45	インバート半径	c m	99999	トンネルのインバート部の半径	D040
46	換気種別 C			トンネル内の換気種別コード	D040
47	換気方式 C			強制（機械）換気の場合、換気方式区分コード	D040
48	換気台数		99	強制（機械）換気の場合、換気機械の所要台数	D040
49	排水種別 C			トンネル内の排水種別コード	D040
50	起点空頭防護施設有無 C			起点側の空頭防護施設の有無コード	D040
51	終点空頭防護施設有無 C			終点側の空頭防護施設の有無コード	D040
52	構造形式種別 C			都市型のBOX 形状トンネルの構造形式種別コード	D040
53	山岳都市型別 C			山岳・都市型の別コード	D040
54	電話型式		半角26 文字	トンネル非常用施設として設置されている電話型式	D040
55	電話個数		999	トンネル非常用施設として設置されている電話個数	D040
56	押ボタン型式		半角26 文字	トンネル非常用施設として設置されている押ボタン型式	D040
57	押ボタン個数		999	トンネル非常用施設として設置されている押ボタン個数	D040
58	火災検知型式		半角26 文字	トンネル非常用施設として設置されている火災検知型式	D040
59	火災検知個数		999	トンネル非常用施設として設置されている火災検知個数	D040
60	警報表示型式		半角26 文字	トンネル非常用施設として設置されている警報表示型式	D040
61	警報表示個数		999	トンネル非常用施設として設置されている警報表示個数	D040
62	点滅灯型式		半角26 文字	トンネル非常用施設として設置されている点滅灯型式	D040
63	点滅灯個数		999	トンネル非常用施設として設置されている点滅灯個数	D040
64	音信号型式		半角26 文字	トンネル非常用施設として設置されている音信号型式	D040
65	音信号個数		999	トンネル非常用施設として設置されている音信号個数	D040

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
66	誘導表示型式		半角26 文 字	トンネル非常用施設として設置されている誘導表示型式	D040
67	誘導表示個数		999	トンネル非常用施設として設置されている誘導表示個数	D040
68	排煙型式		半角26 文 字	トンネル非常用施設として設置されている排煙型式	D040
69	排煙個数		999	トンネル非常用施設として設置されている排煙個数	D040
70	避難通路型式		半角26 文 字	トンネル非常用施設として設置されている避難通路型式	D040
71	避難通路個数		999	トンネル非常用施設として設置されている避難通路個数	D040
72	消火栓型式		半角26 文 字	トンネル非常用施設として設置されている消火栓型式	D040
73	消火栓個数		999	トンネル非常用施設として設置されている消火栓個数	D040
74	消火器型式		半角26 文 字	トンネル非常用施設として設置されている消火器型式	D040
75	消火器個数		999	トンネル非常用施設として設置されている消火器知個数	D040
76	給水栓型式		半角26 文 字	トンネル非常用施設として設置されている給水栓型式	D040
77	給水栓個数		999	トンネル非常用施設として設置されている給水栓個数	D040
78	無線通信型式		半角26 文 字	トンネル非常用施設として設置されている無線通信型式	D040
79	無線通信個数		999	トンネル非常用施設として設置されている無線通信個数	D040
80	再放送型式		半角26 文 字	トンネル非常用施設として設置されている再放送型式	D040
81	再放送個数		999	トンネル非常用施設として設置されている再放送個数	D040
82	拡声放送型式		半角26 文 字	トンネル非常用施設として設置されている拡声放送型式	D040
83	拡声放送個数		999	トンネル非常用施設として設置されている拡声放送個数	D040
84	水噴霧型式		半角26 文 字	トンネル非常用施設として設置されている水噴霧型式	D040
85	水噴霧個数		999	トンネル非常用施設として設置されている水噴霧個数	D040
86	I T V 型式		半角26 文 字	トンネル非常用施設として設置されている I T V 型式	D040
87	I T V 個数		999	トンネル非常用施設として設置されている I T V 個数	D040
88	非常用電源設備型式		半角26 文 字	トンネル非常用施設として設置されている非常用電源設備型式	D040
89	非常用電源設備個数		999	トンネル非常用施設として設置されている非常用電源設備個数	D040
90	非常駐車帯型式		半角26 文 字	トンネル非常用施設として設置されている非常駐車帯型式	D040
91	非常駐車帯個数		999	トンネル非常用施設として設置されている非常駐車帯個数	D040
92	方向転換型式		半角26 文 字	トンネル非常用施設として設置されている方向転換型式	D040
93	方向転換個数		999	トンネル非常用施設として設置されている方向転換個数	D040
94	自動通報装置型式		半角26 文 字	トンネル非常用施設として設置されている自動通報装置型式	D040
95	自動通報装置個数		999	トンネル非常用施設として設置されている自動通報装置個数	D040
96	市区町村自 C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D040
97	検査数字自		半角1文字	該当する市区町村コードについて、「建設省組織コード」（大臣官房文書課）を参照し、コード末尾1桁の数字	D040
98	所在地自		漢字30 文 字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	D040

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
99	市区町村至 C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D040
100	検査数字至		半角1文字	該当する市区町村コードについて、「建設省組織コード」（大臣官房文書課）を参照し、コード末尾1桁の数字	D040
101	所在地至		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	D040
102	他城市区町村 C			トンネルが市区町村界に設けられている場合に、他の市区町村域コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D040
103	他域検査数字		半角1文字	該当する市区町村コードについて、「建設省組織コード」（大臣官房文書課）を参照し、コード末尾1桁の数字	D040
104	他域延長	m	99999	トンネルが市区町村界に設けられている場合に、他の市区町村域に於ける延長	D040
105	現況区分 C			トンネルの現況区分コード	D040
106	道路幅	m	99.99	道路部幅員（車道、路肩及び歩道等を加えた幅員）（小数点以下2位）	D040
107	車道幅	m	99.99	左側車道幅と右側車道幅をプラスした車道部幅員（小数点以下2位）	D040
108	歩道等幅	m	99.99	左側歩道幅と右側歩道幅をプラスした歩道等幅員（小数点以下2位）	D040
109	左側歩道幅	m	99.99	トンネル内の起点から見て左側の歩道等幅員（小数点以下2位）	D040
110	左側路肩幅	m	99.99	トンネル内の起点から見て左側の路肩幅（小数点以下2位）	D040
111	左側車道幅	m	99.99	トンネル内の起点から見て左側の車道幅員（小数点以下2位）	D040
112	左側車線数		9	トンネル内の起点から見て左側の車線数（小数点以下1位）	D040
113	中央帯	m	99.99	トンネル内の中央帯の幅員（小数点以下2位）	D040
114	中央分離帯	m	99.99	トンネル内の中央分離帯の幅員（小数点以下2位）	D040
115	右側車線数		9	トンネル内の起点から見て右側の車線数（小数点以下1位）	D040
116	右側車道幅	m	99.99	トンネル内の起点から見て右側の車道幅員（小数点以下2位）	D040
117	右側路肩幅	m	99.99	トンネル内の起点から見て右側の路肩幅（小数点以下2位）	D040
118	右側歩道幅	m	99.99	トンネル内の起点から見て右側の歩道等幅員（小数点以下2位）	D040
119	通行制限内容		漢字25 文字	トンネル内の通行制限内容（日本語）	D040
120	縦断勾配符号 C			トンネル内の最急縦断勾配の符号コード	D040
121	縦断勾配	%	99.9	トンネル内の最急縦断勾配（小数点以下1位：水平の場合「0.0」）	D040
122	直線区間長	m	9999.9	トンネル内の直線区間の延べ延長（小数点以下1位）	D040
123	曲線区間長	m	9999.9	トンネル内の曲線区間の延べ延長。曲線区間が複数個存在する場合は、最小曲線区間部分（小数点以下1位）	D040
124	始点側クロソイド	m	99999.9	トンネル内の区間の始点側のクロソイド曲線のパラメータ A1（小数点以下1位）	D040
125	曲線半径	m	99999.9	トンネル内の区間に単曲線が含まれる場合、曲線半径（R）（小数点以下1位）	D040
126	終点側クロソイド	m	99999.9	トンネル内の区間の終点側のクロソイド曲線のパラメータ A2（小数点以下1位）	D040
127	舗装種別 C			トンネル内の舗装種別コード	D040
128	舗装厚	m	9.99	トンネル内の舗装厚（路床面～路面までの厚さ）（小数点以下2位）	D040
129	舗装面積	m ²	99999.9	トンネル内の舗装面積（小数点以下1位）	D040
130	照明有無 C			トンネル内の照明の有無コード	D040
131	照明種別 C			該当なし（*記入）	D040

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
132	照明灯数		999	該当なし（＊記入）	D040
133	ロードヒート有無C			トンネル内及び出入口のロードヒーティング有無コード	D040
134	ロードヒート種類		半角40 文字	該当なし（＊記入）	D040
135	ロードヒート延長	m	9999.9	該当なし（＊記入）	D040
136	ロードヒート面積	m ²	9999.9	該当なし（＊記入）	D040
137	備考1		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	D040
138	備考2		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	D040

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D042トンネル（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D042
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D042
3	附図対応番号		半角16 文字		D042
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D042
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D042
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D042
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D042
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D042
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D042
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D042
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D042
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バypass等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D042
13	トンネルコード		半角4文字	該当する区間のトンネルコード（整理番号1で記入した頭4桁）	D042
14	補修年月	西暦	199901	トンネルの補修を行った年月（1976年12月の場合：197612）	D042
15	補修内容C			トンネルの補修内容コード	D042
16	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	D042

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D043トンネル（占用物）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D043
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D043
3	附図対応番号		半角16 文字		D043
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D043
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D043
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D043
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D043
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D043
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D043
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D043
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D043
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D043
13	占用物件種別C			トンネル内の占用物件コード	D043
14	寸法		9999	電力及び電話：条数と段数、道路情報板・道路標識及びITV：*、これら以外：公称径	D043
15	管理者名		漢字10 文字	占用物件の管理者名（日本語）	D043

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D050洞門（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	D050
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D050
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	D050
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D050
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D050
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D050
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D050
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D050
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D050
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D050
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D050
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D050
13	名称		漢字10 文字	該当する洞門の名称又は設置箇所の地先名等（日本語）	D050
14	百米標自	k m	999.9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10.1）	D050
15	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	D050
16	百米標至	k m	999.9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15.5）	D050
17	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	D050
18	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	D050
19	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	D050
20	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	D050
21	所在地自		漢字30 文字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	D050
22	所在地至		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	D050
23	構造形式区分C			構造形式の区分コード	D050
24	使用材料C			使用材料コード	D050
25	雪荷重C			設計において雪荷重を対象としたかの有無コード	D050
26	落石荷重C			設計において落石荷重を対象としたかの有無コード	D050
27	土砂荷重C			設計において土砂荷重を対象としたかの有無コード	D050
28	その他荷重C			設計においてその他荷重を対象としたかの有無コード	D050
29	完成年月	西暦	199901	洞門が完成した年月（1986 年3月の場合：198603）	D050
30	延長	m	9999.9	洞門の延長（道路中心線上の延長）（小数点以下1位）	D050
31	建築限界高	m	9.99	洞門の内空建築限界高（小数点以下2位）	D050
32	有効高	m	9.99	洞門の内空有効高（車道端～鉛直線が壁面又は天井板と交わるまでの高さ）（小数点以下2位）	D050

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	山側躯体形式C			山側受台の躯体形式コード	D050
34	山側基礎形式C			山側受台の基礎形式コード	D050
35	谷側躯体形式C			谷側受台の躯体形式コード	D050
36	谷側基礎形式C			谷側受台の基礎形式コード	D050
37	谷側材料形式C			谷側受台の材料形式コード	D050
38	屋根材料C			屋根の材料コード	D050
39	屋根形状C			屋根の形状コード	D050
40	屋根勾配	%	99.99	屋根の勾配。なお、おがみ勾配及び複数の勾配がある場合は最急勾配（小数点以下2位）	D050
41	緩衝材種類C			緩衝材の種類コード	D050
42	緩衝材厚さ	c m	999	緩衝材の厚さ	D050
43	緩衝材面積	m 2	9999	緩衝材設置範囲の面積	D050
44	塗装面積	m 2	9999	洞門の塗装面積（のべ面積）	D050
45	道路幅	m	99.99	洞門内の道路部幅員（車道、路肩及び歩道等を加えた幅員）（小数点以下2位）	D050
46	車道幅	m	99.99	左側車道幅と右側車道幅をプラスした車道部幅員（小数点以下2位）	D050
47	歩道幅	m	99.99	左側歩道幅と右側歩道幅をプラスした歩道等幅員（小数点以下2位）	D050
48	左側歩道幅	m	99.99	洞門内の起点側から見て左側の歩道幅員（小数点以下2位）	D050
49	左側路肩幅	m	99.99	洞門内の起点側から見て左側の路肩幅（小数点以下2位）	D050
50	左側車道幅	m	99.99	洞門内の起点側から見て左側の車道幅員（小数点以下2位）	D050
51	左側車線数		9	洞門内の起点側から見て左側の車線数	D050
52	中央帯	m	99.99	洞門内の中央帯の幅員（小数点以下2位）	D050
53	中央分離帯	m	99.99	洞門内の中央分離帯の幅員（小数点以下2位）	D050
54	右側車線数		9	洞門内の起点側から見て右側の車線数	D050
55	右側車道幅	m	99.99	洞門内の起点側から見て右側の車道幅員（小数点以下2位）	D050
56	右側路肩幅	m	99.99	洞門内の起点側から見て右側の路肩幅（小数点以下2位）	D050
57	右側歩道幅	m	99.99	洞門内の起点側から見て右側の歩道幅員（小数点以下2位）	D050
58	縦断勾配符号C			洞門内の最急縦断勾配の符号コード	D050
59	縦断勾配	%	99.9	洞門内の最急縦断勾配（小数点以下1位：水平の場合「0.0」）	D050
60	直線区間長	m	9999.9	洞門内の直線区間の延べ延長（小数点以下1位）	D050
61	曲線区間長	m	9999.9	洞門内の曲線区間の延べ延長。曲線区間が複数個存在する場合は、最小曲線区間部分（小数点以下1位）	D050
62	始点側クロソイド	m	99999.9	洞門内の区間の始点側のクロソイド曲線のパラメータA1（小数点以下1位）	D050
63	曲線半径	m	99999.9	洞門内の区間に単曲線が含まれる場合、曲線半径（R）（小数点以下1位）	D050
64	終点側クロソイド	m	99999.9	洞門内の区間の終点側のクロソイド曲線のパラメータA2（小数点以下1位）	D050
65	舗装種別C			洞門内の舗装種別コード	D050

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
66	舗装厚さ	m	9.99	洞門内の舗装厚（路床面～路面までの厚さ）（小数点以下2位）	D050
67	舗装面積	m ²	99999.9	洞門内の舗装面積（小数点以下1位）	D050
68	照明有無C			洞門内の照明の有無コード	D050
69	照明種別C			該当なし（※記入）	D050
70	照明灯数		999	該当なし（※記入）	D050
71	ロードヒート有無C			洞門内及び出入口のロードヒーティング有無コード	D050
72	ロードヒート種類		半角40 文字	該当なし（※記入）	D050
73	ロードヒート延長	m	9999.9	該当なし（※記入）	D050
74	ロードヒート面積	m ²	9999.9	該当なし（※記入）	D050
75	スノーシェッド併用C			洞門がスノーシェッドと併用か否かのコード	D050
76	備考1		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「※」を入力	D050
77	備考2		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「※」を入力	D050
78	市区町村自C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D050
79	市区町村至C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D050

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D052洞門（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D052
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D052
3	附図対応番号		半角16 文字		D052
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D052
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D052
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D052
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D052
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D052
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D052
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D052
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D052
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D052
13	補修年月	西暦	199901	洞門の補修を行った年月（1976年12月の場合：197612）	D052
14	補修内容C			洞門の補修内容コード	D052
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	D052

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D053洞門（占用物）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D053
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D053
3	附図対応番号		半角16 文字		D053
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D053
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D053
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D053
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D053
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D053
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D053
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D053
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D053
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D053
13	占用物件種別C			洞門内の占用物件コード	D053
14	寸法		9999	電力及び電話：条数と段数、道路情報板・道路標識及びITV：*、これら以外：公称径	D053
15	管理者名		漢字10 文字	占用物件の管理者名（日本語）	D053

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D060スノーシェッド（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	D060
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D060
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	D060
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D060
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D060
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D060
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D060
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D060
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D060
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D060
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D060
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D060
13	名称		漢字10 文字	該当するスノーシェッド名称又は設置箇所の地先名等（日本語）	D060
14	百米標自	k m	999.9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10.1）	D060
15	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	D060
16	百米標至	k m	999.9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15.5）	D060
17	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	D060
18	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	D060
19	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	D060
20	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	D060
21	所在地自		漢字30 文字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	D060
22	所在地至		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	D060
23	構造形式区分C			構造形式の区分コード	D060
24	使用材料C			使用材料コード	D060
25	雪荷重C			設計において雪荷重を対象としたかの有無コード	D060
26	落石荷重C			設計において落石荷重を対象としたかの有無コード	D060
27	土砂荷重C			設計において土砂荷重を対象としたかの有無コード	D060
28	その他荷重C			設計においてその他荷重を対象としたかの有無コード	D060
29	完成年月	西暦	199901	スノーシェッドが完成した年月（1986 年3月の場合：198603）	D060
30	延長	m	9999.9	スノーシェッドの延長（道路中心線上の延長）（小数点以下1位）	D060
31	建築限界高	m	9.99	スノーシェッドの内空建築限界高（小数点以下2位）	D060
32	有効高	m	9.99	スノーシェッドの内空有効高（車道端～鉛直線が壁面又は天井板と交わるまでの高さ）（小数点以下2位）	D060

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	山側躯体形式C			山側受台の躯体形式コード	D060
34	山側基礎形式C			山側受台の基礎形式コード	D060
35	谷側躯体形式C			谷側受台の躯体形式コード	D060
36	谷側基礎形式C			谷側受台の基礎形式コード	D060
37	谷側材料形式C			谷側受台の材料形式コード	D060
38	屋根材料C			屋根の材料コード	D060
39	屋根形状C			屋根の形状コード	D060
40	屋根勾配	%	99.99	屋根の勾配。なお、おがみ勾配及び複数の勾配がある場合は最急勾配（小数点以下2位）	D060
41	緩衝材種類C			緩衝材の種類コード	D060
42	緩衝材厚さ	c m	999	緩衝材の厚さ	D060
43	緩衝材面積	m 2	9999	緩衝材設置の平面積	D060
44	塗装面積	m 2	9999	スノーシェッドの塗装面積（のべ面積）	D060
45	道路幅	m	99.99	スノーシェッド内の道路部幅員（車道、路肩及び歩道等を加えた幅員）（小数点以下2位）	D060
46	車道幅	m	99.99	左側車道幅と右側車道幅をプラスした車道部幅員（小数点以下2位）	D060
47	歩道幅	m	99.99	左側歩道幅と右側歩道幅をプラスした歩道等幅員（小数点以下2位）	D060
48	左側歩道幅	m	99.99	スノーシェッド内の起点側から見て左側の歩道幅員（小数点以下2位）	D060
49	左側路肩幅	m	99.99	スノーシェッド内の起点側から見て左側の路肩幅（小数点以下2位）	D060
50	左側車道幅	m	99.99	スノーシェッド内の起点側から見て左側の車道幅員（小数点以下2位）	D060
51	左側車線数	m	9	スノーシェッド内の起点側から見て左側の車線数	D060
52	中央帯	m	99.99	スノーシェッド内の中央帯の幅員（小数点以下2位）	D060
53	中央分離帯	m	99.99	スノーシェッド内の中央分離帯の幅員（小数点以下2位）	D060
54	右側車線数	m	9	スノーシェッド内の起点側から見て右側の車線数	D060
55	右側車道幅	m	99.99	スノーシェッド内の起点側から見て右側の車道幅員（小数点以下2位）	D060
56	右側路肩幅	m	99.99	スノーシェッド内の起点側から見て右側の路肩幅（小数点以下2位）	D060
57	右側歩道幅	m	99.99	スノーシェッド内の起点側から見て右側の歩道幅員（小数点以下2位）	D060
58	縦断勾配符号C			スノーシェッド内の最急縦断勾配の符号コード	D060
59	縦断勾配	%	99.9	スノーシェッド内の最急縦断勾配（小数点以下1位：水平の場合「0.0」）	D060
60	直線区間長	m	9999.9	スノーシェッド内の直線区間の延べ延長（小数点以下1位）	D060
61	曲線区間長	m	9999.9	スノーシェッド内の曲線区間の延べ延長。複数個存在する場合は、最小曲線区間部分（小数点以下1位）	D060
62	始点側クロソイド	m	99999.9	スノーシェッド内の区間の始点側のクロソイド曲線のパラメータA1（小数点以下1位）	D060
63	曲線半径	m	99999.9	スノーシェッド内の区間に単曲線が含まれる場合、曲線半径（R）（小数点以下1位）	D060
64	終点側クロソイド	m	99999.9	スノーシェッド内の区間の終点側のクロソイド曲線のパラメータA2（小数点以下1位）	D060
65	舗装種別C			スノーシェッド内の舗装種別コード	D060

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目

※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
66	舗装厚さ	m	9.99	スノーシェッド内の舗装厚（路床面～路面までの厚さ）（小数点以下2位）	D060
67	舗装面積	m ²	99999.9	スノーシェッド内の舗装面積（小数点以下1位）	D060
68	照明有無C			スノーシェッド内の照明の有無コード	D060
69	照明種別C			該当なし（※記入）	D060
70	照明灯数		999	該当なし（※記入）	D060
71	ロードヒート有無C			スノーシェッド内及び出入口のロードヒーティング有無コード	D060
72	ロードヒート種類		半角40 文字	該当なし（※記入）	D060
73	ロードヒート延長	m	9999.9	該当なし（※記入）	D060
74	ロードヒート面積	m ²	9999.9	該当なし（※記入）	D060
75	洞門併用C			スノーシェッドが洞門と併用か否かのコード	D060
76	備考1		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「※」を入力	D060
77	備考2		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「※」を入力	D060
78	市区町村自C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D060
79	市区町村至C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D060

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D062スノーシェッド（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D062
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D062
3	附図対応番号		半角16 文字		D062
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D062
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D062
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D062
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D062
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D062
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D062
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D062
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D062
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D062
13	補修年月	西暦	199901	スノーシェッドの補修を行った年月（1976年12月の場合：197612）	D062
14	補修内容C			スノーシェッドの補修内容コード	D062
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	D062

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D063スノーシェッド（占用物）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D063
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D063
3	附図対応番号		半角16 文字		D063
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D063
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D063
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D063
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D063
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D063
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D063
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D063
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D063
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バ イ ス 等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D063
13	占用物件種別C			スノーシェッド内の占用物件コード	D063
14	寸法		9999	電力及び電話：条数と段数、道路情報板・道路標識及びITV：*、これら以外：公称径	D063
15	管理者名		漢字10 文字	占用物件の管理者名（日本語）	D063

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D070地下横断歩道（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	D070
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D070
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	D070
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D070
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D070
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D070
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D070
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D070
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D070
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D070
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D070
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	D070
13	名称		漢字10 文字	該当する地下横断歩道の名称又は設置箇所の地先名等（日本語）	D070
14	百米標自	k m	999.9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10.1）	D070
15	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	D070
16	百米標至	k m	999.9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15.5）	D070
17	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	D070
18	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	D070
19	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	D070
20	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	D070
21	所在地		漢字30 文字	該当区間の所在地（字番地まで）	D070
22	地下歩道種別C			地下歩道の種別コード	D070
23	工場製品場所打別C			工場製品・場所打の別コード	D070
24	昇降形式C			代表的な昇降形式区分コード	D070
25	設置状況 a C			地下歩道の設置状況コード（交差点の手前または単路）	D070
26	設置状況 b C			地下歩道の設置状況コード（交差点を通過した位置）	D070
27	設置状況 c C			地下歩道の設置状況コード（国道の左側）	D070
28	設置状況 d C			地下歩道の設置状況コード（国道の右側）	D070
29	設置状況 e C			地下歩道の設置状況コード（上記 a ～ d 以外）	D070
30	完成年次	西暦	1999	地下歩道の完成年次（1998 年次の場合：1998）	D070
31	建設方式C			建設費目コード	D070
32	延長	m	999.9	地下歩道の出入口～出入口までの平面上の水平距離（小数点以下1位）	D070

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	内空幅	m	99.99	内空寸法の幅（小数点以下2位）	D070
34	内空高	m	9.9	内空寸法の高さ（路面より天井まで）（小数点以下1位）	D070
35	最大土被り	m	99.9	土被り厚の最大値（土被りが一定の場合は、最大、最小土被りは同値を記入）（小数点以下1位）	D070
36	最小土被り	m	99.9	土被り厚の最小値（土被りが一定の場合は、最大、最小土被りは同値を記入）（小数点以下1位）	D070
37	斜角	度	99	地下歩道の道路中心線に対する交差角	D070
38	基礎種類C			地下歩道の基礎の種類コード	D070
39	基礎本数		999	地下歩道の杭基礎の杭本数	D070
40	舗装種別C			地下歩道の舗装種別コード	D070
41	舗装厚	c m	99	地下歩道の舗装厚	D070
42	舗装面積	m ²	999999	地下歩道の舗装面積	D070
43	内壁種類C			地下歩道の内壁の種類コード	D070
44	換気種別C			地下歩道内の換気種別コード	D070
45	換気方式C			地下歩道が強制（機械）換気の場合の換気方式コード	D070
46	換気台数		99	地下歩道が強制（機械）換気の場合の換気機械の所要台数	D070
47	排水方式C			地下歩道内の代表的な排水方式コード	D070
48	排水ポンプ台数		99	地下歩道内に設置されている排水ポンプの全台数	D070
49	排水電源C			地下歩道内の排水ポンプの電源コード	D070
50	排水ビット大きさ	m ³	999	地下歩道の排水ビット容量	D070
51	排水管理者名		漢字15 文字	地下歩道内の排水施設の管理者名（日本語）	D070
52	手すりC			地下歩道内の安全施設で手すりの有無コード	D070
53	すべり止めC			地下歩道内の安全施設ですべり止めの有無コード	D070
54	身障者用施設C			地下歩道内の安全施設で身障者用施設の有無コード	D070
55	防犯施設C			地下歩道内の安全施設で防犯施設の有無コード	D070
56	その他安全施設C			地下歩道内のその他安全施設の有無コード	D070
57	エスカレータ有無C			地下歩道内のエスカレータの有無コード	D070
58	エスカレータ基数		9	エスカレータの基数	D070
59	エスカレータ占用別C			エスカレータの占用別コード	D070
60	エレベータ有無C			地下歩道内のエレベータの有無コード	D070
61	エレベータ基数		9	エレベータの基数	D070
62	エレベータ占用別C			エレベータの占用別コード	D070
63	広場有無C			広場の有無コード	D070
64	噴水有無C			噴水の有無コード	D070
65	植樹有無C			植樹の有無コード	D070

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
66	通学路指定有無C			通学路指定の有無コード	D070
67	通学路指定年月日	西暦	19990101	通学路指定になった年月日（1984 年 5 月 5 日の場合：19840505）	D070
68	管理協定有無C			管理協定の有無コード	D070
69	協定年月日	西暦	19990101	管理協定がなされた年月日（1984年 3 月15日の場合：19840315）	D070
70	協定先名		漢字10 文字	協定先名（日本語）	D070
71	照明C			地下歩道の照明の有無コード	D070
72	照明種別C			該当なし（※記入）	D070
73	照明灯数		999	該当なし（※記入）	D070
74	ロードヒーティング有無C			地下歩道内のロードヒーティングの有無コード	D070
75	ロードヒーティング種別		半角40 文字	該当なし（※記入）	D070
76	ロードヒーティング延長	m	999.9	該当なし（※記入）	D070
77	ロードヒーティング面積	m ²	99999	該当なし（※記入）	D070
78	備考1		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「※」を入力	D070
79	備考2		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「※」を入力	D070
80	備考3		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「※」を入力	D070
81	市区町村自C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D070
82	市区町村至C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D070

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D072地下横断歩道（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D072
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D072
3	附図対応番号		半角16 文字		D072
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D072
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D072
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D072
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D072
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D072
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D072
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D072
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D072
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D072
13	補修年月	西暦	199901	地下歩道の補修を行った年月（1985年10月の場合：198510）	D072
14	補修内容C			地下歩道の補修内容コード	D072
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	D072

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D073地下横断歩道（占用物）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D073
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D073
3	附図対応番号		半角16 文字		D073
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D073
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D073
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D073
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D073
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D073
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D073
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D073
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D073
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バ`イ`ス 等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D073
13	占用物件種別C			地下歩道内の占用物件コード	D073
14	寸法		9999	電力及び電話：条数と段数、道路情報板・道路標識及びITV：*、これら以外：公称径	D073
15	管理者名		漢字10 文字	占用物件の管理者名（日本語）	D073

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D080道路BOX等（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	D080
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D080
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	D080
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D080
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D080
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D080
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D080
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D080
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D080
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D080
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D080
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D080
13	名称		漢字10 文字	該当する道路BOX等の名称又は設置箇所の地先名等（日本語）	D080
14	百米標自	k m	999.9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10.1）	D080
15	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	D080
16	百米標至	k m	999.9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15.5）	D080
17	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	D080
18	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	D080
19	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	D080
20	完成年月	西暦	199901	道路BOXが完成した年月（1986 年3月の場合：198603）	D080
21	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	D080
22	所在地自		漢字30 文字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	D080
23	所在地至		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	D080
24	構造形式種別C			構造形式の種別コード	D080
25	工場製品場所打別C			工場製品、場所別の別コード	D080
26	延長	m	99999.9	道路BOXの延長（構造物の道路中心の縦方向の延長）（小数点以下1位）	D080
27	道路部	m	99999.99	道路BOXの道路部幅員（車道、路肩及び歩道を加えた延長）（小数点以下2位）	D080
28	内空車道幅	m	99.99	左側車道幅と右側車道幅をプラスした車道部幅員（小数点以下2位）	D080
29	内空歩道等幅	m	99.99	左側歩道幅と右側歩道幅をプラスした歩道等幅員（小数点以下2位）	D080
30	左側歩道幅	m	99.99	道路BOXの起点から見て左側の内空歩道幅員（小数点以下2位）	D080
31	左側路肩幅	m	99.99	道路BOXの起点から見て左側の内空路肩幅（小数点以下2位）	D080
32	左側車道幅	m	99.99	道路BOXの起点から見て左側の内空車道幅員（小数点以下2位）	D080

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	左側車線数		9	道路BOXの起点から見て左側の車線数（小数点以下1位）	D080
34	中央帯	m	99.99	道路BOXの中央帯の幅員（小数点以下2位）	D080
35	中央分離帯	m	99.99	道路BOXの中央分離帯の幅員（小数点以下2位）	D080
36	右側車線数		9	道路BOXの起点から見て右側の車線数（小数点以下1位）	D080
37	右側車道幅	m	99.99	道路BOXの起点から見て右側の内空車道幅員（小数点以下2位）	D080
38	右側路肩幅	m	99.99	道路BOXの起点から見て右側の内空路肩幅（小数点以下2位）	D080
39	右側歩道幅	m	99.99	道路BOXの起点から見て右側の内空歩道幅員（小数点以下2位）	D080
40	中央高	m	9.99	内空断面の中央高（小数点以下2位）	D080
41	建築限界高	m	99.99	内空断面の建築限界高（小数点以下2位）	D080
42	有効高	m	99.99	内空断面の有効高（車道端からの鉛直線が壁面または天井と交わる高さ）（小数点以下2位）	D080
43	最大土被り	m	99.9	該当する区間の土被り厚の最大値（土被りが一定の場合は、最大、最小土被りは同値を記入）	D080
44	最小土被り	m	99.9	該当する区間の土被り厚の最小値（土被りが一定の場合は、最大、最小土被りは同値を記入）	D080
45	基礎種類C			道路BOXの基礎の種類コード	D080
46	基礎本数	本	999	道路BOXの基礎の杭本数	D080
47	基礎杭径	m	9.99	道路BOXの基礎の杭径（小数点以下2位）	D080
48	換気種別C			道路BOX内の換気種別コード	D080
49	換気方式C			強制（機械）換気の場合は換気方式コード	D080
50	換気台数	台	99	道路BOXが強制（機械）換気の場合の換気機械の所要台数	D080
51	排水種別C			道路BOX内の排水種別コード	D080
52	排水ポンプ台数		99	道路BOX内に設置されている排水ポンプの全台数	D080
53	排水電源C			道路BOX内の排水ポンプの電源コード	D080
54	排水ピット大きさ	m ³	999	道路BOX内の排水ピット容量	D080
55	排水施設管理者		漢字15 文字	道路BOX内の排水施設の管理者名（日本語）	D080
56	通学路指定有無C			通学路指定の有無コード	D080
57	通学路指定年月日	西暦	19990101	通学路指定になった年月日（1984年5月5日の場合：19840505）	D080
58	管理協定有無C			管理協定の有無コード	D080
59	協定年月日	西暦	19990101	管理協定がなされた年月日（1984年3月15日の場合：19840315）	D080
60	協定先名		漢字10 文字	協定先名（日本語）	D080
61	現況C			道路BOXの現況コード	D080
62	通行制限内容		漢字25 文字	通行制限の内容（日本語）	D080
63	縦断勾配符号C			道路BOX内の最急縦断勾配の符号コード	D080
64	縦断勾配	%	99.9	道路BOXの最急縦断勾配（小数点以下1位：水平の場合「0.0」）	D080
65	直線区間長	m	9999.9	道路BOXの直線区間の延べ延長（小数点以下1位）	D080

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
66	曲線区間長	m	9999.9	道路BOXの曲線区間の延べ延長。複数個存在する場合は、最小曲線区間部分（小数点以下1位）	D080
67	始点側クロソイド	m	99999.9	道路BOX区間の始点側のクロソイド曲線のパラメータA1（小数点以下1位）	D080
68	曲線半径	m	99999.9	道路BOXの区間に単曲線が含まれる場合、曲線半径（R）（小数点以下1位）	D080
69	終点側クロソイド	m	99999.9	道路BOXの区間の終点側のクロソイド曲線のパラメータA2（小数点以下1位）	D080
70	舗装種別C			道路BOXの舗装種別コード	D080
71	舗装厚	c m	99	道路BOXの舗装厚（路床面～路面までの厚さ）（小数点以下2位）	D080
72	舗装面積	m ²	999999	道路BOXの舗装面積（小数点以下1位）	D080
73	照明有無C			道路BOXの照明の有無コード	D080
74	照明種別C			該当なし（※記入）	D080
75	照明灯数		999	該当なし（※記入）	D080
76	ロードヒート有無C			道路BOX及び出入口のロードヒーティング有無コード	D080
77	ロードヒート種類		半角40 文字	該当なし（※記入）	D080
78	ロードヒート延長	m	9999.9	該当なし（※記入）	D080
79	ロードヒート面積	m ²	99999	該当なし（※記入）	D080
80	備考1		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「※」を入力	D080
81	備考2		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「※」を入力	D080
82	備考3		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「※」を入力	D080
83	市区町村自C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D080
84	市区町村至C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D080

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D082道路BOX等（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D082
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D082
3	附図対応番号		半角16 文字		D082
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D082
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D082
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D082
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D082
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D082
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D082
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D082
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D082
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D082
13	補修年月	西暦	199901	道路BOXの補修を行った年月（1985 年 5 月の場合：198505）	D082
14	補修内容C			道路BOXの補修内容コード	D082
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	D082

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D083道路BOX等（占用物）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D083
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D083
3	附図対応番号		半角16 文字		D083
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D083
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D083
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D083
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D083
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D083
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D083
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D083
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D083
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D083
13	占用物件種別C			洞門内の占用物件コード	D083
14	寸法		9999	電力及び電話：条数と段数、道路情報板・道路標識及びITV：*、これら以外：公称径	D083
15	管理者名		漢字10 文字	占用物件の管理者名（日本語）	D083

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D090横断ＢＯＸ等（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	D090
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D090
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	D090
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D090
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D090
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D090
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D090
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D090
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D090
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D090
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D090
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（ハバズ等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D090
13	名称		漢字10 文字	該当する横断ＢＯＸ等の名称又は設置箇所の地先名等（日本語）	D090
14	百米標	k m	999.9	該当する施設の直前にある百米標（例：10.1）	D090
15	距離	m	9999	該当する施設の直前にある百米標からの距離	D090
16	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	D090
17	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	D090
18	完成年月	西暦	199901	横断ＢＯＸ等が完成した年月（1986 年3月の場合：198603）	D090
19	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	D090
20	所在地		漢字30 文字	該当区間の所在地（字番地まで）	D090
21	設置区分C			横断ＢＯＸ等の設置区分コード	D090
22	構造形式種別C			横断ＢＯＸ等の構造形式種別コード	D090
23	工場製品場所打別C			工場製品、場所打の別コード	D090
24	延長	m	9999.9	横断ＢＯＸ等の延長（構造物の道路中心の縦方向の延長）（小数点以下1位）	D090
25	内空幅	m	99.99	内空寸法の幅（小数点以下2位）	D090
26	内空高	m	9.99	内空寸法の高さ（路面より天井まで）（小数点以下1位）	D090
27	最大土被り	m	99.9	土被り厚の最大値（土被りが一定の場合は、最大、最小土被りは同値を記入）（小数点以下1位）	D090
28	最小土被り	m	99.9	土被り厚の最小値（土被りが一定の場合は、最大、最小土被りは同値を記入）（小数点以下1位）	D090
29	基礎種類C			横断ＢＯＸ等の代表的な基礎の種類コード	D090
30	基礎本数	本	999	横断ＢＯＸ等の杭本数	D090
31	基礎杭径	m	9.99	横断ＢＯＸ等の杭径（小数点以下2位）	D090
32	舗装種別C			横断ＢＯＸ等の舗装種別コード	D090

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	舗装厚	c m	99	横断B O X等の舗装厚（表層）	D090
34	舗装面積	m 2	999999	横断B O X等の舗装面積	D090
35	斜角	度	99	横断B O X等の道路中心線に対する交差角（角度は最鋭角）	D090
36	標準設計適用番号		半角15 文 字	横断B O X等が建設省制定土木構造物標準設計を利用して構築されている場合の図 面番号（記号）	D090
37	通学路指定有無C			通学路指定の有無コード	D090
38	通学路指定年月日	西暦	19990101	通学路指定になった年月日（1984 年 5 月 5 日の場合：19840505）	D090
39	管理協定有無C			管理協定の有無コード	D090
40	協定年月日	西暦	19990101	協定がなされた年月日（1984年 3 月 15 日の場合：19840315）	D090
41	協定先名		漢字10 文 字	協定先名（日本語）	D090
42	現況C			横断B O Xの現況コード	D090
43	通行制限内容		漢字25 文 字	通行制限の内容（日本語）	D090
44	照明有無C			照明の有無コード	D090
45	照明種別C			該当なし（＊記入）	D090
46	照明灯数		999	該当なし（＊記入）	D090
47	ロードヒート有無C			横断B O X及び出入口のロードヒーティング有無コード	D090
48	ロードヒート種別		半角40 文 字	該当なし（＊記入）	D090
49	ロードヒート延長	m	9999. 9	該当なし（＊記入）	D090
50	ロードヒート面積	m 2	99999	該当なし（＊記入）	D090
51	備考 1		漢字50 文 字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	D090
52	備考 2		漢字50 文 字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	D090
53	備考 3		漢字50 文 字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	D090
54	市区町村C			該当する施設のある市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D090

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D092横断ＢＯＸ等（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D092
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D092
3	附図対応番号		半角16 文字		D092
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D092
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D092
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D092
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D092
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D092
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D092
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D092
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D092
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	D092
13	補修年月	西暦	199901	横断ＢＯＸの補修を行った年月（1985年10月の場合：198510）	D092
14	補修内容C			横断ＢＯＸの補修内容コード	D092
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	D092

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D093横断BOX等（占用物）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D093
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D093
3	附図対応番号		半角16 文字		D093
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D093
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D093
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D093
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D093
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D093
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D093
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D093
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D093
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バypass等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D093
13	占用物件種別C			横断BOXの占用物件コード	D093
14	寸法		9999	電力及び電話：条数と段数、道路情報板・道路標識及びITV：*、これら以外：公称径	D093
15	管理者名		漢字10 文字	占用物件の管理者名（日本語）	D093

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D100パイプカルバート（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	D100
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D100
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	D100
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D100
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D100
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D100
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D100
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D100
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D100
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D100
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D100
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	D100
13	名称		漢字10 文字	該当するパイプカルバートの名称又は設置箇所の地先名等（日本語）	D100
14	百米標自	k m	999. 9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10. 1）	D100
15	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	D100
16	百米標至	k m	999. 9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15. 5）	D100
17	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	D100
18	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	D100
19	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	D100
20	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	D100
21	所在地		漢字30 文字	該当区間の所在地（字番地まで）	D100
22	設置区分C			パイプカルバートの設置区分コード	D100
23	形式種別C			パイプカルバートの形式種別コード	D100
24	使用用途C			使用用途コード	D100
25	管径	m m	9999	パイプカルバートの管径（公称径）	D100
26	最大土被り	m	99. 9	土被り厚の最大値（土被りが一定の場合は、最大、最小土被りは同値を記入）（小数点以下1位）	D100
27	最小土被り	m	99. 9	土被り厚の最小値（土被りが一定の場合は、最大、最小土被りは同値を記入）（小数点以下1位）	D100
28	延長	m	9999	パイプカルバートの延長（のべ延長）	D100
29	構造区分C			パイプカルバートの材質コード	D100
30	基礎形式C			パイプカルバートの基礎形式コード	D100
31	管理協定有無C			管理協定の有無コード	D100
32	協定年月日	西暦	19990101	管理協定がなされた年月日（1984年3月15日の場合：19840315）	D100

道路施設基本データ入力フォーマット

※ 1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※ 2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	管理者名		漢字15 文 字	管理者名（日本語）	D100
34	備考		漢字50 文 字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	D100
35	市区町村自 C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D100
36	市区町村至 C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D100

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D102パイプカルバート（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D102
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D102
3	附図対応番号		半角16 文字		D102
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D102
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D102
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D102
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D102
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D102
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D102
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D102
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D102
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D102
13	補修年月	西暦	199901	パイプカルバートの補修を行った年月（1985年10月の場合：198510）	D102
14	補修内容C			パイプカルバートの補修内容コード	D102
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	D102

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D110のり面・斜面（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	D110
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D110
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	D110
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D110
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D110
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D110
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D110
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D110
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D110
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D110
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D110
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D110
13	名称		漢字10 文字	該当する区間の道路のり面の名称又は設置箇所の地先名等（日本語）	D110
14	百米標自	k m	999.9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10.1）	D110
15	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	D110
16	百米標至	k m	999.9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15.5）	D110
17	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	D110
18	市区町村自C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D110
19	所在地自		漢字30 文字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	D110
20	市区町村至C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D110
21	所在地至		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	D110
22	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	D110
23	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	D110
24	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	D110
25	のり面斜面分類C			のり面・斜面の分類コード	D110
26	規制区間内外別C			降雨に対する通行規制区間内外別コード	D110
27	のり面最大直高	m	999	のり面・斜面区間内におけるのり面の最大値（のり尻の構造物も含めた直高）	D110
28	のり面平均勾配		9.99	のり面・斜面区間内におけるのり面の平均勾配（最下段～最頂）（小数点以下2位）	D110
29	落石対策工工種区分1C			1種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の工種コード	D110
30	落石対策工高さ厚さ1	m	999.9	1種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の高さ及び厚さ（小数点以下1位）	D110
31	落石対策工幅1	m	999.9	1種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の幅（小数点以下1位）	D110
32	落石対策工直径1	m	999.9	1種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の直径（小数点以下1位）	D110

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	落石対策工面積 1	m ²	999999	1 種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の面積	D110
34	落石対策工延長 1	m	9999	1 種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の延長	D110
35	落石対策工個数段数 1		99	1 種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の個数及び段数	D110
36	落石対策工完成年月 1	西暦	199901	1 種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の完成年月（平成 9 年 3 月の場合：199703）	D110
37	落石対策工工種区分 2 C			2 種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の工種コード	D110
38	落石対策工高さ厚さ 2	m	999.9	2 種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の高さ及び厚さ（小数点以下 1 位）	D110
39	落石対策工幅 2	m	999.9	2 種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の幅（小数点以下 1 位）	D110
40	落石対策工直径 2	m	999.9	2 種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の直径（小数点以下 1 位）	D110
41	落石対策工面積 2	m ²	999999	2 種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の面積	D110
42	落石対策工延長 2	m	9999	2 種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の延長	D110
43	落石対策工個数段数 2		99	2 種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の個数及び段数	D110
44	落石対策工完成年月 2	西暦	199901	2 種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の完成年月（平成 9 年 3 月の場合：199703）	D110
45	落石対策工工種区分 3 C			3 種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の工種コード	D110
46	落石対策工高さ厚さ 3	m	999.9	3 種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の高さ及び厚さ（小数点以下 1 位）	D110
47	落石対策工幅 3	m	999.9	3 種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の幅（小数点以下 1 位）	D110
48	落石対策工直径 3	m	999.9	3 種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の直径（小数点以下 1 位）	D110
49	落石対策工面積 3	m ²	999999	3 種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の面積	D110
50	落石対策工延長 3	m	9999	3 種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の延長	D110
51	落石対策工個数段数 3		99	3 種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の個数及び段数	D110
52	落石対策工完成年月 3	西暦	199901	3 種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の完成年月（平成 9 年 3 月の場合：199703）	D110
53	表面排水工工種区分 1 C			1 種類目ののり面排水工のうち表面排水工の工種コード	D110
54	表面排水工高さ厚さ 1	m	999.9	1 種類目ののり面排水工のうち表面排水工の高さ及び厚さ（小数点以下 1 位）	D110
55	表面排水工幅 1	m	999.9	1 種類目ののり面排水工のうち表面排水工の幅（小数点以下 1 位）	D110
56	表面排水工直径 1	m	999.9	1 種類目ののり面排水工のうち表面排水工の直径（小数点以下 1 位）	D110
57	表面排水工面積 1	m ²	999999	1 種類目ののり面排水工のうち表面排水工の面積	D110
58	表面排水工延長 1	m	9999	1 種類目ののり面排水工のうち表面排水工の延長	D110
59	表面排水工個数段数 1		99	1 種類目ののり面排水工のうち表面排水工の個数及び段数	D110
60	表面排水工完成年月 1	西暦	199901	1 種類目ののり面排水工のうち表面排水工の完成年月（平成 9 年 3 月の場合：199703）	D110
61	表面排水工工種区分 2 C			2 種類目ののり面排水工のうち表面排水工の工種コード	D110
62	表面排水工高さ厚さ 2	m	999.9	2 種類目ののり面排水工のうち表面排水工の高さ及び厚さ（小数点以下 1 位）	D110
63	表面排水工幅 2	m	999.9	2 種類目ののり面排水工のうち表面排水工の幅（小数点以下 1 位）	D110
64	表面排水工直径 2	m	999.9	2 種類目ののり面排水工のうち表面排水工の直径（小数点以下 1 位）	D110
65	表面排水工面積 2	m ²	999999	2 種類目ののり面排水工のうち表面排水工の面積	D110

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
66	表面排水工延長 2	m	9999	2 種類目ののり面排水工のうち表面排水工の延長	D110
67	表面排水工個数段数 2		99	2 種類目ののり面排水工のうち表面排水工の個数及び段数	D110
68	表面排水工完成年月 2	西暦	199901	2 種類目ののり面排水工のうち表面排水工の完成年月（平成 9 年 3 月の場合：199703）	D110
69	地下排水工工種区分 1 C			1 種類目ののり面排水工のうち地下排水工の工種コード	D110
70	地下排水工高さ厚さ 1	m	999.9	1 種類目ののり面排水工のうち地下排水工の高さ及び厚さ（小数点以下 1 位）	D110
71	地下排水工幅 1	m	999.9	1 種類目ののり面排水工のうち地下排水工の幅（小数点以下 1 位）	D110
72	地下排水工直径 1	m	999.9	1 種類目ののり面排水工のうち地下排水工の直径（小数点以下 1 位）	D110
73	地下排水工面積 1	m ²	999999	1 種類目ののり面排水工のうち地下排水工の面積	D110
74	地下排水工延長 1	m	9999	1 種類目ののり面排水工のうち地下排水工の延長	D110
75	地下排水工個数段数 1		99	1 種類目ののり面排水工のうち地下排水工の個数及び段数	D110
76	地下排水工完成年月 1	西暦	199901	1 種類目ののり面排水工のうち地下排水工の完成年月（平成 9 年 3 月の場合：199703）	D110
77	地下排水工工種区分 2 C			2 種類目ののり面排水工のうち地下排水工の工種コード	D110
78	地下排水工高さ厚さ 2	m	999.9	2 種類目ののり面排水工のうち地下排水工の高さ及び厚さ（小数点以下 1 位）	D110
79	地下排水工幅 2	m	999.9	2 種類目ののり面排水工のうち地下排水工の幅（小数点以下 1 位）	D110
80	地下排水工直径 2	m	999.9	2 種類目ののり面排水工のうち地下排水工の直径（小数点以下 1 位）	D110
81	地下排水工面積 2	m ²	999999	2 種類目ののり面排水工のうち地下排水工の面積	D110
82	地下排水工延長 2	m	9999	2 種類目ののり面排水工のうち地下排水工の延長	D110
83	地下排水工個数段数 2		99	2 種類目ののり面排水工のうち地下排水工の個数及び段数	D110
84	地下排水工完成年月 2	西暦	199901	2 種類目ののり面排水工のうち地下排水工の完成年月（平成 9 年 3 月の場合：199703）	D110
85	路面排水工工種区分 1 C			1 種類目の路面排水工の工種コード	D110
86	路面排水工高さ厚さ 1	m	999.9	1 種類目の路面排水工の高さ及び厚さ（小数点以下 1 位）	D110
87	路面排水工幅 1	m	999.9	1 種類目の路面排水工の幅（小数点以下 1 位）	D110
88	路面排水工直径 1	m	999.9	1 種類目の路面排水工の直径（小数点以下 1 位）	D110
89	路面排水工面積 1	m ²	999999	1 種類目の路面排水工の面積	D110
90	路面排水工延長 1	m	9999	1 種類目の路面排水工の延長	D110
91	路面排水工個数段数 1		99	1 種類目の路面排水工の個数及び段数	D110
92	路面排水工完成年月 1	西暦	199901	1 種類目の路面排水工の完成年月（平成 9 年 3 月の場合：199703）	D110
93	路面排水工工種区分 2 C			2 種類目の路面排水工の工種コード	D110
94	路面排水工高さ厚さ 2	m	999.9	2 種類目の路面排水工の高さ及び厚さ（小数点以下 1 位）	D110
95	路面排水工幅 2	m	999.9	2 種類目の路面排水工の幅（小数点以下 1 位）	D110
96	路面排水工直径 2	m	999.9	2 種類目の路面排水工の直径（小数点以下 1 位）	D110
97	路面排水工面積 2	m ²	999999	2 種類目の路面排水工の面積	D110
98	路面排水工延長 2	m	9999	2 種類目の路面排水工の延長	D110

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
99	路面排水工個数段数 2		99	2 種類目の路面排水工の個数及び段数	D110
100	路面排水工完成年月 2	西暦	199901	2 種類目の路面排水工の完成年月（平成 9 年 3 月の場合：199703）	D110
101	植生状況 C			のり面・斜面の植生工の完成後の状況コード	D110
102	水状況 C			のり面・斜面の湧水等の状況コード	D110
103	湧水量	l / 分	999	のり面・斜面の湧水量（水の状況 C で「湧水有」の場合のみ）	D110
104	のり段数		99	のり面・斜面ののり面を構成しているのり段数（単一のり面は「1」段）	D110
105	1 段目直高	m	99	のり面を構成している最下段（1 段目）の直高	D110
106	1 段目勾配		9. 99	のり面を構成している最下段（1 段目）ののり面勾配	D110
107	1 段目小段幅	m	9. 9	のり面を構成している最下段（1 段目）の道路に対して直交方向の水平幅（小数点以下 1 位）	D110
108	2 段目直高	m	99	のり面を構成している 2 段目の直高	D110
109	2 段目勾配		9. 99	のり面を構成している 2 段目ののり面勾配	D110
110	2 段目小段幅	m	9. 9	のり面を構成している 2 段目の道路に対して直交方向の水平幅（小数点以下 1 位）	D110
111	3 段目直高	m	99	のり面を構成している 3 段目の直高	D110
112	3 段目勾配		9. 99	のり面を構成している 3 段目ののり面勾配	D110
113	3 段目小段幅	m	9. 9	のり面を構成している 3 段目の道路に対して直交方向の水平幅（小数点以下 1 位）	D110
114	4 段目直高	m	99	のり面を構成している 4 段目の直高	D110
115	4 段目勾配		9. 99	のり面を構成している 4 段目ののり面勾配	D110
116	4 段目小段幅	m	9. 9	のり面を構成している 4 段目の道路に対して直交方向の水平幅（小数点以下 1 位）	D110
117	5 段目直高	m	99	のり面を構成している 5 段目の直高	D110
118	5 段目勾配		9. 99	のり面を構成している 5 段目ののり面勾配	D110
119	5 段目小段幅	m	9. 9	のり面を構成している 5 段目の道路に対して直交方向の水平幅（小数点以下 1 位）	D110
120	6 段目直高	m	99	のり面を構成している 6 段目の直高	D110
121	6 段目勾配		9. 99	のり面を構成している 6 段目ののり面勾配	D110
122	6 段目小段幅	m	9. 9	のり面を構成している 6 段目の道路に対して直交方向の水平幅（小数点以下 1 位）	D110
123	7 段目直高	m	99	のり面を構成している 7 段目の直高	D110
124	7 段目勾配		9. 99	のり面を構成している 7 段目ののり面勾配	D110
125	7 段目小段幅	m	9. 9	のり面を構成している 7 段目の道路に対して直交方向の水平幅（小数点以下 1 位）	D110
126	8 段目直高	m	99	のり面を構成している 8 段目の直高	D110
127	8 段目勾配		9. 99	のり面を構成している 8 段目ののり面勾配	D110
128	8 段目小段幅	m	9. 9	のり面を構成している 8 段目の道路に対して直交方向の水平幅（小数点以下 1 位）	D110
129	9 段目直高	m	99	のり面を構成している 9 段目の直高	D110
130	9 段目勾配		9. 99	のり面を構成している 9 段目ののり面勾配	D110
131	9 段目小段幅	m	9. 9	のり面を構成している 9 段目の道路に対して直交方向の水平幅（小数点以下 1 位）	D110

道路施設基本データ入力フォーマット

※ 1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※ 2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
132	10 段目直高	m	99	のり面を構成している 1 0 段目の直高	D110
133	10 段目勾配		9. 99	のり面を構成している 1 0 段目ののり面勾配	D110
134	10 段目小段幅	m	9. 9	のり面を構成している 1 0 段目の道路に対して直交方向の水平幅（小数点以下 1 位）	D110
135	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	D110

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D117のり面・斜面（補修改築歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D117
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D117
3	附図対応番号		半角16 文字		D117
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D117
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D117
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D117
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D117
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D117
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D117
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D117
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D117
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D117
13	補修改築別C			のり面・斜面の補修・改築の別コード	D117
14	変状施設C			補修・改築を行った変状施設コード	D117
15	補修年月	西暦	199901	補修・改築を行った年月（平成9年3月の場合：199703）	D117

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D120擁壁（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	D120
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D120
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	D120
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D120
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D120
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D120
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D120
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D120
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D120
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D120
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D120
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バypass等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	D120
13	名称		漢字10 文字	該当する区間の擁壁の名称又は設置箇所の地先名等（日本語）	D120
14	百米標自	k m	999. 9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10. 1）	D120
15	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	D120
16	百米標至	k m	999. 9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15. 5）	D120
17	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	D120
18	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	D120
19	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	D120
20	完成年月	西暦	199901	該当する擁壁の完成した年月（1985 年8月の場合：198508）	D120
21	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	D120
22	所在地自		漢字30 文字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	D120
23	所在地至		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	D120
24	設置区分C			擁壁の設置区分コード	D120
25	構造形式C			擁壁の構造形式コード	D120
26	基礎形式C			擁壁の基礎形式コード	D120
27	擁壁延長	m	9999999. 9	該当区間に設けられている擁壁ののべ延長（小数点以下1位）	D120
28	擁壁設置道路延長	m	9999999. 9	擁壁が設置されている道路の延長（小数点以下1位）	D120
29	最大高	m	99. 9	擁壁の高さの最大値（高さが一定の場合は、最大と最小に同値を記入）（小数点以下1位）	D120
30	最小高	m	99. 9	擁壁の高さの最小値（高さが一定の場合は、最大と最小に同値を記入）（小数点以下1位）	D120
31	勾配		9. 99	擁壁の前面（天端と法尻を結んだ）の勾配（前面が直の場合：0. 0）	D120
32	擁壁面積	m 2	99999999	該当区間に設けられている擁壁の表面積	D120

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	工場製品場所打別C			擁壁の材質コード	D120
34	主要材料C			擁壁の主要材料コード	D120
35	標準設計適用番号		半角15 文字	擁壁が建設省制定土木構造物標準設計を利用して構築されている場合の図面番号(記号)	D120
36	総段数		9	擁壁が階段状に設けられている場合、その総段数	D120
37	段目		9	擁壁が階段状に設けられている場合、その段目（位置）	D120
38	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	D120
39	市区町村自C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D120
40	市区町村至C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	D120

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

D122擁壁（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		D122
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	D122
3	附図対応番号		半角16 文字		D122
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	D122
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	D122
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	D122
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	D122
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	D122
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	D122
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	D122
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	D122
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	D122
13	補修年月	西暦	199901	擁壁の補修を行った年月（1985年10月の場合：198510）	D122
14	補修内容C			擁壁の補修内容コード	D122
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	D122

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E010防護柵（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E010
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E010
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E010
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E010
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E010
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E010
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E010
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E010
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E010
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E010
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E010
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（ハイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E010
13	市区町村C			該当する施設のある市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E010
14	検査数字		半角1文字	該当する市区町村コードについて、「建設省組織コード」（大臣官房文書課）を参照し、コード末尾1桁の数字	E010
15	名称		漢字10 文字	該当する防護柵の名称又は設置箇所の地先名等（日本語）	E010
16	百米標自	k m	999.9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10.1）	E010
17	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	E010
18	百米標至	k m	999.9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15.5）	E010
19	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	E010
20	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E010
21	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E010
22	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E010
23	設置箇所C			防護柵の設置箇所コード	E010
24	防護柵種別C			防護柵の種別コード	E010
25	設置区分C			防護柵の設置区分コード	E010
26	設置目的C			防護柵の設置目的コード	E010
27	材質C			防護柵の材質コード	E010
28	柵高	m	9.99	防護柵の高さ（小数点以下2位）	E010
29	設置延長	m	9999.9	該当する設置区間内ののべ延長（小数点以下1位）	E010
30	完成年月	西暦	199901	防護柵の設置された年月（1987年12月の場合：198712）	E010
31	表面処理C			防護柵の表面処理コード	E010
32	関連施設名称		漢字10 文字	防護柵の「設置箇所C」で指定した工種の施設名（日本語）	E010

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	関連施設整理番号		半角8文字	防護柵の「設置箇所C」で指定した工種の親表（各基本のデータ）の整理番号	E010
34	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E010

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E012防護柵（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		E012
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E012
3	附図対応番号		半角16 文字		E012
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E012
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E012
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E012
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E012
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E012
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E012
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E012
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E012
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バ`イ`ス 等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E012
13	百米標自	k m	999. 9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10. 1）	E012
14	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	E012
15	百米標至	k m	999. 9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15. 5）	E012
16	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	E012
17	補修年月	西暦	199901	防護柵の補修を行った年月（1985年10月の場合：198510）	E012
18	補修内容C			防護柵の補修内容コード	E012
19	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E012

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E020道路照明（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E020
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E020
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E020
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E020
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E020
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E020
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E020
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E020
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E020
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E020
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E020
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バ'イ'ス 等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E020
13	名称		漢字10 文字	該当する道路照明の名称又は設置箇所の地先名等（日本語）	E020
14	百米標	k m	999.9	該当する施設の直前にある百米標（例：10.1）	E020
15	距離	m	9999	該当する施設の直前にある百米標からの距離	E020
16	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E020
17	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E020
18	完成年月	西暦	199901	照明の完成年月（1983 年 4 月の場合：198304）	E020
19	連続局部別C			連続・局部照明の別コード	E020
20	設置区分C			照明の設置区分コード	E020
21	設置箇所C			照明の設置箇所コード	E020
22	灯具型式C			照明の灯具型式コード	E020
23	照明ボール型式C			照明ボール型式コード	E020
24	基礎形式C			照明の基礎型式コード	E020
25	配列方式C			灯具の配列方式コード	E020
26	光源種別1C			1 種類目の光源種別コード	E020
27	光源型式1		半角10 文字	1 種類目の光源型式（英数字）	E020
28	灯数1		9999	1 種類目の照明灯数	E020
29	光源種別2C			2 種類目の光源種別コード	E020
30	光源型式2		半角10 文字	2 種類目の光源型式（英数字）	E020
31	灯数2		9999	2 種類目の照明灯数	E020
32	光源種別3C			3 種類目の光源種別コード	E020

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	光源型式 3		半角10 文字	3 種類目の光源型式（英数字）	E020
34	灯数 3		9999	3 種類目の照明灯数	E020
35	安定器型式 C			安定器の型式コード	E020
36	点滅型式 C			自動点滅器の型式区分コード	E020
37	点滅電流	A	9999	自動点滅器の電流値	E020
38	点滅電圧	V	9999	自動点滅器の電圧値	E020
39	表面塗装処理 C			表面塗装の種類区分コード	E020
40	塗装面積	m ²	999.9	表面塗装面積（小数点以下 1 位）	E020
41	分電盤型式		漢字10 文字	分電盤の型式（日本語）	E020
42	幹線相	φ	99999	幹線電気方式の相	E020
43	幹線線数	W	99999	幹線電気方式の線数	E020
44	幹線電圧	V	99999	幹線方式の電圧	E020
45	分岐相	φ	99999	分岐電気方式の相	E020
46	分岐線数	W	99999	分岐電気方式の線数	E020
47	分岐電圧	V	99999	分岐電気方式の電圧	E020
48	分電盤主幹開閉方式		半角10 文字	分電盤の主幹開閉方式（英数字）	E020
49	分電盤分岐開閉方式		半角10 文字	分電盤の分岐開閉方式（英数字）	E020
50	分電盤調光回路有無 C			分電盤調光回路の有無コード	E020
51	引込方式 C			引込方式コード	E020
52	分岐方式 C			分岐方式コード	E020
53	新設移設別 C			照明が新設照明か移設された照明かの有無コード	E020
54	連続照明区間認識番号		半角8文字	該当する道路照明が連続照明の場合にのみ付す同一の認識番号	E020
55	占用物件別 C			該当する道路照明が占用か否かについてのコード	E020
56	関連施設名称		漢字10 文字	照明の「設置区分 C」で指定した工種の施設名（日本語）	E020
57	関連施設整理番号		半角8文字	照明の「設置区分 C」で指定した工種の親表（各基本のデータ）の整理番号	E020
58	電力契約種別 C			電力の契約種別コード	E020
59	電力契約番号		半角20 文字	電力の契約番号（数字）	E020
60	電力引込柱名称		漢字10 文字	電力を引き込んでいる電柱等の名称（日本語）	E020
61	電力支払営業所名		漢字15 文字	使用電力料を支払っている電力会社名及び営業所名（日本語）	E020
62	灯具製造者		漢字10 文字	灯具の製造者（日本語）	E020
63	安定器製造者		漢字10 文字	安定器の製造者（日本語）	E020
64	自動点滅器製造者		漢字10 文字	自動点滅器の製造者（日本語）	E020
65	光源製造者		漢字10 文字	光源の製造者（日本語）	E020

道路施設基本データ入力フォーマット

※ 1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※ 2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
66	照明ポール型式製造者		漢字10 文字	照明ポール型式の製造者（日本語）	E020
67	メーカー名		漢字10 文字	照明のメーカー名（日本語）	E020
68	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E020
69	市区町村 C			該当する施設のある市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E020

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E022道路照明（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		E022
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E022
3	附図対応番号		半角16 文字		E022
4	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E022
5	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E022
6	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E022
7	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E022
8	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E022
9	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E022
10	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E022
11	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E022
12	補修年月	西暦	199901	照明の補修を行った年月（1976年12月の場合：197612）	E022
13	補修内容C			照明の補修内容コード	E022
14	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E022

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E030反射式視線誘導標

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E030
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E030
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E030
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E030
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E030
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E030
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E030
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E030
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E030
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E030
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E030
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（ﾊﾞｲﾊﾟｽ 等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	E030
13	市区町村C			該当する施設のある市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E030
14	所在地自		漢字30 文字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	E030
15	所在地至		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	E030
16	百米標自	k m	999. 9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10. 1）	E030
17	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	E030
18	百米標至	k m	999. 9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15. 5）	E030
19	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	E030
20	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E030
21	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E030
22	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E030
23	誘導標種類C			誘導標の種類コード	E030
24	記号		半角30 文字	該当する区間の誘導標の製品記号（カタカナ、英数字）	E030
25	個数		9999	該当する区間の誘導標の個数（のべ個数）	E030
26	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E030

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E040自光式視線誘導標（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E040
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E040
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E040
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E040
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E040
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E040
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E040
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E040
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E040
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E040
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E040
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バypass等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E040
13	名称		漢字10 文字	該当する視線誘導標施設の名称又は設置箇所の地先名等（日本語）	E040
14	百米標	k m	999. 9	該当する施設の直前にある百米標（例：10. 1）	E040
15	距離	m	9999	該当する施設の直前にある百米標からの距離	E040
16	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E040
17	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E040
18	完成年月	西暦	199901	自光式視線誘導の完成年月（1983 年4月の場合：198304）	E040
19	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E040
20	所在地		漢字30 文字	該当区間の所在地（字番地まで）	E040
21	設置箇所C			誘導標が設置されている箇所コード	E040
22	誘導標種類C			誘導標の種類コード	E040
23	形式		半角60 文字	該当する区間の誘導標の形式（規模等）（カタカナ、英数字）	E040
24	電源種別C			電源の種別コード	E040
25	灯数		99	該当する区間の誘導標の灯数	E040
26	基礎C			誘導標の基礎コード	E040
27	電力契約種別C			電力の契約種別コード	E040
28	電力契約番号		半角20 文字	電力の契約番号（数字）	E040
29	電力引込柱名称		漢字10 文字	電力を引き込んでいる電柱等の名称（日本語）	E040
30	電力支払営業所名		漢字15 文字	使用電力を支払っている電力会社名及び営業所名（日本語）	E040
31	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E040
32	市区町村C			該当する施設のある市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E040

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E042自光式視線誘導標（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		E042
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E042
3	附図対応番号		半角16 文字		E042
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E042
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E042
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E042
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E042
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E042
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E042
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E042
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E042
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E042
13	補修年月	西暦	199901	誘導標の補修を行った年月（1976年12月の場合：197612）	E042
14	補修内容C			誘導標の補修内容コード	E042
15	備考		漢字50 文字	該当する区間の土被り厚の最小値（土被りが一定の場合は、最大、最小土被りは同値を記入）	E042

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E050道路標識（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E050
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E050
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E050
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E050
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E050
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E050
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E050
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E050
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E050
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E050
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E050
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E050
13	名称		漢字10 文字	該当する道路標識の名称又は設置箇所の地先名等（日本語）	E050
14	百米標	k m	999. 9	該当する施設の直前にある百米標（例：10. 1）	E050
15	距離	m	9999	該当する施設の直前にある百米標からの距離	E050
16	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E050
17	設置箇所C			標識柱の設置箇所コード	E050
18	設置方式C			標識の設置方式コード	E050
19	支柱形式C			標識の支柱形式コード	E050
20	表面塗装処理C			標識の表面塗装処理コード	E050
21	基礎形式C			標識の基礎形式コード	E050
22	クリアランス	m	9. 99	標識板が車道上に設置している片持、門型式等の車道路面～標識板下端までのクリアランス（小数点以下2位）	E050
23	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E050
24	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E050
25	完成年月	西暦	199901	標識を設置した年月（1982 年4月の場合：198204）	E050
26	新設移設別C			該当する標識が新設標識か移設による標識かの別コード	E050
27	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E050
28	市区町村C			該当する施設のある市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E050

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E051道路標識（標識板）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		E051
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E051
3	附図対応番号		半角16 文字		E051
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E051
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E051
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E051
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E051
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E051
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E051
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E051
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E051
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E051
13	標識番号		半角8文字	該当なし（*を記入）	E051
14	標識種類番号		半角14 文字	「道路六法・道路標識、区画線及び道路標示に関する命令、第1章、第2条、別表第1」で付している番号	E051
15	上り下り別C			標識板の設置目的コード	E051
16	拡大率		9.9	標識に表示されている拡大率（小数点以下1位）	E051
17	文字大きさ	c m	999	標識に表示されている文字、数値の大きさ	E051
18	板寸法縦	c m	999	標識板の縦の寸法（標識板が円形の場合：縦寸法に記入）	E051
19	板寸法横	c m	999	標識板の横の寸法（標識板が円形の場合：*を記入）	E051
20	板材質C			標識板の材質区分コード	E051
21	反射照明方式C			標識板の反射照明方式コード	E051
22	板取付方式C			標識板の取付方式コード	E051
23	ローマ字有無C			標識板に表示されているローマ字の有無コード	E051
24	新設移設板別C			該当する標識板が新設標識板か移設による標識板かの別コード	E051
25	完成年月	西暦	199901	標識板を取り付けた年月（1984年10月の場合：198410）	E051

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E053道路標識（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		E053
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E053
3	附図対応番号		半角16 文字		E053
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E053
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E053
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E053
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E053
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E053
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E053
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E053
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E053
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	E053
13	標識番号		半角16 文字	該当なし（＊を記入）	E053
14	補修年月	西暦	199901	標識の補修を行った年月（1986年12月の場合：198612）	E053
15	補修内容C			標識の補修内容コード	E053
16	備考		漢字50 文字	標識の損傷原因等（日本語）	E053

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E060道路情報板（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E060
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E060
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E060
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E060
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E060
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E060
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E060
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E060
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E060
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E060
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E060
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	E060
13	名称		漢字10 文字	該当する道路情報板の名称又は設置箇所の地先名等（日本語）	E060
14	百米標	k m	999. 9	該当する施設の直前にある百米標（例：10. 1）	E060
15	距離	m	9999	該当する施設の直前にある百米標からの距離	E060
16	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E060
17	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E060
18	完成年月	西暦	199901	情報板を設置した年月（1985年10月の場合：198510）	E060
19	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E060
20	所在地		漢字30 文字	該当区間の所在地（字番地まで）	E060
21	設置箇所C			情報板の支柱が設置されている箇所コード	E060
22	設置目的C			情報板の設置目的コード	E060
23	情報板種別C			情報板の種別コード	E060
24	情報固定自由別C			情報固定・自由の別コード	E060
25	表示方法C			情報板の表示方式コード	E060
26	制御方法C			情報板の制御方式コード	E060
27	設置方法C			情報板の設置方式コード	E060
28	通信線名		漢字15 文字	遠隔操作に使用している通信線名（日本語）	E060
29	情報範囲区間名自		漢字12 文字	情報板が提供している情報範囲（区間）の起点側地名（日本語）	E060
30	情報範囲百米標自	k m	999. 9	情報板が提供している情報範囲（区間）の起点側にある百米標（例：10. 1／記入できない場合：0）	E060
31	情報範囲距離自	m	9999	情報板が提供している情報範囲（区間）の起点側にある百米標からの距離（記入できない場合：0）	E060
32	情報範囲区間名至		漢字12 文字	情報板が提供している情報範囲（区間）の終点側地名（日本語）	E060

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	情報範囲百米標至	k m	999.9	情報板が提供している情報範囲（区間）の終点側にある百米標（例：10.1／記入できない場合：0）	E060
34	情報範囲距離至	m	9999	情報板が提供している情報範囲（区間）の終点側にある百米標からの距離（記入できない場合：0）	E060
35	契約種別 C			情報板の契約種別コード	E060
36	契約番号		半角20 文字	電力の契約番号（数字）	E060
37	引込柱名称		漢字10 文字	電力を引き込んでいる電柱等の名称（日本語）	E060
38	支払営業所名		漢字15 文字	使用電力料を支払っている電力会社名及び営業所名（日本語）	E060
39	県警規制内外別 C			該当する情報板が県警の規制区間内か否かのコード	E060
40	表示機製造業者		漢字15 文字	該当する情報板の表示機の製造業者（日本語）	E060
41	表示機操作盤製造業者		漢字15 文字	表示機側で直接表示機を動作させる装置の製造業者（日本語）	E060
42	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E060
43	市区町村 C			該当する施設のある市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E060

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E062道路情報板（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		E062
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E062
3	附図対応番号		半角16 文字		E062
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E062
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E062
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E062
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E062
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E062
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E062
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E062
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E062
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E062
13	補修年月	西暦	199901	情報板の補修を行った年月（1986 年 9 月の場合：198609）	E062
14	補修内容C			情報板の補修内容コード	E062
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E062

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E070交通遮断機（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E070
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E070
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E070
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E070
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E070
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E070
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E070
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E070
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E070
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E070
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E070
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E070
13	名称		漢字10 文字	該当する交通遮断機の名称又は設置箇所の地先名等（日本語）	E070
14	百米標	k m	999.9	該当する施設の直前にある百米標（例：10.1）	E070
15	距離	m	9999	該当する施設の直前にある百米標からの距離	E070
16	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E070
17	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E070
18	完成年月	西暦	199901	交通遮断機が完成（設置）した年月（1982年10月の場合：198210）	E070
19	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E070
20	所在地		漢字30 文字	該当区間の所在地（字番地まで）	E070
21	操作区分C			交通遮断機の操作区分コード	E070
22	制御場所C			交通遮断機の制御場所コード	E070
23	制御場所名称		漢字10 文字	遠隔制御の制御場所名称（日本語）	E070
24	電力契約種別C			電力の契約種別コード	E070
25	電力契約番号		半角20 文字	電力の契約番号（数字）	E070
26	電力引込柱名称		漢字10 文字	電力を引き込んでいる電柱等の名称（日本語）	E070
27	電力支払営業所名		漢字15 文字	使用電力料を支払っている電力会社名及び営業所名（日本語）	E070
28	道路情報板併設有無C			交通遮断機が道路情報板と併設かの有無コード	E070
29	型式		漢字15 文字	交通遮断機の型式（日本語）	E070
30	製造者名		漢字15 文字	交通遮断機の製造者名（日本語）	E070
31	製造年月	西暦	199901	交通遮断機の製造年月（1986 年5月の場合：198605）	E070
32	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E070

道路施設基本データ入力フォーマット

※ 1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※ 2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	市区町村 C			該当する施設のある市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E070

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E072交通遮断機（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		E072
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E072
3	附図対応番号		半角16 文字		E072
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E072
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E072
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E072
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E072
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E072
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E072
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E072
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E072
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バypass等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E072
13	補修年月	西暦	199901	交通遮断機の補修を行った年月（1986年9月の場合：198609）	E072
14	補修内容C			交通遮断機の補修内容コード	E072
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E072

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E080 I . T . V（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E080
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E080
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E080
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E080
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E080
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E080
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E080
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E080
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E080
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E080
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E080
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E080
13	名称		漢字10 文字	該当する I T V 施設の名称又は設置箇所の地先名等（日本語）	E080
14	百米標	k m	999.9	該当する施設の直前にある百米標（例：10.1）	E080
15	距離	m	9999	該当する施設の直前にある百米標からの距離	E080
16	所在地		漢字30 文字	該当区間の所在地（字番地まで）	E080
17	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E080
18	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E080
19	設置目的C			I T V の設置目的コード	E080
20	カメラ完成年月	西暦	199901	該当するカメラが完成（設置）された年月（1983年10月の場合：198310）	E080
21	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E080
22	カメラ型式		漢字20 文字	カメラの型式（メーカ及び型番）（日本語）	E080
23	カメラ台数		99	設置されているカメラの台数	E080
24	監視距離	m	9999	1 台のカメラで監視できる距離	E080
25	ズーム有無C			ズーム装置の有無コード	E080
26	固定式可動式別C			監視できる方向コード	E080
27	拡声器有無C			カメラと共に拡声器併設の有無コード	E080
28	カメラ製造年月	西暦	199901	カメラの製造年月（1985年10月の場合：198510）	E080
29	受信機完成年月	西暦	199901	該当する受信機が完成（設置）された年月（1983年11月の場合：198311）	E080
30	設置場所		漢字15 文字	受信機の設置場所（日本語）	E080
31	受信機型式		漢字15 文字	受信機の型式（メーカ及び型番）（日本語）	E080
32	回線区分C			I T V の回線区分コード	E080

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	受信機製造年月	西暦	199901	受信機の製造年月（1985年10月の場合：198510）	E080
34	モニター台数		99	モニターの台数	E080
35	静止動画区分C			カメラの画像区分コード	E080
36	電力契約種別C			電力の契約種別コード	E080
37	電力契約番号		半角20 文字	電力の契約番号（数字）	E080
38	電力引込柱名称		漢字10 文字	電力を引き込んでいる電柱等の名称（日本語）	E080
39	電力支払営業所名		漢字15 文字	使用電力料を支払っている電力会社名及び営業所名（日本語）	E080
40	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E080
41	市区町村C			該当する施設のある市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E080

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E082 I . T . V（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		E082
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E082
3	附図対応番号		半角16 文字		E082
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E082
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E082
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E082
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E082
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E082
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E082
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E082
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E082
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E082
13	補修年月	西暦	199901	I T Vの補修を行った年月（1985年10月の場合：198510）	E082
14	補修内容C			I T Vの補修内容コード	E082
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E082

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E090車両感知器（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E090
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E090
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E090
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E090
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E090
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E090
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E090
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E090
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E090
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E090
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E090
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E090
13	名称		漢字10 文字	該当する車両感知器の名称又は設置箇所の地先名等	E090
14	百米標	k m	999. 9	該当する施設の直前にある百米標（例：10. 1）	E090
15	距離	m	9999	該当する施設の直前にある百米標からの距離	E090
16	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E090
17	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E090
18	完成年月	西暦	199901	車両感知器を設置した年月（1985年10月の場合：198510）	E090
19	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E090
20	所在地		漢字30 文字	該当区間の所在地（字番地まで）	E090
21	設置箇所C			センサーの設置箇所コード	E090
22	設置目的C			車両感知器の設置目的コード	E090
23	形式C			車両感知器の形式コード	E090
24	機能		漢字20 文字	車両感知器の機能（日本語）	E090
25	通信回線区分C			通信回線の区分コード	E090
26	電力契約種別C			電力の契約種別コード	E090
27	電力契約番号		半角20 文字	電力の契約番号（数字）	E090
28	電力引込柱名称		漢字10 文字	電力を引き込んでいる電柱等の名称（日本語）	E090
29	電力支払営業所名		漢字15 文字	使用電力料を支払っている電力会社名及び営業所名（日本語）	E090
30	メーカー名		漢字10 文字	メーカーの名称（日本語）	E090
31	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E090
32	市区町村C			該当する施設のある市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E090

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E092車両感知器（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		E092
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E092
3	附図対応番号		半角16 文字		E092
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E092
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E092
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E092
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E092
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E092
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E092
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E092
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E092
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E092
13	補修年月	西暦	199901	車両感知器の補修を行った年月（1976年12月の場合：197612）	E092
14	補修内容C			車両感知器の補修内容コード	E092
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E092

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E100車両諸元計測施設（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E100
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E100
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E100
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E100
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E100
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E100
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E100
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E100
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E100
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E100
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E100
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（ﾊﾞｲﾊﾟｽ 等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	E100
13	名称		漢字10 文字	該当する車両諸元計測施設又は設置箇所の地先名等（日本語）	E100
14	百米標	k m	999.9	該当する施設の直前にある百米標（例：10.1）	E100
15	距離	m	9999	該当する施設の直前にある百米標からの距離	E100
16	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E100
17	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E100
18	完成年月	西暦	199901	車両感知器を設置した年月（1985年10月の場合：198510）	E100
19	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E100
20	所在地		漢字30 文字	該当区間の所在地（字番地まで）	E100
21	設置箇所C			車両計測施設の設置箇所コード	E100
22	用地面積	m 2	9999	車両諸元計測施設の用地面積	E100
23	建物面積	m 2	9999	車両諸元計測施設の建物面積（床のべ面積）	E100
24	照明設備C			照明設備の有無コード	E100
25	取締用カメラC			取締用カメラの有無コード	E100
26	記録装置C			記録装置の有無コード	E100
27	その他付帯施設C			その他付帯施設の有無コード	E100
28	車両総重量有無C			車両総重量の有無コード	E100
29	車両重量計有無C			車両重量計の有無コード	E100
30	軸重計有無C			軸重計の有無コード	E100
31	車両高計有無C			車両の高さ計測有無コード	E100
32	車両長計有無C			車両の長さ計測有無コード	E100

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	その他計測項目有無C			その他の計測項目有無コード	E100
34	対象計測重量		漢字15 文字	該当する計測施設の対象計測重量（日本語）	E100
35	最高計量限度		漢字15 文字	該当する施設の最高計量限度（日本語）	E100
36	敷地所有者名		漢字15 文字	計測施設の敷地の所有者名（日本語）	E100
37	関連附属施設		漢字15 文字	計測施設内にある関連付属施設名（日本語）	E100
38	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E100
39	市区町村C			該当する施設のある市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E100

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E101車両諸元計測施設（設備）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		E101
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E101
3	附図対応番号		半角16 文字		E101
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E101
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E101
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E101
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E101
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E101
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E101
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E101
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E101
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	E101
13	計測機種別		漢字10 文字	計測機の種別（日本語）	E101
14	設置年月	西暦	199901	計測機が設置された年月（1982年10月の場合：198210）	E101
15	型式		半角40文字	計測機の型式（メーカー及び型番）（カタカナ、英数字）	E101
16	台数		99	計測機の台数	E101

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E103車両諸元計測施設（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		E103
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E103
3	附図対応番号		半角16 文字		E103
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E103
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E103
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E103
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E103
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E103
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E103
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E103
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E103
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バ`イ`ス 等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E103
13	補修年月	西暦	199901	車両計測施設の補修を行った年月（1985年10月の場合：198510）	E103
14	補修内容C			車両計測施設の補修内容コード	E103
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E103

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E110気象観測施設（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E110
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E110
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E110
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E110
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E110
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E110
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E110
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E110
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E110
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E110
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E110
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E110
13	名称		漢字10 文字	該当する気象観測施設の名称又は設置箇所の地先名等	E110
14	百米標	k m	999. 9	該当する施設の直前にある百米標（例：10. 1）	E110
15	距離	m	9999	該当する施設の直前にある百米標からの距離	E110
16	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E110
17	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E110
18	完成年月	西暦	199901	気象観測施設を設置した年月（1985年10月の場合：198510）	E110
19	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E110
20	所在地		漢字30 文字	該当区間の所在地（字番地まで）	E110
21	設置箇所C			気象観測施設の設置箇所コード	E110
22	装置種別C			気象観測施設の装置種別コード	E110
23	凍結予知表示板有無C			凍結予知表示板の有無コード	E110
24	型式		半角40文字	各装置の形式（メーカ及び型番）（カタカナ、英数字）	E110
25	データ転送先		漢字15 文字	気象観測施設のデータの転送先（日本語）	E110
26	通信回線区分C			通信回線の区分コード	E110
27	自管理他省庁区分C			気象観測施設の管理コード	E110
28	電力契約種別C			電力の契約種別コード	E110
29	電力契約番号		半角20 文字	電力の契約番号（数字）	E110
30	電力引込柱名称		漢字10 文字	電力を引き込んでいる電柱等の名称（日本語）	E110
31	電力支払営業所名		漢字15 文字	使用電力料を支払っている電力会社名及び営業所名（日本語）	E110
32	製造年月	西暦	199901	気象観測施設内における装置の製造年月（1985年10月の場合：198510）	E110

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E110
34	市区町村C			該当する施設のある市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E110

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E112気象観測施設（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		E112
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E112
3	附図対応番号		半角16 文字		E112
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E112
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E112
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E112
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E112
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E112
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E112
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E112
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E112
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	E112
13	補修年月	西暦	199901	気象観測施設の補修を行った年月（1985年10月の場合：198510）	E112
14	補修内容C			気象観測施設の補修内容コード	E112
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E112

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E120災害予知装置（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E120
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E120
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E120
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E120
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E120
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E120
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E120
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E120
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E120
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E120
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E120
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E120
13	名称		漢字10 文字	該当する災害予知装置施設の名称又は設置箇所の地先名等	E120
14	百米標	k m	999.9	該当する施設の直前にある百米標（例：10.1）	E120
15	距離	m	9999	該当する施設の直前にある百米標からの距離	E120
16	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E120
17	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E120
18	完成年月	西暦	199901	災害予知装置を設置した年月（1983年8月の場合：198308）	E120
19	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E120
20	所在地		漢字30 文字	該当区間の所在地（字番地まで）	E120
21	装置種別C			災害予知装置の種別コード	E120
22	設置箇所C			災害予知装置の設置箇所コード	E120
23	設置のべ数		99	災害予知装置の設置のべ数	E120
24	のり面勾配		9.9	設置箇所が切土・盛土の場合、のり面勾配（小数点以下1位）	E120
25	型式		半角40文字	災害予知装置の型式（メーカー及び型番）（カタカナ、英数字）	E120
26	データ転送先		漢字15 文字	災害予知装置のデータの転送先（日本語）	E120
27	通信回線区分C			災害予知装置の通信回線コード	E120
28	電力契約種別C			電力の契約種別コード	E120
29	電力契約番号		半角20 文字	電力の契約番号（数字）	E120
30	電力引込柱名称		漢字10 文字	電力を引き込んでいる電柱等の名称（日本語）	E120
31	電力支払営業所名		漢字15 文字	使用電力料を支払っている電力会社名及び営業所名（日本語）	E120
32	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E120

道路施設基本データ入力フォーマット

※ 1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※ 2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	市区町村 C			該当する施設のある市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E120

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E130自動車駐車場等（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E130
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E130
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E130
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E130
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E130
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E130
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E130
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E130
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E130
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E130
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E130
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E130
13	名称		漢字10 文字	自動車駐車場施設の名称又は設置箇所の地先名等	E130
14	百米標自	k m	999. 9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10. 1）	E130
15	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	E130
16	百米標至	k m	999. 9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15. 5）	E130
17	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	E130
18	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E130
19	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E130
20	完成年月	西暦	199901	災害予知装置を設置した年月（1983年8月の場合：198308）	E130
21	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E130
22	所在地		漢字30 文字	該当区間の所在地（字番地まで）	E130
23	自動車駐車場C			自動車駐車場が併設されているかの有無コード	E130
24	道の駅C			道の駅が併設されているかの有無コード	E130
25	乗合自動車停車所C			乗合自動車停車所が併設されているかの有無コード	E130
26	非常駐車帯C			非常駐車帯が併設されているかの有無コード	E130
27	休憩施設C			休憩施設が併設されているかの有無コード	E130
28	緊急避難所C			緊急避難所が併設されているかの有無コード	E130
29	チェーン着脱場C			チェーン着脱場が併設されているかの有無コード	E130
30	その他施設C			その他施設が併設されているかの有無コード	E130
31	敷地面積	m 2	999999	該当する自動車駐車場の敷地面積	E130
32	幅員	m	99. 9	自動車駐車場の幅員（小数点以下1 位）	E130

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事成果図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	総延長	m	999.9	自動車駐車場の総延長（小数点以下1位）	E130
34	有効延長	m	999.9	自動車駐車場の有効延長（小数点以下1位）	E130
35	すりつけ延長	m	999.9	自動車駐車場のすりつけ延長（小数点以下1位）	E130
36	駐車台数		999	自動車の駐車台数	E130
37	大型車駐車台数		999	駐車台数の内、大型車の駐車台数	E130
38	分離構造C			自動車駐車場の分離構造コード	E130
39	舗装種別C			自動車駐車場の代表的な舗装種別コード	E130
40	表層構造C			自動車駐車場の舗装の表層構成コード	E130
41	中間層構成C			自動車駐車場の舗装の中間層構成コード	E130
42	基層構成C			自動車駐車場の舗装の基層構成コード	E130
43	上層路盤構成C			自動車駐車場の舗装の上層路盤構成コード	E130
44	下層路盤構成C			自動車駐車場の舗装の下層路盤構成コード	E130
45	舗装面積	m ²	999999	自動車駐車場の舗装面積	E130
46	標識		99	自動車駐車場内にある標識の個数（箇所数）	E130
47	便所		99	自動車駐車場内にある便所の個数（箇所数）	E130
48	公衆電話		99	自動車駐車場内にある公衆電話の個数（箇所数）	E130
49	照明灯		99	自動車駐車場内にある照明灯の個数（箇所数）	E130
50	ゴミ箱		99	自動車駐車場内にあるゴミ箱の個数（箇所数）	E130
51	給油所		9	自動車駐車場内にある給油所の個数（箇所数）	E130
52	食堂		9	自動車駐車場内にある食堂の個数（箇所数）	E130
53	売店		9	自動車駐車場内にある売店の個数（箇所数）	E130
54	無料休憩所		9	自動車駐車場内にある無料休憩所の個数（箇所数）	E130
55	宿泊所		9	自動車駐車場内にある宿泊所の個数（箇所数）	E130
56	緑地		99	自動車駐車場内にある緑地の個数（箇所数）	E130
57	公園		99	自動車駐車場内にある公園の個数（箇所数）	E130
58	イベント広場		99	自動車駐車場内にあるイベント広場の個数（箇所数）	E130
59	案内所		99	自動車駐車場内にある案内所の個数（箇所数）	E130
60	情報ターミナル有無C			情報ターミナルが併設されているかの有無コード	E130
61	道路情報板有無C			道路情報板が併設されているかの有無コード	E130
62	管理外標識		99	管理区域以外の標識の個数（箇所数）	E130
63	管理外便所		99	管理区域以外の便所の個数（箇所数）	E130
64	管理外公衆電話		99	管理区域以外の公衆電話の個数（箇所数）	E130
65	管理外照明灯		99	管理区域以外の照明灯の個数（箇所数）	E130

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
66	管理外ゴミ箱		99	管理区域以外のゴミ箱の個数（箇所数）	E130
67	管理外給油所		9	管理区域以外の給油所の個数（箇所数）	E130
68	管理外食堂		9	管理区域以外の食堂の個数（箇所数）	E130
69	管理外売店		9	管理区域以外の売店の個数（箇所数）	E130
70	管理外無料休憩所		9	管理区域以外の無料休憩所の個数（箇所数）	E130
71	管理外宿泊所		9	管理区域以外の宿泊所の個数（箇所数）	E130
72	管理外緑地		99	管理区域以外の緑地の個数（箇所数）	E130
73	管理外公園		99	管理区域以外の公園の個数（箇所数）	E130
74	管理外イベント広場		99	管理区域以外のイベント広場の個数（箇所数）	E130
75	管理外案内所		99	管理区域以外の案内所の個数（箇所数）	E130
76	管理外情報ターミナルC			道路管理者以外の情報ターミナルが併設されているかの有無コード	E130
77	管理外道路情報板C			道路管理者以外の道路情報板が併設されているかの有無コード	E130
78	チェーン着脱場看板C			チェーン着脱場の看板が併設されているかの有無コード	E130
79	敷地区分C			自動車駐車場の敷地区分コード	E130
80	敷地所有者		漢字10 文字	自動車駐車場の敷地の所有者（日本語）	E130
81	管理協定有無C			管理協定の有無コード	E130
82	協定年月日	西暦	19990101	管理協定がなされた年月日（1984年3月15日の場合：19840315）	E130
83	協定先名		漢字10 文字	協定先名（日本語）	E130
84	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E130
85	市区町村自C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E130
86	市区町村至C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E130

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E132自動車駐車場等（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		E132
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E132
3	附図対応番号		半角16 文字		E132
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E132
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E132
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E132
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E132
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E132
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E132
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E132
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E132
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E132
13	補修年月	西暦	199901	自動車駐車場の補修を行った年月（1985年12月の場合：198512）	E132
14	補修内容C			自動車駐車場の補修内容コード	E132
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E132

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E140自転車駐車場（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E140
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E140
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E140
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E140
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E140
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E140
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E140
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E140
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E140
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E140
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E140
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E140
13	名称		漢字10 文字	自転車駐車場の名称又は設置箇所の地先名等	E140
14	百米標自	k m	999. 9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10. 1）	E140
15	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	E140
16	百米標至	k m	999. 9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15. 5）	E140
17	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	E140
18	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E140
19	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E140
20	完成年月	西暦	199901	自転車駐車場が完成した年月（1983年8月の場合：198308）	E140
21	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E140
22	所在地		漢字30 文字	該当区間の所在地（字番地まで）	E140
23	設置区分C			自転車駐車場の設置区分コード	E140
24	管理区分C			自転車駐車場の管理区分コード	E140
25	敷地区分C			自転車駐車場の敷地区分コード	E140
26	施設区分C			自転車駐車場の施設区分コード	E140
27	駐車台数		9999	自転車の収容可能台数	E140
28	上屋有無C			自転車駐車場の上屋の有無コード	E140
29	駐車方法C			自転車駐車場の駐車方法コード	E140
30	バイク混合有無C			自転車駐車場がバイクとの混合駐車場かの有無コード	E140
31	駐車場面積	m 2	9999	自転車駐車場の面積	E140
32	舗装種別C			自転車駐車場の舗装種別コード	E140

道路施設基本データ入力フォーマット

※ 1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※ 2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	協定有無 C			管理協定の有無コード	E140
34	管理協定年月日	西暦	19990101	管理協定がなされた年月日（1984年3月15日の場合：19840315）	E140
35	協定先名		漢字10 文字	協定先名（日本語）	E140
36	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E140
37	市区町村自 C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E140
38	市区町村至 C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E140

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E150雪崩防止施設（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E150
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E150
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E150
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E150
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E150
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E150
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E150
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E150
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E150
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E150
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E150
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E150
13	名称		漢字10 文字	雪崩防止施設の名称又は設置箇所の地先名等	E150
14	百米標自	k m	999. 9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10. 1）	E150
15	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	E150
16	百米標至	k m	999. 9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15. 5）	E150
17	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	E150
18	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E150
19	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E150
20	完成年月	西暦	199901	雪崩防止施設が完成した年月（1983年8月の場合：198308）	E150
21	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E150
22	所在地自		漢字30 文字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	E150
23	所在地至		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	E150
24	防雪対策区分C			雪崩防止施設の防雪対策区分コード	E150
25	施設種別C			雪崩防止施設の種別区分コード	E150
26	基礎形式C			雪崩防止施設の基礎形式コード	E150
27	防止予防別C			雪崩防止施設の機能コード	E150
28	延長	m	9999. 9	雪崩防止施設の延長（小数点以下1位）	E150
29	設置道路延長	m	9999. 9	雪崩防止施設が設置されている道路の延長（小数点以下1位）	E150
30	高さ	m	9. 9	雪崩防止施設の代表的な高さ（小数点以下1位）	E150
31	固定式可動式別C			雪崩防止施設の構造コード	E150
32	のり面勾配		9. 9	雪崩防止施設が設置されているのり面の勾配（小数点以下1位）	E150

道路施設基本データ入力フォーマット

※ 1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※ 2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	雪崩検知器有無 C			雪崩防止施設に雪崩検知器が設置されているかの有無コード	E150
34	塗装面積	m 2	9999	雪崩防止施設の塗装面積	E150
35	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E150
36	市区町村自 C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E150
37	市区町村至 C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E150

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E152雪崩防止施設（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		E152
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E152
3	附図対応番号		半角16 文字		E152
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E152
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E152
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E152
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E152
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E152
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E152
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E152
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E152
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E152
13	補修年月	西暦	199901	雪崩防止施設の補修を行った年月（1985年10月の場合：198510）	E152
14	補修内容C			雪崩防止施設の補修内容コード	E152
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E152

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E160落石防止施設（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E160
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E160
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E160
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E160
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E160
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E160
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E160
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E160
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E160
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E160
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E160
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E160
13	名称		漢字10 文字	落石防止施設の名称又は設置箇所の地先名等	E160
14	百米標自	k m	999.9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10.1）	E160
15	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	E160
16	百米標至	k m	999.9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15.5）	E160
17	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	E160
18	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E160
19	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E160
20	完成年月	西暦	199901	落石防止施設が完成した年月（1983年8月の場合：198308）	E160
21	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E160
22	所在地自		漢字30 文字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	E160
23	所在地至		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	E160
24	施設種別C			落石防止施設の種別区分コード	E160
25	基礎形式C			落石防止施設の基礎形式コード	E160
26	延長	m	9999.9	該当する区間の落石防止施設の延長（小数点以下1位）	E160
27	高さ	m	99.9	該当する区間の代表的な落石防止施設の高さ（小数点以下1位）	E160
28	面積	m ²	9999	該当する区間の落石防止施設的面積（ここでは網型式（金網、エキスパンドメタル等）、吹付工等を対象）	E160
29	のり面勾配		9.9	該当する区間の落石防止施設が設置されてるのり面勾配（小数点以下1位）	E160
30	落石探知器有無C			落石防止施設に落石探知器が設置されているかの有無コード	E160
31	規制区間内外別C			落石防止施設の規制区間の別コード	E160
32	塗装面積	m ²	9999	該当する区間の落石防止施設の塗装面積	E160

道路施設基本データ入力フォーマット

※ 1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※ 2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E160
34	市区町村自 C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E160
35	市区町村至 C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E160

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E162落石防止施設（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字		E162
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E162
3	附図対応番号		半角16 文字		E162
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E162
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E162
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E162
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E162
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E162
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E162
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E162
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E162
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	E162
13	補修年月	西暦	199901	落石防止施設の補修を行った年月（1976年12月の場合：197612）	E162
14	補修内容C			落石防止施設の補修内容コード	E162
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E162

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E170消雪パイプ（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E170
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E170
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E170
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E170
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E170
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E170
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E170
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E170
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E170
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E170
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E170
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E170
13	名称		漢字10 文字	消雪パイプ施設の名称又は設置箇所の地先名等	E170
14	百米標自	k m	999.9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10.1）	E170
15	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	E170
16	百米標至	k m	999.9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15.5）	E170
17	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	E170
18	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E170
19	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E170
20	完成年月	西暦	199901	消雪パイプ施設が完成した年月（1983年8月の場合：198308）	E170
21	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E170
22	所在地自		漢字30 文字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	E170
23	所在地至		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	E170
24	設置区分C			消雪パイプ施設の設置区分コード	E170
25	設置道路延長	m	9999	消雪パイプが設置されている道路の延長	E170
26	施設区分C			消雪パイプ施設の区分コード	E170
27	無散水設置延長	m	99.9	該当する区間における無散水式の設置延長（小数点以下1位）	E170
28	無散水設置幅	m	99.9	該当する区間における無散水式の設置幅（小数点以下1位）	E170
29	占用物件別C			該当する区間の消雪パイプの占用別コード	E170
30	路側部設置位置C			路側部設置位置に対する消雪パイプの有無コード	E170
31	道路中央部設置位置C			道路中央部設置位置に対する消雪パイプの有無コード	E170
32	輪間部設置位置C			輪間部設置位置に対する消雪パイプの有無コード	E170

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	歩道内設置位置C			歩道内設置位置に対する消雪パイプの有無コード	E170
34	その他設置位置C			その他設置位置に対する消雪パイプの有無コード	E170
35	車道部幅	m	99.9	消雪パイプの車道部の幅員（小数点以下1位）	E170
36	歩道部幅	m	99.9	消雪パイプの歩道部の幅員（小数点以下1位）	E170
37	縦断勾配	%	99.9	消雪パイプ区間の道路の縦断勾配（小数点以下1位）	E170
38	水源種別C			消雪パイプの水源種別区分コード	E170
39	水源市区町村		漢字15 文字	水源の位置の地名（番地等まで）	E170
40	水源百米標	k m	999.9	水源の位置の距離標（百米標）ただし、百米標が記入できない場合は、最も近い距離標もしくは「0」	E170
41	水源距離	m	9999	水源の位置の距離標（百米標）からの距離	E170
42	水源名称		漢字10 文字	水源の名称（日本語）	E170
43	井戸深さ	m	999.9	地表面からの井戸の深さ（小数点以下1位）	E170
44	ストレーナ長	m	999.9	ストレーナの長さ（小数点以下1位）	E170
45	夏季井戸水位	m	99.9	夏季の井戸の水位（小数点以下1位）	E170
46	運転時井戸水位	m	99.9	運転時の井戸の水位（小数点以下1位）	E170
47	ポンプ形式C			消雪パイプのポンプ形式コード	E170
48	ポンプ効率		999	ポンプの効率	E170
49	ポンプ吐出量	m^3/min	999	ポンプの排出量（供給必要水量）	E170
50	送水管延長	m	9999.9	該当する区間における送水管の延長（のべ延長）（小数点以下1位）	E170
51	送水管最大径	mm	999	送水管の最大管径（管径が1種類の場合は、最大及び最小に同値を記入）	E170
52	送水管最小径	mm	999	送水管の最小管径（管径が1種類の場合は、最大及び最小に同値を記入）	E170
53	送水管曲り箇所数		999	該当する区間における送水管の曲がり部分の箇所数（のべ箇所数）	E170
54	噴水管散水管延長	m	9999.9	該当する区間における噴水管（散水管）の延長（のべ延長）（小数点以下1位）	E170
55	ノズル形式1 C			消雪パイプの1種類目の散水ノズル形式コード	E170
56	ノズル間隔1	m	9.9	消雪パイプの1種類目の散水ノズルの平均間隔（小数点以下1位）	E170
57	ノズル本数1		9999	消雪パイプの1種類目の散水ノズルの本数（のべ本数）	E170
58	ノズル形式2 C			消雪パイプの2種類目の散水ノズル形式コード	E170
59	ノズル間隔2	m	9.9	消雪パイプの2種類目の散水ノズルの平均間隔（小数点以下1位）	E170
60	ノズル本数2		9999	消雪パイプの2種類目の散水ノズルの本数（のべ本数）	E170
61	ノズル形式3 C			消雪パイプの3種類目の散水ノズル形式コード	E170
62	ノズル間隔3	m	9.9	消雪パイプの3種類目の散水ノズルの平均間隔（小数点以下1位）	E170
63	ノズル本数3		9999	消雪パイプの3種類目の散水ノズルの本数（のべ本数）	E170
64	ノズル形式4 C			消雪パイプの4種類目の散水ノズル形式コード	E170
65	ノズル間隔4	m	9.9	消雪パイプの4種類目の散水ノズルの平均間隔（小数点以下1位）	E170

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
66	ノズル本数 4		9999	消雪パイプの4種類目の散水ノズルの本数（のべ本数）	E170
67	舗装種別 C			該当する区間の舗装種別コード	E170
68	電力契約種別 C			電力の契約種別コード	E170
69	電力契約番号		半角20 文字	電力の契約番号（数字）	E170
70	電力引込柱名称		漢字10 文字	電力を引き込んでいる電柱等の名称（日本語）	E170
71	電力支払営業所名		漢字15 文字	使用電力料を支払っている電力会社名及び営業所名（日本語）	E170
72	関連施設名称		漢字10 文字	消雪パイプの「設置箇所C」で指定した工種の施設名（日本語）	E170
73	関連施設整理番号		半角8文字	消雪パイプの「設置箇所C」で指定した工種の親表（各基本のデータ）の整理番号	E170
74	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「※」を入力	E170
75	市区町村自 C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E170
76	市区町村至 C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E170

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E172消雪パイプ（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字		E172
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E172
3	附図対応番号		半角16 文字		E172
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E172
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E172
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E172
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E172
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E172
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E172
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E172
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E172
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（パイプ等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E172
13	補修年月	西暦	199901	消雪パイプの補修を行った年月（1985年10月の場合：198510）	E172
14	補修内容C			消雪パイプの補修内容コード	E172
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E172

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E180ロードヒーティング（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E180
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E180
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E180
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E180
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E180
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E180
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E180
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E180
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E180
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E180
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E180
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E180
13	名称		漢字10 文字	ロードヒーティング施設の名称又は設置箇所の地先名等	E180
14	百米標自	k m	999. 9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10. 1）	E180
15	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	E180
16	百米標至	k m	999. 9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15. 5）	E180
17	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	E180
18	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E180
19	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E180
20	完成年月	西暦	199901	ロードヒーティング施設が完成した年月（1983年8月の場合：198308）	E180
21	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E180
22	所在地自		漢字30 文字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	E180
23	所在地至		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	E180
24	融雪施設区分C			融雪施設の区分コード	E180
25	設置区分C			ロードヒーティングの設置区分コード	E180
26	車道ヒーティング幅	m	99. 9	該当する区間の車道部のロードヒーティング幅員（小数点以下1位）	E180
27	歩道ヒーティング幅	m	99. 9	該当する区間の歩道部のロードヒーティング幅員（小数点以下1位）	E180
28	延長	m	9999. 9	該当する区間の施設の設置延長（のべ延長）（小数点以下1位）	E180
29	設置道路延長	m	9999	ロードヒーティングが設置されている道路延長（のべ延長）	E180
30	施工面積	m ²	9999	該当区間の施設が電熱線：施工面積（のべ面積）、赤外線：融雪、凍結防止を行う対象面積（のべ面積）	E180
31	占用物件別C			該当する区間のロードヒーティングの占用別コード	E180
32	縦断勾配	%	99. 9	該当する区間の道路の縦断勾配（小数点以下1位）	E180

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	車道舗装種別C			該当する区間の車道部の舗装種別コード	E180
34	歩道舗装種別C			該当する区間の歩道部の舗装種別コード	E180
35	施設内容		漢字30 文字	該当する施設の内容（日本語）	E180
36	電力契約種別C			電力の契約種別コード	E180
37	電力契約番号		半角20 文字	電力の契約番号（数字）	E180
38	電力引込柱名称		漢字10 文字	電力を引き込んでいる電柱等の名称（日本語）	E180
39	電力支払営業所名		漢字15 文字	使用電力料を支払っている電力会社名及び営業所名（日本語）	E180
40	関連施設名称		漢字10 文字	ロードヒーティングの「設置箇所C」で指定した工種の施設名（日本語）	E180
41	関連施設整理番号		半角8文字	ロードヒーティングの「設置箇所C」で指定した工種の親表（各基本のデータ）の整理番号	E180
42	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E180
43	市区町村自C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E180
44	市区町村至C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E180

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E182ロードヒーティング（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字		E182
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E182
3	附図対応番号		半角16 文字		E182
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E182
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E182
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E182
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E182
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E182
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E182
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E182
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E182
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バypass等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E182
13	補修年月	西暦	199901	ロードヒーティングの補修を行った年月（1976年12月の場合：197612）	E182
14	補修内容C			ロードヒーティングの補修内容コード	E182
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E182

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E190除雪ステーション（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E190
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E190
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E190
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E190
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E190
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E190
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E190
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E190
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E190
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E190
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E190
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バypass等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E190
13	名称		漢字10 文字	除雪ステーション施設の名称又は設置箇所の地先名等	E190
14	百米標	k m	999. 9	該当する施設の直前にある百米標（例：10. 1）	E190
15	距離	m	9999	該当する施設の直前にある百米標からの距離	E190
16	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E190
17	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E190
18	完成年月	西暦	199901	除雪ステーション施設が完成した年月（1983年8月の場合：198308）	E190
19	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E190
20	所在地		漢字30 文字	該当区間の所在地（字番地まで）	E190
21	設置箇所C			除雪ステーションの設置箇所コード	E190
22	敷地区分C			除雪ステーションが設置されている敷地区分コード	E190
23	所有者名		漢字15 文字	除雪ステーションが設置されている敷地の所有者名（日本語）	E190
24	敷地面積	m 2	9999	除雪ステーションの敷地面積	E190
25	有効面積	m 2	9999	除雪ステーション内の有効面積として建物面積（設置面積）を省いた面積	E190
26	建物面積	m 2	9999	除雪ステーション内の建物面積（床のべ面積）	E190
27	宿泊施設有無C			除雪ステーション内の宿泊施設の有無コード	E190
28	宿泊施設面積	m 2	9999	除雪ステーション内に設けられている宿泊施設の面積	E190
29	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E190
30	市区町村C			該当する施設のある市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E190

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E191除雪ステーション（設備）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字		E191
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E191
3	附図対応番号		半角16 文字		E191
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E191
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E191
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E191
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E191
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E191
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E191
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E191
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E191
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	E191
13	品名		漢字10 文字	除雪ステーション内の設備（除雪に用いる機械類や材料）の名称（日本語）	E191
14	規格		半角40文字	除雪ステーション内の該当設備に対する規格（カタカナ、英数字）	E191
15	単位		漢字3文字	除雪ステーション内の該当設備に対する単位（日本語）	E191
16	数量		999	除雪ステーション内の該当設備に対する数量	E191
17	設置年月	西暦	199901	除雪ステーション内の該当設備が設置された年月（1985年10月の場合：198510）	E191
18	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E191

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E200防災備蓄倉庫（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E200
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E200
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E200
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E200
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E200
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E200
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E200
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E200
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E200
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E200
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E200
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E200
13	名称		漢字10 文字	防災備蓄倉庫の名称又は設置箇所の地先名等	E200
14	百米標	k m	999. 9	該当する施設の直前にある百米標（例：10. 1）	E200
15	距離	m	9999	該当する施設の直前にある百米標からの距離	E200
16	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E200
17	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E200
18	完成年月	西暦	199901	防災備蓄倉庫が完成した年月（昭和58年8月の場合：198308）	E200
19	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E200
20	所在地		漢字30 文字	該当区間の所在地（字番地まで）	E200
21	設置区分C			防災備蓄倉庫の設置区分コード	E200
22	敷地区分C			防災備蓄倉庫が設置されている敷地区分コード	E200
23	敷地所有者名		漢字15 文字	防災備蓄倉庫が設置されている敷地の所有者名（日本語）	E200
24	敷地面積	m 2	9999	防災備蓄倉庫が設置されている敷地面積	E200
25	倉庫幅	m	99. 9	防災備蓄倉庫の外枠幅（小数点以下1位）	E200
26	倉庫高	m	99. 9	防災備蓄倉庫の外枠高（小数点以下1位）	E200
27	倉庫長	m	99. 9	防災備蓄倉庫の外枠長（小数点以下1位）	E200
28	収納容積	m 3	9999	防災備蓄倉庫の収納容積	E200
29	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E200
30	市区町村C			該当する施設のある市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E200

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E201防災備蓄倉庫（備蓄設備）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字		E201
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E201
3	附図対応番号		半角16 文字		E201
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E201
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E201
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E201
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E201
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E201
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E201
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E201
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E201
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バ`イ`ス 等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E201
13	品名		漢字10 文字	防災備蓄倉庫内の設備の名称（日本語）	E201
14	規格		半角40文字	防災備蓄倉庫内の該当設備に対する規格（カタ、英数字）	E201
15	単位		漢字3文字	防災備蓄倉庫内の該当設備に対する単位（日本語）	E201
16	数量		999	防災備蓄倉庫内の該当設備に対する数量	E201
17	備蓄年月	西暦	199901	防災備蓄倉庫内の該当設備が設置された年月（1985年10月の場合：198510）	E201
18	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E201

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E210共同溝（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E210
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E210
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E210
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E210
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E210
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E210
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E210
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E210
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E210
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E210
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E210
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E210
13	名称		漢字10 文字	共同溝の名称又は設置箇所の地先名等	E210
14	百米標自	k m	999. 9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10. 1）	E210
15	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	E210
16	百米標至	k m	999. 9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15. 5）	E210
17	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	E210
18	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E210
19	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E210
20	所在地自		漢字30 文字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	E210
21	所在地至		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	E210
22	完成年月	西暦	199901	共同溝が完成した年月（1983 年8月の場合：198308）	E210
23	設置箇所C			共同溝の設置箇所コード	E210
24	共同溝区分C			共同溝の区分コード	E210
25	指定告示延長	m	99999. 9	共同溝の指定告示延長（小数点以下1位）	E210
26	建設告示延長	m	99999. 9	共同溝の建設告示延長（小数点以下1位）	E210
27	事業化延長	m	99999. 9	共同溝の事業化延長（小数点以下1位）	E210
28	工事着工延長	m	99999. 9	共同溝の工事着工延長（小数点以下1位）	E210
29	換算完成延長	m	99999. 9	共同溝の換算完成延長（小数点以下1位）	E210
30	本体完成延長	m	99999. 9	共同溝の本体完成延長（小数点以下1位）	E210
31	供用延長	m	99999. 9	共同溝の供用延長（小数点以下1位）	E210
32	幹線共同溝ラップ延長	m	99999	幹線共同溝と供給管共同溝がラップしている区間延長	E210

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	供給管共同溝単独区間長	m	99999	供給管共同溝単独の区間延長	E210
34	標準断面高	m	9999	共同溝の標準断面の内空高	E210
35	標準断面幅	m	9999	共同溝の標準断面の内空幅	E210
36	最大土被り	m	9. 9	土被り厚の最大値（土被りが一定の場合は、最大、最小土被りは同値を記入）（小数点以下1位）	E210
37	最小土被り	m	9. 9	土被り厚の最小値（土被りが一定の場合は、最大、最小土被りは同値を記入）（小数点以下1位）	E210
38	指定告示年月日	西暦	19990101	共同溝の指定告示年月日（1985年10月10日の場合：19851010）	E210
39	指定告示番号		半角10 文字	共同溝の指定告示番号	E210
40	建設告示年月日	西暦	19990101	共同溝の建設告示年月日（1985年10月10日の場合：19851010）	E210
41	建設告示番号		半角10 文字	共同溝の建設告示番号	E210
42	道路事業費	百万円	99999	道路の全体事業費	E210
43	附帯事業費	百万円	99999	附帯の全体事業費	E210
44	道路単価	千円／m	99999	共同溝m当たりの道路の事業量（全体事業費／延長）	E210
45	附帯単価	千円／m	99999	共同溝m当たりの附帯の事業量（全体事業費／延長）	E210
46	関連事業		漢字30 文字	関連事業（日本語）	E210
47	設置道路延長	m	99999	共同溝が設置されている道路延長	E210
48	受電盤型式		半角42文字	受電盤の型式（メーカー及び型番）（ｶﾀｶﾅ、英数字）	E210
49	受電盤個数		999	受電盤の個数	E210
50	電灯分電盤型式		半角42文字	電灯分電盤の型式（メーカー及び型番）（ｶﾀｶﾅ、英数字）	E210
51	電灯分電盤個数		999	電灯分電盤の個数	E210
52	動力分電盤型式		半角42文字	動力分電盤の型式（メーカー及び型番）（ｶﾀｶﾅ、英数字）	E210
53	動力分電盤個数		999	動力分電盤の個数	E210
54	換気ファン制御盤型式		半角42文字	換気ファン制御盤の型式（メーカー及び型番）（ｶﾀｶﾅ、英数字）	E210
55	換気ファン制御盤個数		999	換気ファン制御盤の個数	E210
56	換気ファン遠隔操作盤型式		半角42文字	換気ファン遠隔操作盤の型式（メーカー及び型番）（ｶﾀｶﾅ、英数字）	E210
57	換気ファン遠隔操作盤個数		999	換気ファン遠隔操作盤の個数	E210
58	排水ポンプ制御盤型式		半角42文字	排水ポンプ制御盤の型式（メーカー及び型番）（ｶﾀｶﾅ、英数字）	E210
59	排水ポンプ制御盤個数		999	排水ポンプ制御盤の個数	E210
60	照明器具型式		半角42文字	照明器具の型式（メーカー及び型番）（ｶﾀｶﾅ、英数字）	E210
61	照明器具個数		999	照明器具の個数	E210
62	換気ファン型式		半角42文字	換気ファンの型式（メーカー及び型番）（ｶﾀｶﾅ、英数字）	E210
63	換気ファン個数		999	換気ファンの個数	E210
64	排水ポンプ型式		半角42文字	排水ポンプの型式（メーカー及び型番）（ｶﾀｶﾅ、英数字）	E210
65	排水ポンプ個数		999	排水ポンプの個数	E210

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
66	防災設備型式		半角42文字	防災設備の型式（メーカー及び型番）（ｶﾀｶﾅ、英数字）	E210
67	防災設備個数		999	防災設備の個数	E210
68	ガス感知器型式		半角42文字	ガス感知器の型式（メーカー及び型番）（ｶﾀｶﾅ、英数字）	E210
69	ガス感知器個数		999	ガス感知器の個数	E210
70	火災感知器型式		半角42文字	火災感知器の型式（メーカー及び型番）（ｶﾀｶﾅ、英数字）	E210
71	火災感知器個数		999	火災感知器の個数	E210
72	酸素欠乏感知器型式		半角42文字	酸素欠乏感知器の型式（メーカー及び型番）（ｶﾀｶﾅ、英数字）	E210
73	酸素欠乏感知器個数		999	酸素欠乏感知器の個数	E210
74	噴霧冷却型式		半角42文字	噴霧冷却の型式（メーカー及び型番）（ｶﾀｶﾅ、英数字）	E210
75	噴霧冷却個数		999	噴霧冷却の個数	E210
76	緊急連絡型式		半角42文字	緊急連絡の型式（メーカー及び型番）（ｶﾀｶﾅ、英数字）	E210
77	緊急連絡個数		999	緊急連絡の個数	E210
78	消火器型式		半角42文字	消火器の型式（メーカー及び型番）（ｶﾀｶﾅ、英数字）	E210
79	消火器個数		999	消火器の個数	E210
80	誘導灯型式		半角42文字	誘導灯の型式（メーカー及び型番）（ｶﾀｶﾅ、英数字）	E210
81	誘導灯個数		999	誘導灯の個数	E210
82	通報装置型式		半角42文字	通報装置の型式（メーカー及び型番）（ｶﾀｶﾅ、英数字）	E210
83	通報装置個数		999	通報装置の個数	E210
84	侵入監視装置型式		半角42文字	侵入監視装置の型式（メーカー及び型番）（ｶﾀｶﾅ、英数字）	E210
85	侵入監視装置個数		999	侵入監視装置の個数	E210
86	その他設備型式		半角42文字	その他設備の型式（メーカー及び型番）（ｶﾀｶﾅ、英数字）	E210
87	その他設備個数		999	その他設備の個数	E210
88	電力契約種別C			電力の契約種別コード	E210
89	電力契約番号		半角20 文字	電力の契約番号（数字）	E210
90	電力引込柱名称		漢字10 文字	電力を引き込んでいる電柱等の名称（日本語）	E210
91	電力支払営業所名		漢字15 文字	使用電力料を支払っている電力会社名及び営業所名（日本語）	E210
92	備考 1		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E210
93	備考 2		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E210
94	市区町村自 C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E210
95	市区町村至 C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E210

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E211共同溝（占用物）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字		E211
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E211
3	附図対応番号		半角16 文字		E211
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E211
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E211
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E211
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E211
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E211
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E211
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E211
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E211
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（ハイス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E211
13	占用物件種別C			共同溝の占用物件コード	E211
14	寸法		9999	電力及び電話：条数と段数、これら以外：公称径	E211
15	占有者名		漢字10 文字	占用物件の管理者名（日本語）	E211
16	占用物件数		99	占用物件数	E211
17	負担金	百万円	99999	企業の負担金	E211
18	参加延長	m	99999.9	占用物件の参加延長（小数点以下1位）	E211
19	占用延長	m	99999.9	共同溝内の占用延長（のべ延長）（小数点以下1位）	E211
20	未入溝延長	m	99999.9	占用物件の未入溝延長（小数点以下1位）	E211
21	供用延長	m	99999.9	占用物件の供用延長（小数点以下1位）	E211
22	占用許可年月日	西暦	19990101	占用の許可年月日（1985年11月8日の場合：19851108）	E211
23	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E211

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E213共同溝（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字		E213
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E213
3	附図対応番号		半角16 文字		E213
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E213
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E213
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E213
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E213
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E213
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E213
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E213
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E213
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バypass等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E213
13	補修年月	西暦	199901	共同溝の補修を行った年月（1976年12月の場合：197612）	E213
14	補修内容C			共同溝の補修内容コード	E213
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E213

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E220 C A B 電線共同溝（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E220
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E220
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E220
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E220
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E220
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E220
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E220
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E220
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E220
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E220
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E220
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E220
13	名称		漢字10 文字	C A B 及び電線共同溝の名称又は設置箇所の地先名等	E220
14	百米標自	k m	999.9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10.1）	E220
15	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	E220
16	百米標至	k m	999.9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15.5）	E220
17	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	E220
18	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E220
19	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E220
20	完成年月	西暦	199901	C A B 及び電線共同溝が完成した年月（1983年8月の場合：198308）	E220
21	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E220
22	所在地自		漢字30 文字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	E220
23	所在地至		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	E220
24	構造形式C			C A B 及び電線共同溝の代表的な構造形式コード	E220
25	設置箇所C			C A B 及び電線共同溝の設置箇所コード	E220
26	線形区分C			C A B 及び電線共同溝の線形区分コード	E220
27	工場製品場所打別C			工場製品・場所打の別コード	E220
28	幅	m	9.9	C A B 及び電線共同溝の内空幅（小数点以下1位）	E220
29	高さ	m	9.9	C A B 及び電線共同溝の内空高（小数点以下1位）	E220
30	事業化延長	m	99999.9	C A B 及び電線共同溝の事業化延長（小数点以下1位）	E220
31	本体完成延長	m	99999.9	C A B 及び電線共同溝の本体完成延長（小数点以下1位）	E220
32	最大土被り	m	9.9	土被り厚の最大値（土被りが一定の場合は、最大、最小土被りは同値を記入）（小数点以下1位）	E220

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	最小土被り	m	9.9	土被り厚の最小値（土被りが一定の場合は、最大、最小土被りは同値を記入）（小数点以下1位）	E220
34	道路事業費	百万円	99999	道路の全体事業費	E220
35	附帯事業費	百万円	99999	附帯の全体事業費	E220
36	道路単価	千円／m	99999	共同溝m当たりの道路の事業量（全体事業費／延長）	E220
37	附帯単価	千円／m	99999	共同溝m当たりの附帯の事業量（全体事業費／延長）	E220
38	設置道路延長	m	99999	C A B及び電線共同溝が設置されている道路延長	E220
39	設置区分C			C A B及び電線共同溝の設置区分コード	E220
40	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E220
41	市区町村自C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E220
42	市区町村至C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E220

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E221 C A B 電線共同溝（占用物）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字		E221
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E221
3	附図対応番号		半角16 文字		E221
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E221
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E221
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E221
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E221
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E221
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E221
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E221
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E221
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E221
13	占用物件種別C			C A B 及び電線共同溝の占用物件コード	E221
14	寸法		9999	各ケーブル：条数と段数、これら以外：公称径	E221
15	占用者名		漢字10 文字	占用物件の管理者名（日本語）	E221
16	物件数		99	占用物件数	E221
17	負担金	百万円	99999	企業の負担金	E221
18	占用延長	m	99999.9	C A B 及び電線共同溝内の占用延長（のべ延長）（小数点以下1位）	E221
19	占用許可年月日	西暦	19990101	C A B 及び電線共同溝の占用許可年月日（1985年11月8日の場合：19851108）	E221
20	自管理占用別C			C A B 及び電線共同溝の管理コード	E221
21	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E221

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E223 C A B 電線共同溝（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字		E223
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E223
3	附図対応番号		半角16 文字		E223
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E223
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E223
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E223
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E223
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E223
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E223
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E223
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E223
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	E223
13	補修年月	西暦	199901	C A B 及び電線共同溝の補修を行った年月（1976年12月の場合：197612）	E223
14	補修内容C			C A B 及び電線共同溝の補修内容コード	E223
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E223

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E230植栽（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E230
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E230
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E230
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E230
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E230
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E230
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E230
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E230
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E230
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E230
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E230
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E230
13	名称		漢字10 文字	植栽の名称又は設置箇所の地先名等	E230
14	百米標自	k m	999.9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10.1）	E230
15	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	E230
16	百米標至	k m	999.9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15.5）	E230
17	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	E230
18	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E230
19	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E230
20	完成年月	西暦	199901	植栽帯の完成した年月（1983年8月の場合：198308）	E230
21	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E230
22	所在地自		漢字30 文字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	E230
23	所在地至		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	E230
24	設置箇所C			植栽帯の設置箇所コード	E230
25	高木組合せC			該当する区間に対し、高木の街路樹等の有無コード	E230
26	中木組合せC			該当する区間に対し、中木の街路樹等の有無コード	E230
27	低木組合せC			該当する区間に対し、低木の灌木の有無コード	E230
28	張芝組合せC			該当する区間に対し、張芝の有無コード	E230
29	延長	m	9999	植栽帯の延べ延長	E230
30	面積	m ²	9999	植栽帯の延べ面積	E230
31	散水施設数		999	該当する区間に植栽用の散水施設が設置されている場合の箇所数	E230
32	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E230

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	市区町村自 C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E230
34	市区町村至 C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E230

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E231植栽（樹木種別）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字		E231
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E231
3	附図対応番号		半角16 文字		E231
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E231
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E231
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E231
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E231
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E231
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E231
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E231
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E231
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	E231
13	樹木種別C			該当する区間の樹木種別コード	E231
14	本数	本	9999	該当する区間で同種の樹木の本数（のべ本数）	E231
15	目通り	c m	999	該当する区間で代表的な樹木の目通り（低木、芝：＊）	E231
16	張芝面積	m 2	9999	張芝の面積	E231
17	高木中木低木芝別C			樹木区分コード	E231

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E233植栽（追加植換え歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字		E233
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E233
3	附図対応番号		半角16 文字		E233
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E233
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E233
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E233
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E233
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E233
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E233
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E233
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E233
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	E233
13	百米標自	k m	999. 9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10. 1）	E233
14	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	E233
15	百米標至	k m	999. 9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15. 5）	E233
16	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	E233
17	追加植栽部分植換え別C			追加植栽、部分植換えの別コード	E233
18	延長	m	99999	追加植栽、部分植換え等を行ったのべ延長	E233
19	面積	m 2	99999	追加植栽、部分植換え等を行ったのべ面積	E233
20	完成年月	西暦	199901	追加植栽、部分植換え等が行われた年月（1987 年 2 月 1 日の場合：19870201）	E233
21	内容		漢字30 文字	追加植栽、部分植換え等の内容（日本語）	E233

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E240遮音施設（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E240
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E240
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E240
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E240
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E240
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E240
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E240
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E240
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E240
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E240
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E240
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E240
13	名称		漢字10 文字	遮音施設の名称又は設置箇所の地名等	E240
14	百米標自	k m	999.9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10.1）	E240
15	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	E240
16	百米標至	k m	999.9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15.5）	E240
17	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	E240
18	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E240
19	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E240
20	完成年月	西暦	199901	遮音施設が完成した年月（1983年8月の場合：198308）	E240
21	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E240
22	所在地自		漢字30 文字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	E240
23	所在地至		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	E240
24	施設種類C			遮音施設の種類コード	E240
25	設置箇所C			遮音施設の設置箇所コード	E240
26	延長	m	99999.9	該当する区間の遮音施設の延べ延長（小数点以下1位）	E240
27	設置道路延長	m	99999.9	遮音施設が設置されている道路延長（小数点以下1位）	E240
28	最大高	m	99.9	遮音施設の高さの最大値（高さが一定の場合は、最大と最小に同値を記入）（小数点以下1位）	E240
29	最小高	m	99.9	遮音施設の高さの最小値（高さが一定の場合は、最大と最小に同値を記入）（小数点以下1位）	E240
30	基礎形式C			遮音施設の基礎形式コード	E240
31	騒音規制区域C			騒音規制区域別コード	E240
32	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E240

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	市区町村自 C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E240
34	市区町村至 C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E240

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E241遮音施設（型式）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字		E241
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E241
3	附図対応番号		半角16 文字		E241
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E241
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E241
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E241
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E241
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E241
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E241
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E241
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E241
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バ`イ`ス 等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E241
13	規格材質等型式		漢字25 文字	遮音施設の規格、材質等の型式（日本語）	E241

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E243遮音施設（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字		E243
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E243
3	附図対応番号		半角16 文字		E243
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E243
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E243
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E243
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E243
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E243
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E243
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E243
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E243
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E243
13	補修年月	西暦	199901	遮音施設の補修を行った年月（1976年12月の場合：197612）	E243
14	補修内容C			遮音施設の補修内容コード	E243
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E243

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E250遮光フェンス（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E250
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E250
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E250
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E250
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E250
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E250
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E250
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E250
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E250
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E250
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E250
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	E250
13	百米標自	k m	999.9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10.1）	E250
14	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	E250
15	百米標至	k m	999.9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15.5）	E250
16	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	E250
17	完成年月	西暦	199901	遮光フェンスが完成した年月（1983年8月の場合：198308）	E250
18	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E250
19	所在地自		漢字30 文字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	E250
20	所在地至		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	E250
21	種類		漢字20 文字	遮光フェンスの種類（名称）（日本語）	E250
22	設置箇所C			遮光フェンスの設置箇所コード	E250
23	延長	m	99999.9	該当する区間の遮光フェンスの延べ延長（小数点以下1位）	E250
24	設置道路延長	m	99999.9	遮光フェンスが設置されている道路延長（小数点以下1位）	E250
25	最大高	m	9.9	遮光フェンスの高さの最大値（高さが一定の場合は、最大と最小に同値を記入）（小数点以下1位）	E250
26	最小高	m	9.9	遮光フェンスの高さの最小値（高さが一定の場合は、最大と最小に同値を記入）（小数点以下1位）	E250
27	基礎形式C			遮光フェンスの基礎形式コード	E250
28	フェンス枚数		9999	該当する区間の遮光フェンスの枚数	E250
29	規格材質等型式		漢字25 文字	該当する区間の遮光フェンスの型式（規格、材質等）（日本語）	E250
30	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E250
31	市区町村自C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E250
32	市区町村至C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E250

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E252遮光フェンス（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字		E252
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E252
3	附図対応番号		半角16 文字		E252
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E252
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E252
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E252
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E252
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E252
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E252
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E252
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E252
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E252
13	補修年月	西暦	199901	遮光フェンスの補修を行った年月（1976年12月の場合：197612）	E252
14	補修内容C			遮光フェンスの補修内容コード	E252
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E252

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E260距離標

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E260
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E260
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E260
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E260
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E260
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E260
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E260
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E260
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E260
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E260
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E260
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E260
13	百米標	k m	999. 9	該当する施設の直前にある百米標（例：10. 1）	E260
14	距離	m	9999	該当する施設の直前にある百米標からの距離	E260
15	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E260
16	設置箇所C			距離標が設置されている箇所コード	E260
17	形式C			郷里標の形式コード	E260
18	距離標間距離百米標	k m	999. 9	該当する距離標（百米標）の次に現れる距離標（百米標）	E260
19	距離標間距離距離	m	9999	該当する距離標（百米標）からの距離の次に現れる距離標（百米標）からの距離	E260
20	距離標間距離延長	m	9999	該当する距離標と次に現れる距離標間距離の延長	E260
21	調製年月日	西暦	19990101	データを新規で作成した年月日（1995年2月1日の場合：19950201）	E260
22	改訂年月日	西暦	19990101	基本台帳のデータを修正した年月日（1995年2月1日の場合：19950201）	E260
23	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E260
24	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E260
25	所在地		漢字30 文字	該当区間の所在地（字番地まで）	E260
26	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E260
27	市区町村自C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E260
28	市区町村至C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E260

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E270流雪溝

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E270
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E270
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E270
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E270
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E270
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E270
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E270
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E270
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E270
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E270
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E270
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E270
13	百米標自	k m	999. 9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10. 1）	E270
14	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	E270
15	百米標至	k m	999. 9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15. 5）	E270
16	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	E270
17	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E270
18	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E270
19	完成年月	西暦	199901	流雪溝が完成した年月（1983年8月の場合：198308）	E270
20	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E270
21	所在地自		漢字30 文字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	E270
22	所在地至		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	E270
23	設置区分C			流雪溝の設置区分コード	E270
24	構造形式種別C			流雪溝の構造形式種別コード	E270
25	工場製品場所打別C			工場製品・場所打の別コード	E270
26	延長	m	999999	該当する区間における流雪溝の延長（のべ延長）	E270
27	幅	m	9. 9	流雪溝の内空寸法の幅（小数点以下1位）	E270
28	高さ	m	9. 9	流雪溝の内空寸法の高さ（小数点以下1位）	E270
29	設置道路延長	m	999999	流雪溝が設置されている道路の延長	E270
30	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E270
31	市区町村自C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E270
32	市区町村至C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E270

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E330光ケーブル施設（ケーブル諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E330
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E330
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E330
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E330
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E330
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E330
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E330
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E330
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E330
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E330
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E330
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（ハイス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E330
13	百米標自	k m	999. 9	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標（例：10. 1）	E330
14	距離自	m	9999	該当する施設（区間）の起点側位置の直前にある百米標からの距離	E330
15	百米標至	k m	999. 9	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標（例：15. 5）	E330
16	距離至	m	9999	該当する施設（区間）の終点側位置の直前にある百米標からの距離	E330
17	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E330
18	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E330
19	所在地自		漢字30 文字	該当区間の起点側の所在地（字番地まで）	E330
20	所在地至		漢字30 文字	該当区間の終点側の所在地（字番地まで）	E330
21	支持方法C			光ケーブルの支持方法コード	E330
22	管路深さ又は配線高さ	m	99. 9	管路布設の深さ又は架空ケーブル等の配線の高さ（小数点以下1位）	E330
23	管路設置道路延長	m	999999. 9	管路が設置されている道路延長（小数点以下1位）	E330
24	ケーブル敷設延長	m	999999. 9	光ケーブルの敷設延長（小数点以下1位）	E330
25	ケーブル敷設年月	西暦	199901	光ケーブルの敷設年月（1997 年2月の場合：199702）	E330
26	ケーブル種類C			光ケーブルの種類コード	E330
27	ケーブル型式C			光ケーブルの型式コード	E330
28	幹線ローカル線別C			接続される回線コード	E330
29	実装芯数	本	999	実際設置されているケーブルの芯線数	E330
30	使用芯数	本	999	使用されているケーブルの芯線数	E330
31	コア径	μ m	999	屈折率の大きな円柱形媒体で構成される中心部のコア径	E330
32	クラッド径	μ m	999	コアの周囲に屈折率の小さな円筒形媒質で構成されるクラッド径	E330

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	波長	μ m	99.99	伝送時の波長（小数点以下2位）	E330
34	伝送損失	db・km	99.9	光ケーブルの伝送損失（小数点以下1位）	E330
35	伝送帯域	MHz・km	9999	光ケーブルの伝送帯域（変調周波数）	E330
36	伝送方式C			光ケーブルの伝送方式コード	E330
37	専用多重化別C			通信回線コード	E330
38	製造会社		漢字15 文字	光ケーブルの製造会社（日本語）	E330
39	起点側端局接続箱番号		半角8文字	光ケーブル区間の起点側で繋がっている端局接続箱の番号	E330
40	終点側端局接続箱番号		半角8文字	光ケーブル区間の終点側で繋がっている端局接続箱の番号	E330
41	敷設施設名称		漢字10 文字	光ケーブルが設置されている関連施設名称	E330
42	敷設施設整理番号		半角8文字	光ケーブルが設置されている関連施設工種の親表（各基本データ）の番号	E330
43	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E330
44	市区町村自C			該当する施設（区間）の起点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E330
45	市区町村至C			該当する施設（区間）の終点側の市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E330

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E331光ケーブル施設（用途）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字		E331
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E331
3	附図対応番号		半角16 文字		E331
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E331
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E331
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E331
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E331
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E331
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E331
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E331
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E331
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バイパス等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E331
13	利用目的C			光ケーブルの利用目的コード	E331
14	利用情報種別C			光ケーブルの利用情報種別コード	E331
15	利用用途種別C			光ケーブルの利用用途種別コード	E331
16	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E331

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E333光ケーブル施設（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字		E333
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E333
3	附図対応番号		半角16 文字		E333
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E333
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E333
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E333
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E333
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E333
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E333
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E333
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E333
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バypass等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	E333
13	補修年月	西暦	199901	車両感知器の補修を行った年月（1976年12月の場合：197612）	E333
14	補修内容C			車両感知器の補修内容コード	E333
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E333

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E334光ケーブル施設（端局諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E334
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E334
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E334
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E334
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E334
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E334
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E334
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E334
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E334
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E334
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E334
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	E334
13	百米標	k m	999.9	該当する施設の直前にある百米標（例：10.1）	E334
14	距離	m	9999	該当する施設の直前にある百米標からの距離	E334
15	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E334
16	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E334
17	所在地		漢字30 文字	該当区間の所在地（字番地まで）	E334
18	端局設置年月	西暦	199901	端局・接続箱の設置年月（1997 年2月の場合：199702）	E334
19	端局装置種別C			端局・接続箱の装置種別コード	E334
20	端局設置区分C			端局・接続箱の設置区分コード	E334
21	端局製造者名		漢字15 文字	端局・接続箱の製造者名（日本語）	E334
22	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E334
23	市区町村C			該当する施設のある市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E334

道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E336光ケーブル施設（端局補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字		E336
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E336
3	附図対応番号		半角16 文字		E336
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E336
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E336
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E336
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E336
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E336
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E336
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E336
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E336
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バ イ ス 等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E336
13	補修年月	西暦	199901	車両感知器の補修を行った年月（1976年12月の場合：197612）	E336
14	補修内容C			車両感知器の補修内容コード	E336
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E336

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E350ビーコン（基本諸元）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字	工事契約コード（工事完成図書電子納品の工事番号と同じ番号）	E350
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E350
3	附図対応番号		半角16 文字	「道路施設基本データ位置図」に記載する該当施設の施設対応番号	E350
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E350
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E350
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E350
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E350
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E350
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E350
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E350
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E350
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バース等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：＊）	E350
13	百米標	k m	999.9	該当する施設の直前にある百米標（例：10.1）	E350
14	距離	m	9999	該当する施設の直前にある百米標からの距離	E350
15	施設完成年度	西暦	1999	施設が完成した年度（1998 年度の場合：1998）	E350
16	施設改修年度	西暦	1999	施設を改修した年度（2001 年度の場合：2001）	E350
17	上り下り区分C			該当路線の上り・下り区分コード	E350
18	所在地		漢字30 文字	該当区間の所在地（字番地まで）	E350
19	完成年月	西暦	199901	ビーコンが完成した年月（1983年8月の場合：198308）	E350
20	設置箇所C			ビーコンの設置箇所コード	E350
21	送信種別C			ビーコンの送信種別コード	E350
22	ビーコン種類C			ビーコンの種類コード	E350
23	自管理他機関別C			ビーコンの管理コード	E350
24	情報提供方向C			ビーコンの提供情報コード	E350
25	情報提供区間長	m	999	情報が提供される区間（サービスエリア間）の延長	E350
26	情報提供道路幅	m	99.9	情報が提供される区間（サービスエリア間）の道路幅（小数点以下1位）	E350
27	空中線種類C			ビーコン空中線の種類コード	E350
28	取付け柱種類C			ビーコンの取付柱の種類コード	E350
29	周波数帯	GHz	9.9	自動車とビーコンの間の使用周波数帯（小数点以下1位）	E350
30	伝送速度	kbps	999.999	情報の伝送速度（小数点以下1位）	E350
31	情報区分C			情報提供区分コード	E350
32	情報提供種別1C			1種類目の情報提供種別コード	E350

道路施設基本データ入力フォーマット

- ※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
 ※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	備考
33	情報提供種別 2 C			2 種類目の情報提供種別コード	E350
34	情報提供種別 3 C			3 種類目の情報提供種別コード	E350
35	情報提供種別 4 C			4 種類目の情報提供種別コード	E350
36	情報提供種別 5 C			5 種類目の情報提供種別コード	E350
37	情報提供概要		漢字30 文字	情報提供の概要（日本語）	E350
38	A S 名		漢字15 文字	A S（ビーコンセンタから送られる情報を受け持ち地域のビーコンに配信する装置）名称（日本語）	E350
39	A S 設置場所		漢字30 文字	A S の設置場所（日本語）	E350
40	A S 設置年月	西暦	199901	A S の設置年月（1997 年 2 月の場合：199702）	E350
41	通信線種別 C			通信線の種別コード	E350
42	電力契約種別 C			電力契約種別コード	E350
43	電力契約番号		半角20 文字	電力契約番号	E350
44	電力引込柱名称		漢字10 文字	電力を引き込んでいる電柱等の名称（日本語）	E350
45	電力支払営業所名		漢字15 文字	使用電力料を支払っている電力会社名及び営業所名（日本語）	E350
46	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「＊」を入力	E350
47	市区町村 C			該当する施設のある市区町村コード（自治省作成「全国市町村要覧」参照）	E350

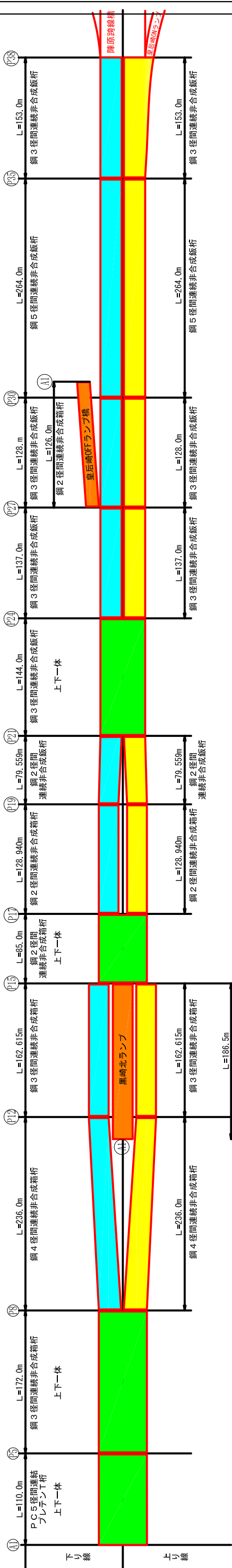
道路施設基本データ入力フォーマット

※1 網掛：標準整備項目（「道路工事完成図等作成要領」により作成する項目） その他：九州地方整備局で整備する項目
※2 各項目の詳細は、別添「道路施設基本データ記入マニュアル」を参照のこと。

E352ビーコン（補修歴）

No	項目名	単位	データ表現 及び文字数	入力内容	施設番号
1	工事番号		半角16 文字		E352
2	工事区分C			該当施設のデータ区分コード	E352
3	附図対応番号		半角16 文字		E352
4	地建C			該当の施設等を管理している地整コード九州地整の場合「89」を入力	E352
5	事務所C			該当の施設等を管理している事務所コード	E352
6	出張所C			該当の施設等を管理している出張所コード	E352
7	路線		9999	一般国道の路線番号（左側に「0」を充填：1号の場合「0001」）	E352
8	現旧区分C			供用開始されている道路区分コード	E352
9	整理番号1		半角8文字	親表を識別する為に、データが作成される各施設毎（テーブル毎）に対して一意（ユニーク）に付された番号	E352
10	整理番号2		半角4文字	子表を識別する為の整理番号であり、親（整理番号1）単位に一意に付された番号（親表のときは「0000」）	E352
11	整理番号3		半角4文字	孫表を識別する為の整理番号であり、子（整理番号2）単位に一意に付された番号（親、子表のときは「0000」）	E352
12	補助番号		半角2文字	同一路線、現旧区分で距離標が重複（バ`イ`ス 等）する場合、区分するための番号（重複しない場合：*）	E352
13	補修年月	西暦	199901	車両感知器の補修を行った年月（1976年12月の場合：197612）	E352
14	補修内容C			車両感知器の補修内容コード	E352
15	備考		漢字50 文字	特記事項がある場合に入力（全角）特になければ「*」を入力	E352

高架橋管理分割例（黒崎高架橋）



黒崎高架橋の橋梁分割例

No	橋梁名称	一体分選	橋長	上構工	橋型	区間数
1	黒崎高架橋(その1)	上構工	282.000	一体	橋型	2
2	黒崎高架橋(その2)上り線	下構工	308.015	一体	橋型	8
3	黒崎高架橋(その2)下り線	下構工	308.015	一体	橋型	7
4	黒崎高架橋(その3)	分選	308.015	一体	橋型	1
5	黒崎高架橋(その3)上り線	分選	308.015	一体	橋型	2
6	黒崎高架橋(その3)下り線	分選	308.015	一体	橋型	2
7	黒崎高架橋(その4)上り線	分選	208.499	一体	橋型	4
8	黒崎高架橋(その4)下り線	分選	208.499	一体	橋型	4
9	黒崎高架橋(その5)上り線	分選	144.000	一体	橋型	3
10	黒崎高架橋(その6)下り線	分選	882.000	一体	橋型	14
11	黒崎北ランプ	上構工	186.500	一体	橋型	2
12	黒崎西ランプ	上構工	126.000	一体	橋型	1

凡 例

上り線	下り線	上り線	ラ ン プ
-----	-----	-----	-------